

平成30年度

埼玉県政世論調査結果の概要

県政世論調査は、県政の重要課題に対する県民の関心、意識、要望などを把握し、施策の立案及び推進の資料として活用するため、昭和43年度から毎年度実施しています。

今年度は、課題調査として「受動喫煙防止対策」「社会貢献活動における寄附」の2つのテーマと、定期調査（時系列項目）として「生活意識」「日常生活」「県政への要望」について調査を行いました。

【目次】

調査のあらまし	3
調査結果のポイント	5
調査結果（単純集計結果）	15
1 生活意識	17
2 日常生活	36
3 県政への要望	62
4 受動喫煙防止対策	68
5 社会貢献活動における寄附	77
（参考資料）世論調査実施状況	83

< 本調査の内容及び結果についてのお問い合わせ先 >

埼玉県県民生活部広聴広報課 広聴・知事への提言担当

電話 048-830-2850（直通）

調査のあらまし

1 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

2 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- ア 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、定住意向、埼玉県に魅力を感じるか）
- イ 日常生活
- ウ 県政への要望
- エ 受動喫煙防止対策
- オ 社会貢献活動における寄附

3 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- ア 調査地域 埼玉県全域
- イ 調査対象 満18歳以上の男女個人
- ウ 標本数 3,000
- エ 抽出方法 住民基本台帳による層化2段無作為抽出法
- オ 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- カ 調査時期 平成30年7月6日～7月31日
- キ 調査実施委託機関 株式会社 サーベイリサーチセンター

4 回収結果

(ア) 有効回収数(率) 2,122(70.7%)

(イ) 調査不能数(率) 878(29.3%)

〔調査不能の内訳〕	転居	49(5.6%)	長期不在	62(7.1%)
	一時不在	335(38.2%)	住所不明	42(4.8%)
	拒否	312(35.5%)	病気・入院	54(6.2%)
	その他	24(2.7%)		

5 回答者の属性

(1) 性別

総数	男性	女性
2,122	1,054	1,068
100.0	49.7	50.3

(2) 年代別

総数	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
2,122	20	172	283	460	374	434	379
100.0	0.9	8.1	13.3	21.7	17.6	20.5	17.9

6 調査結果の見方

- (1) 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- (2) 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者(n)で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.として表示した。
- (3) 年代別、性別・年代別の集計に当たっては、18・19歳の標本数が少ないため、20歳代と合わせて10歳代・20歳代として集計したうえで、他の年代と比較している。

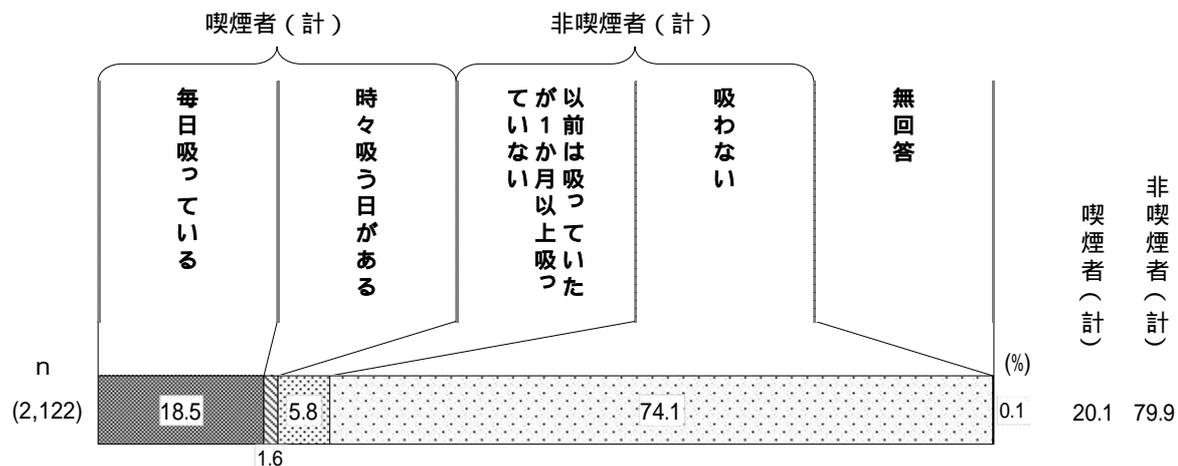
調査結果のポイント

1 課題調査

受動喫煙防止対策

1 あなたはたばこを吸いますか。

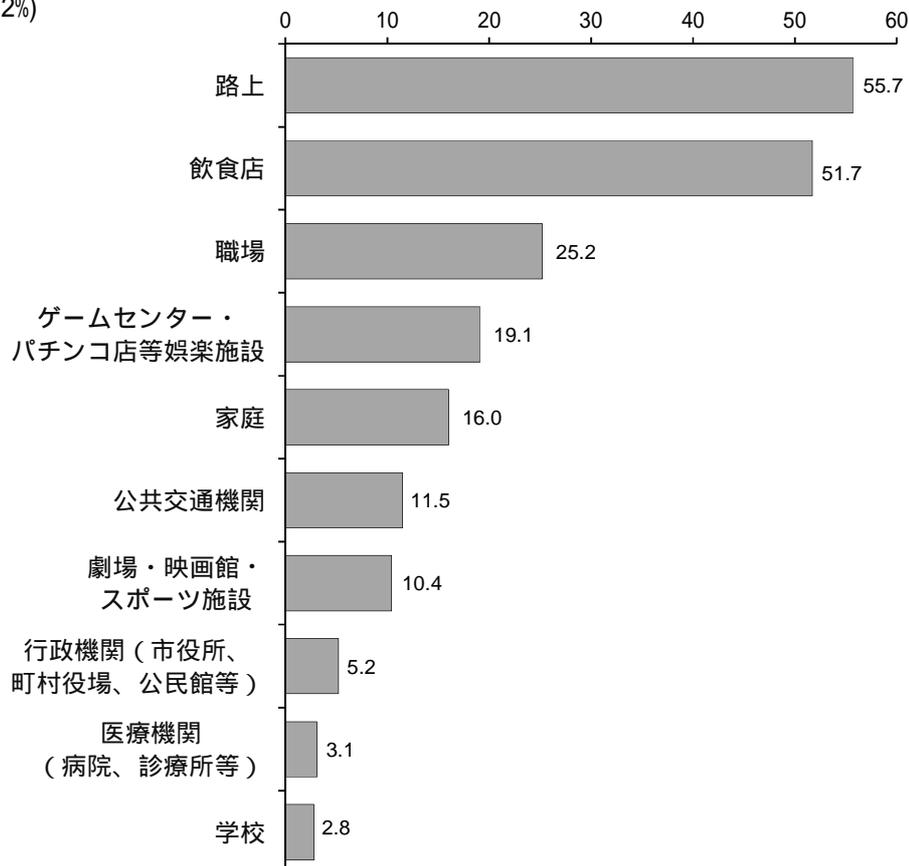
・「喫煙者(計)」が20.1%、「非喫煙者(計)」が79.9%



2 あなたは、おおよそ1年の間に次のような施設(敷地内の屋外、屋内を含む)などで受動喫煙にあいましたか。

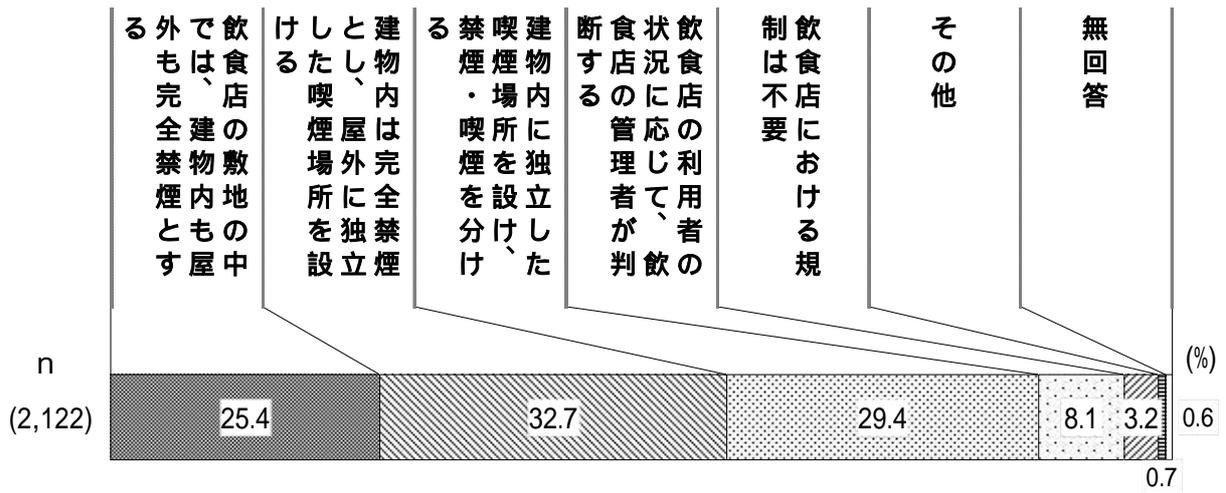
・下記グラフは、「あった」、「あわなかった」、「行かなかった」のうち、「あった」の回答割合を比較している

・受動喫煙に「あった」という回答は、「路上」(55.7%)、「飲食店」(51.7%)で5割を超え、次いで「職場」(25.2%)



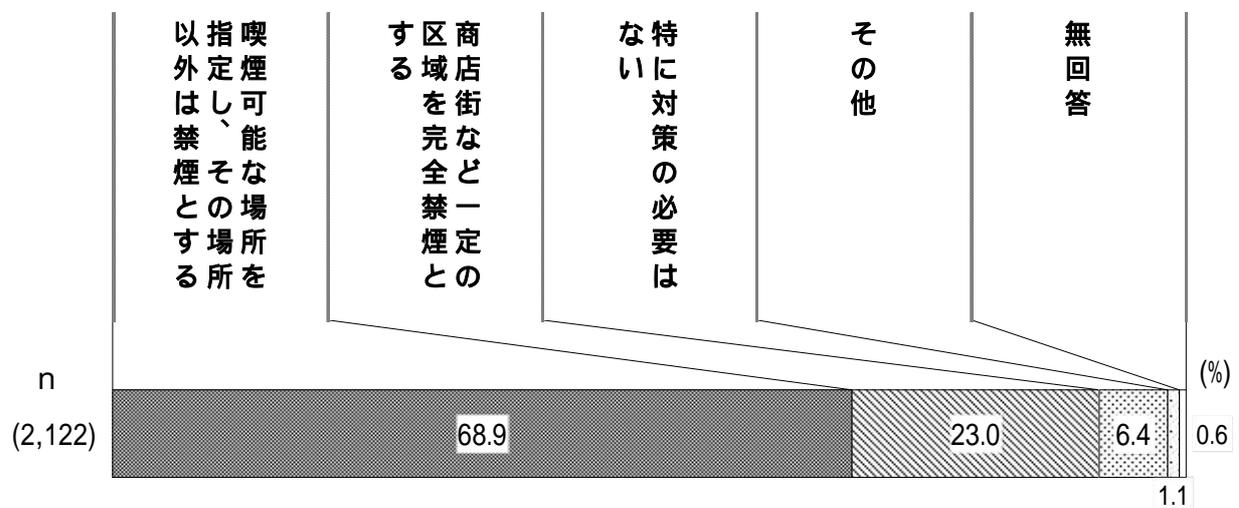
3 あなたが「飲食店」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- ・「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」が3割強 (32.7%)
- ・次いで「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」(29.4%)、「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」(25.4%)



4 あなたは、商店街など人通りの多い屋外の場所における喫煙に対し、どのような受動喫煙防止対策が進むことを望みますか。次の中から1つ選んでください。

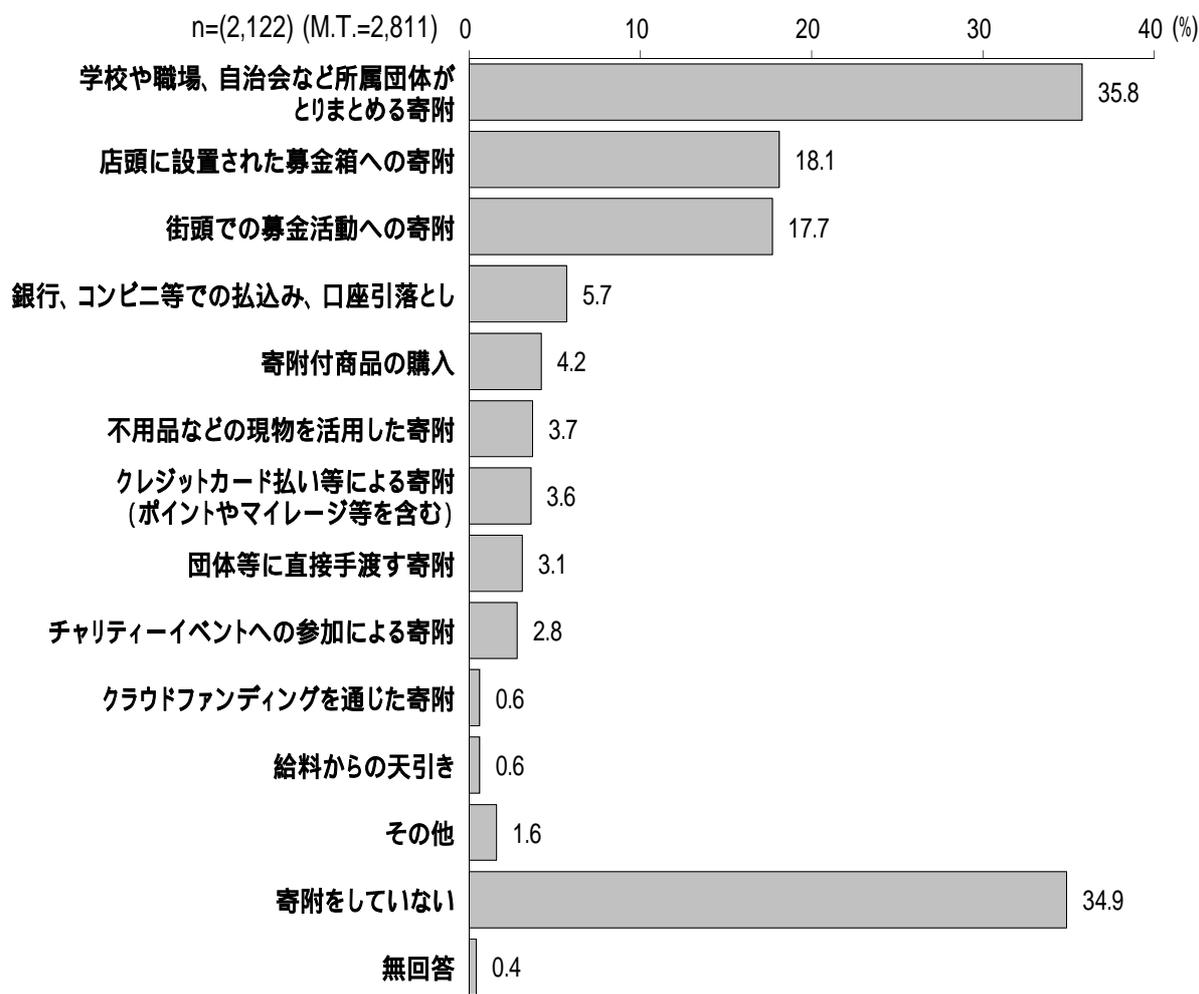
- ・「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」が7割弱 (68.9%)、次いで「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」(23.0%)



社会貢献活動における寄附

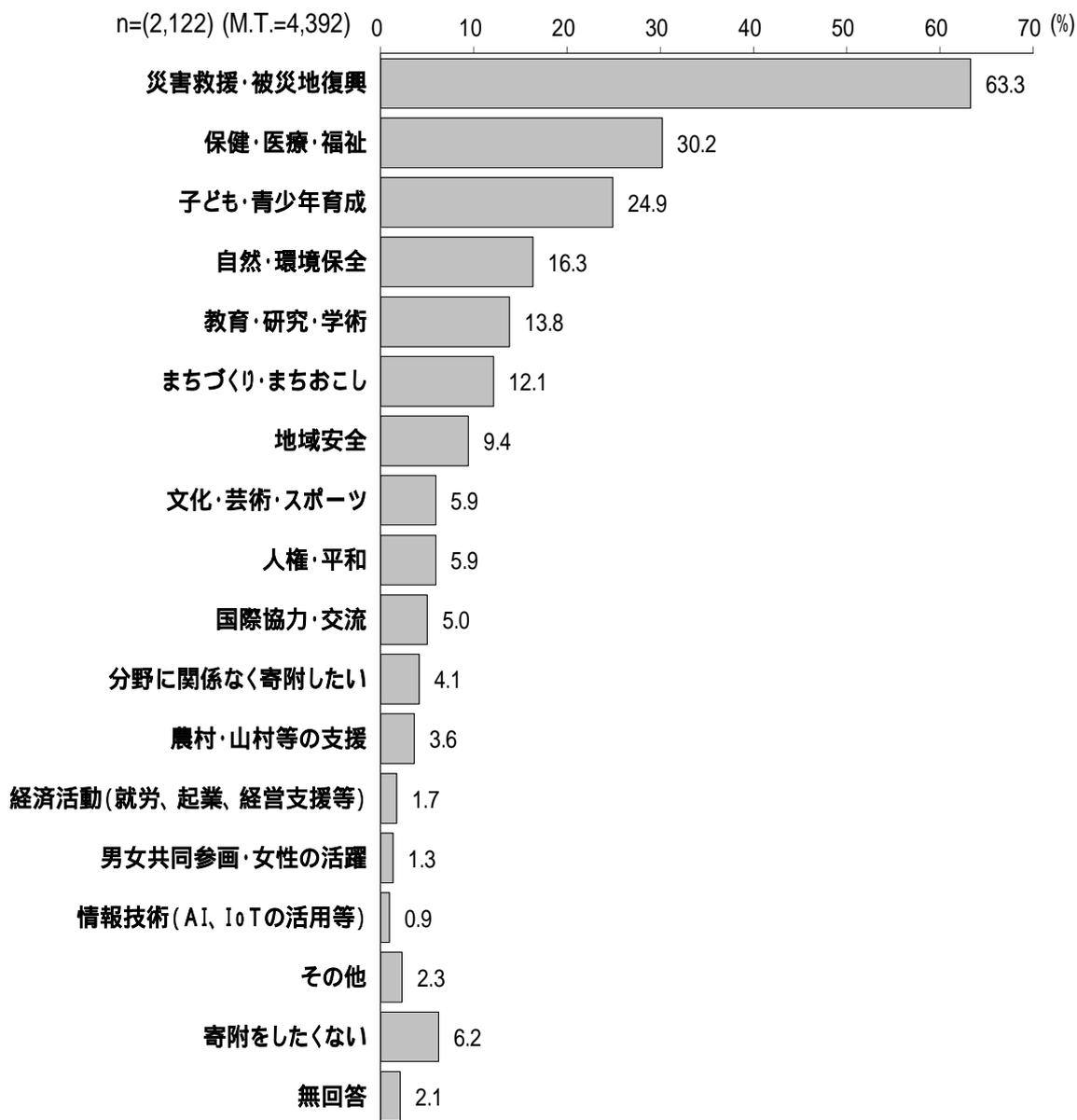
1 あなたは、過去1年間に寄附をしましたか。寄附をした場合は、その方法としてあてはまるものをすべて選んでください。

- ・「学校や職場、自治会など所属団体がとりまとめる寄附」が3割台半ば(35.8%)
- ・次いで「店頭に設置された募金箱への寄附」が2割弱(18.1%)、「街頭での募金活動への寄附」が1割台半ば(17.7%)
- ・「寄附をしていない」は3割台半ば(34.9%)



2 もしあなたが寄附をするなら、どのような活動分野に寄附をしたいと考えますか。
(あてはまるものすべて)

- ・「災害救援・被災地復興」が6割強(63.3%)
- ・次いで「保健・医療・福祉」が3割超(30.2%)、「子ども・青少年育成」が2割台半ば(24.9%)



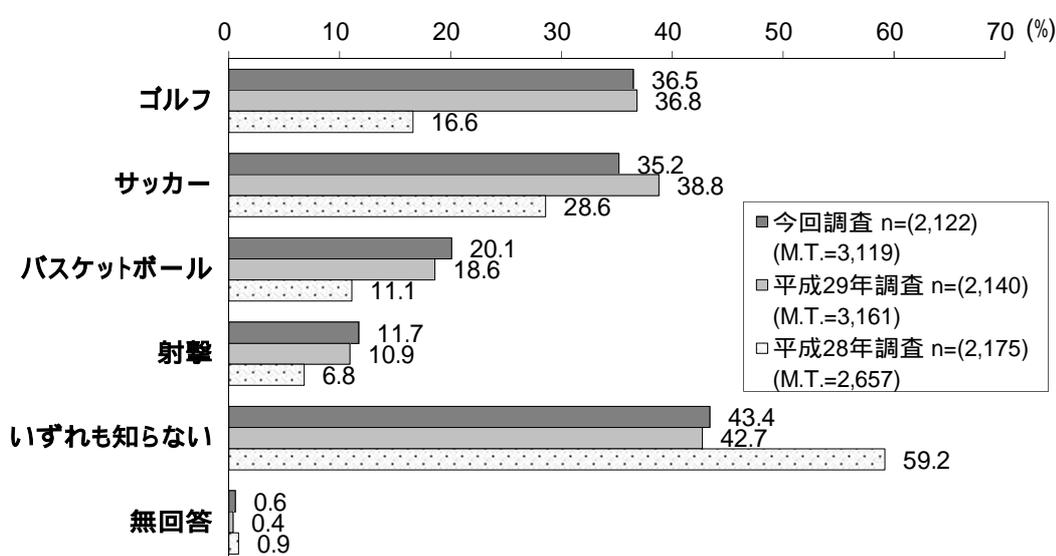
2 定期調査（日常生活）

東京2020オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ2019に関する項目は、大会開催まで継続実施

東京2020オリンピック・パラリンピック 認知状況

「東京2020オリンピック・パラリンピック」において、埼玉県内で開催される競技で、知っていたものはどれですか。（あてはまるものすべて）

- ・「ゴルフが」3割台後半（36.5%）、次いで「サッカー」（35.2%）、「バスケットボール」（20.1%）、「射撃」（11.7%）
- ・「いずれも知らない」は4割強（43.4%）

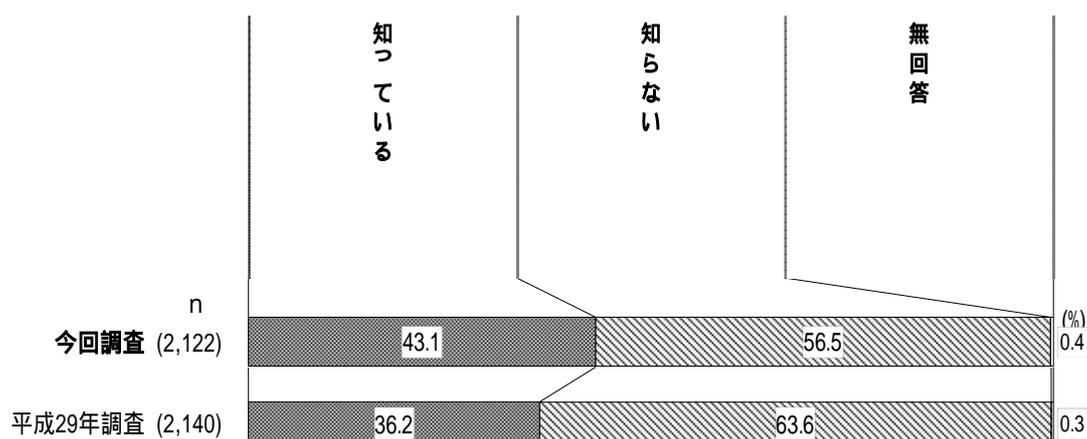


ラグビーワールドカップ2019熊谷開催 認知状況

埼玉県は、熊谷市とともに2019年9月20日～11月2日に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019の開催都市になっており、県営熊谷ラグビー場は全国12会場の一つになっています。

あなたは、このことを知っていますか。

- ・「知っている」が4割強（43.1%）
- ・「知らない」が5割台後半（56.5%）

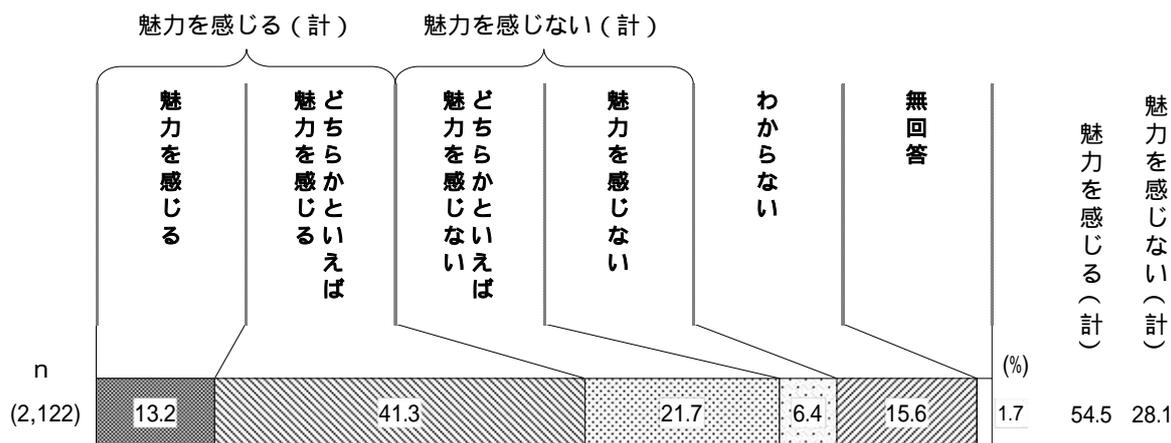


3 定期調査（生活意識）

埼玉県に魅力を感じるか【新規】

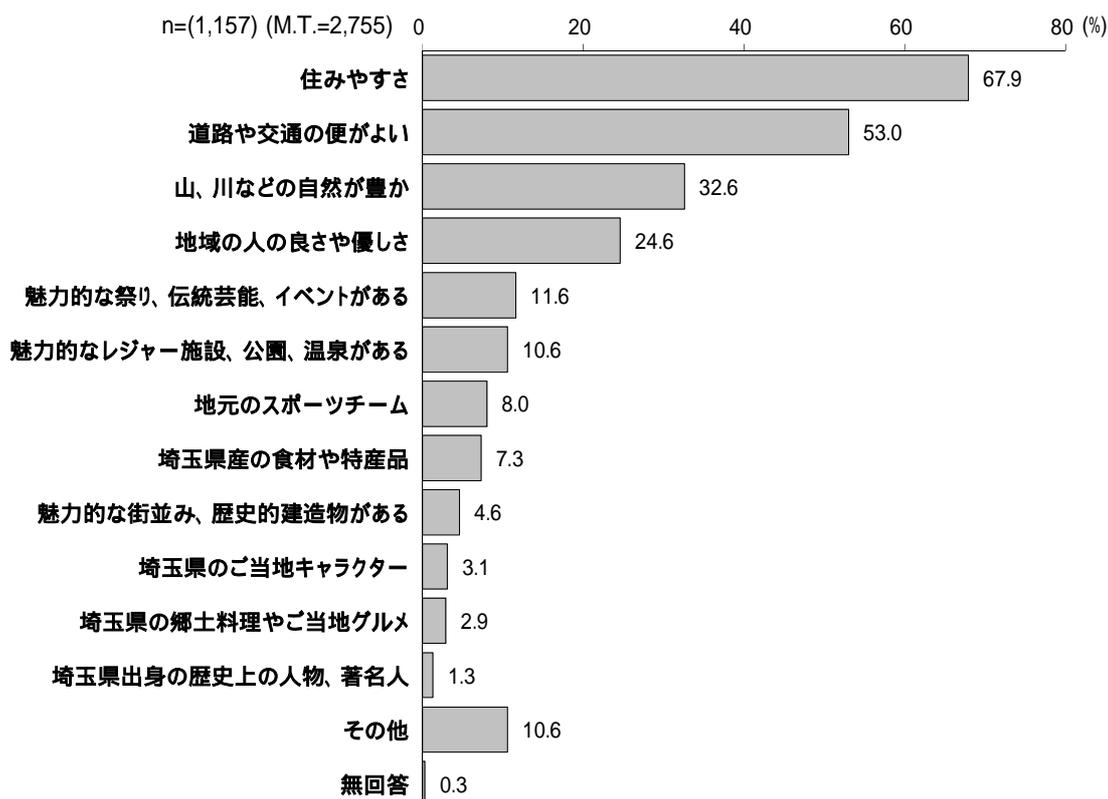
(1) あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。

- ・「魅力を感じる(計)」が5割台半ば(54.5%)
- ・「魅力を感じない(計)」が3割弱(28.1%)



(2) あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。(あてはまるものすべて)

- ・(1)で「魅力を感じる」、「どちらかといえば魅力を感じる」と答えた方にお聴きしたものを。
- ・「住みやすさ」が6割台後半(67.9%)
- ・次いで「道路や交通の便がよい」が5割強(53.0%)、「山、川などの自然が豊か」が3割強(32.6%)、「地域の人の良さや優しさ」が2割台半ば(24.6%)

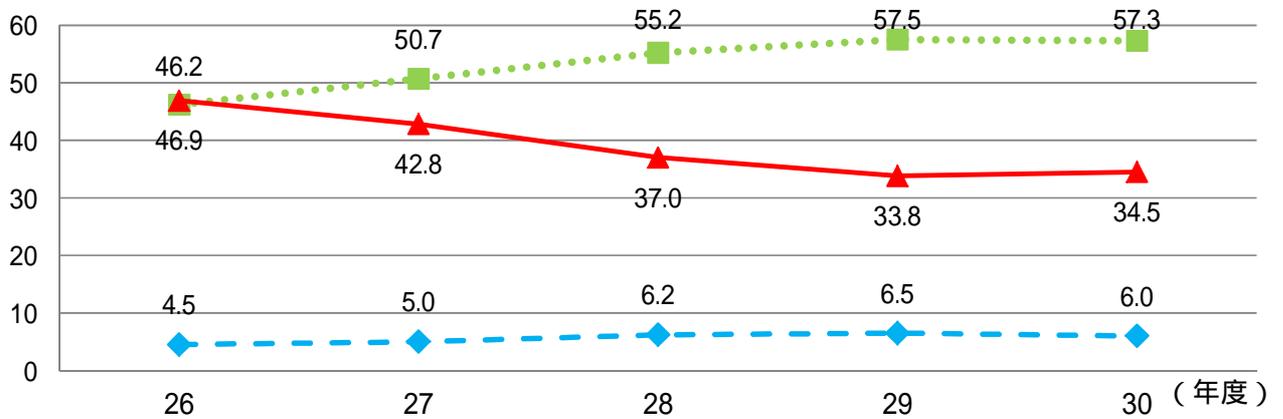


昨年と比べた暮らし向き

◆ 楽になった(計) ● 変わらない ▲ 苦しくなった(計)

・各項目(楽になった(計)、変わらない、苦しくなった(計))とも、昨年と比べて横ばい

(%)



生活の程度

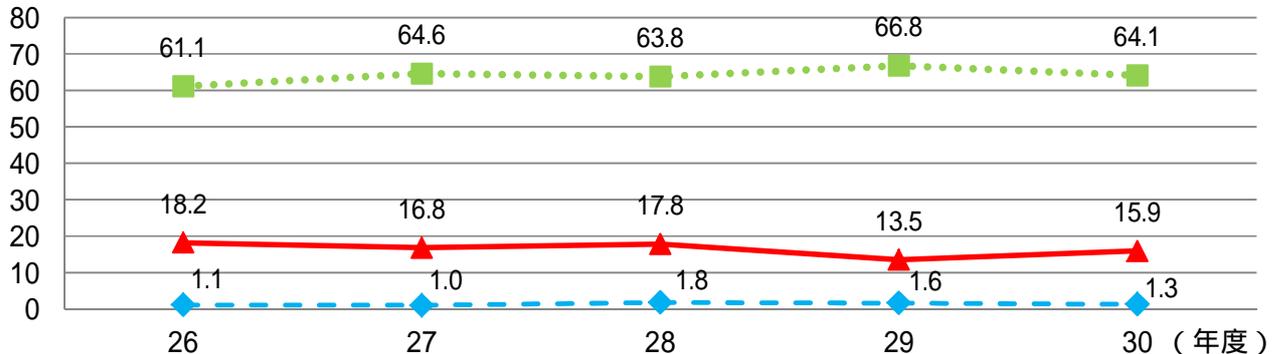
◆ 上(計) ● 中(計) ▲ 下(計)

・「上(計)」は昨年と比べて横ばい

・「中(計)」は2.7 p減少

・「下(計)」は2.4 p増加

(%)

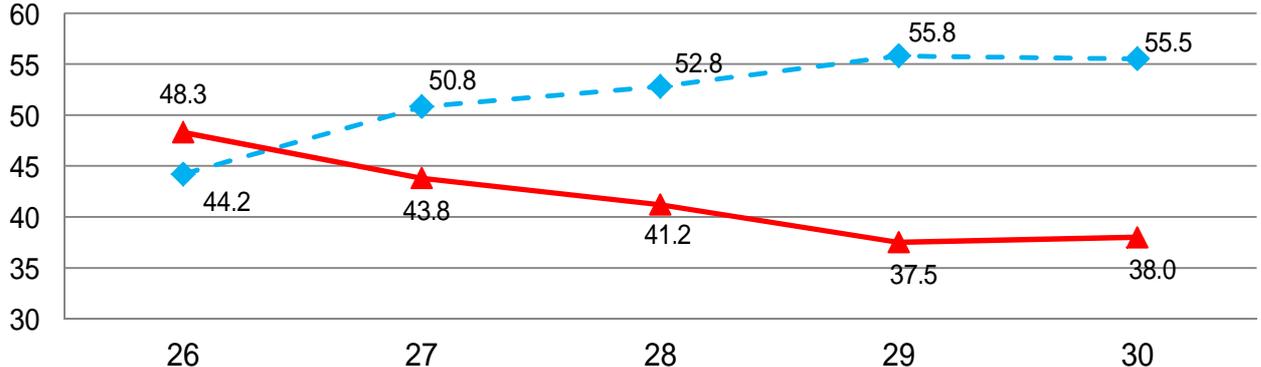


生活全体の満足度

◆ 満足(計) ▲ 不満(計)

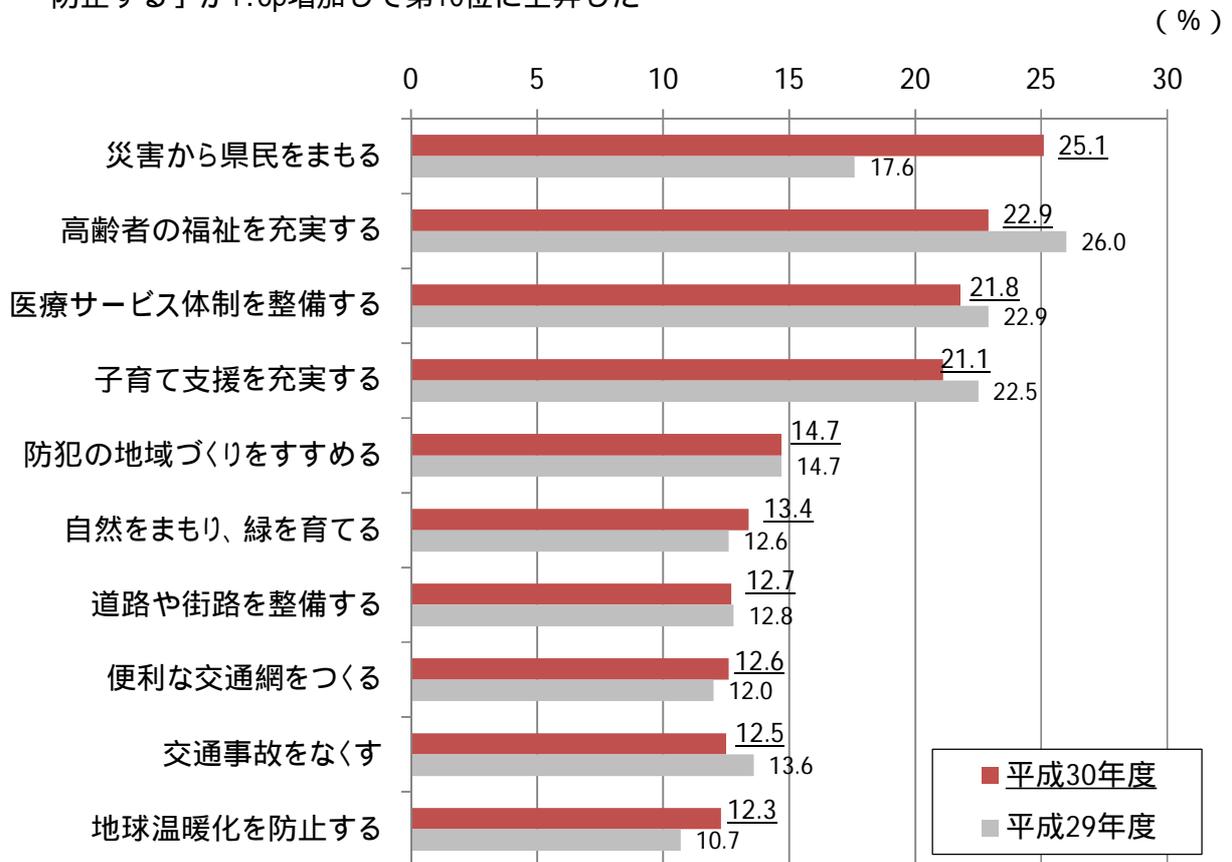
・4年連続で「満足(計)」が「不満(計)」を上回った

(%)



4 定期調査（県政への要望）

- ・「災害から県民をまもる」が7.5p増加し、初めて第1位となった
- ・「自然をまもり、緑を育てる」が若干増加して第6位に、「地球温暖化を防止する」が1.6p増加して第10位に上昇した



調査結果（単純集計結果）

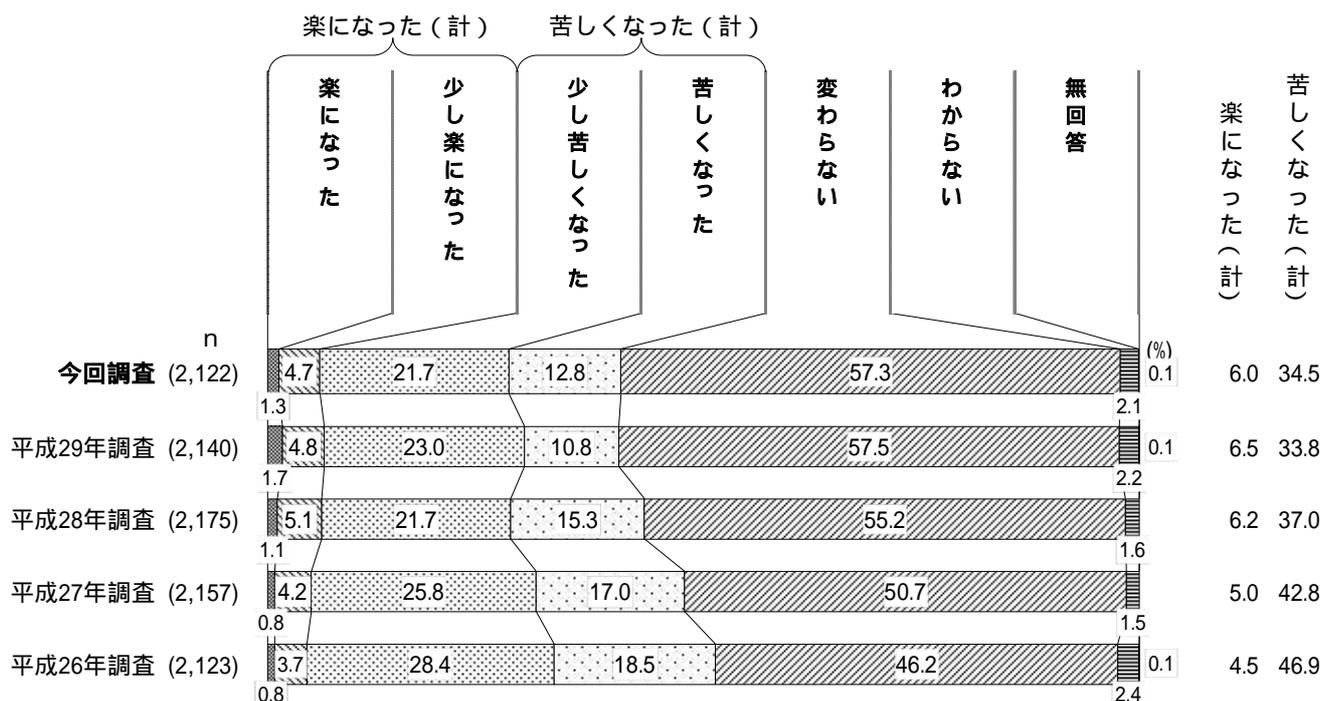
1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

「変わらない」57.3%、『苦しくなった(計)』34.5%、『楽になった(計)』6.0%

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねいたします。

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」(1.3%)と「少し楽になった」(4.7%)を合わせた『楽になった(計)』は6.0%となっている。一方で、「苦しくなった」(12.8%)と「少し苦しくなった」(21.7%)を合わせた『苦しくなった(計)』(34.5%)は3割台半ばとなっている。「変わらない」(57.3%)は5割台半ばを超えており、『苦しくなった(計)』を22.8ポイント上回った。

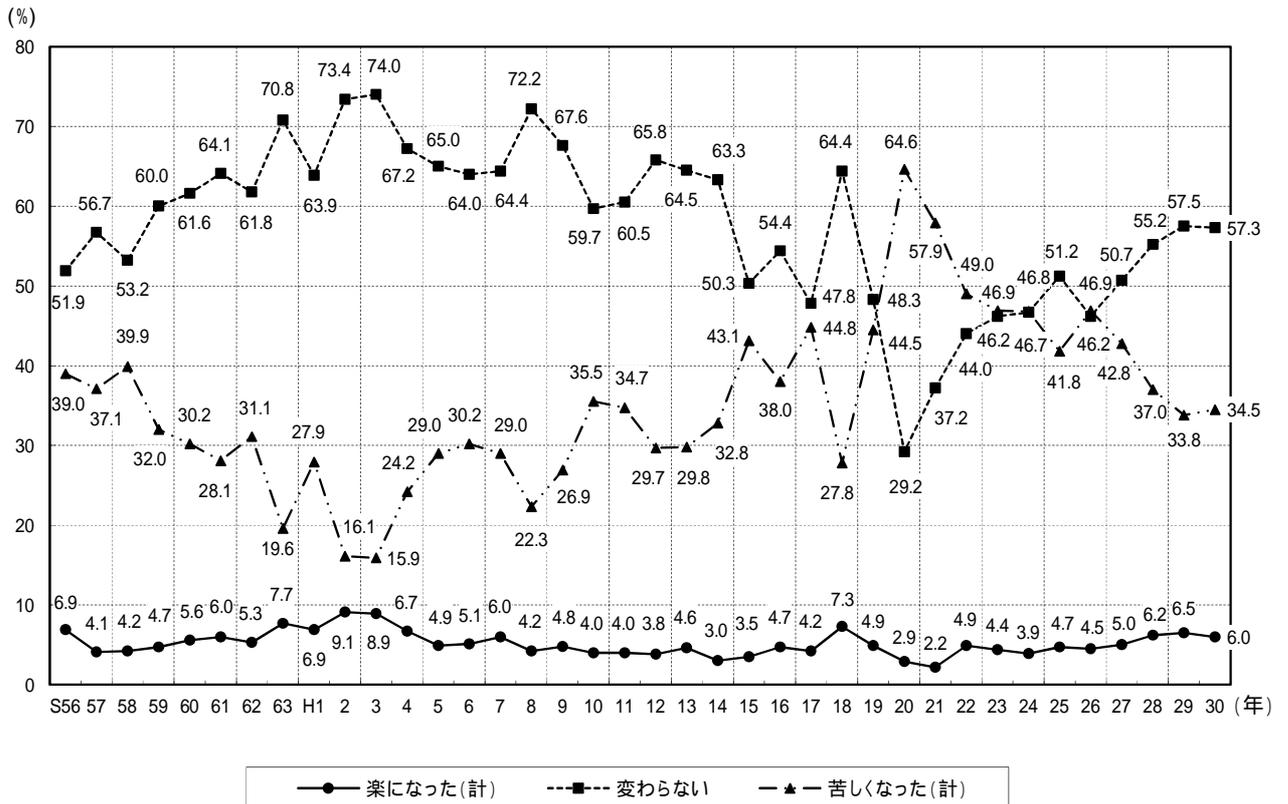
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「変わらない」、『苦しくなった(計)』、『楽になった(計)』ともに横ばいで推移している。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった(計)』は最も高かった平成20年(64.6%)から減少傾向にある。平成27年調査から4年連続で「変わらない」が『苦しくなった(計)』を上回った。

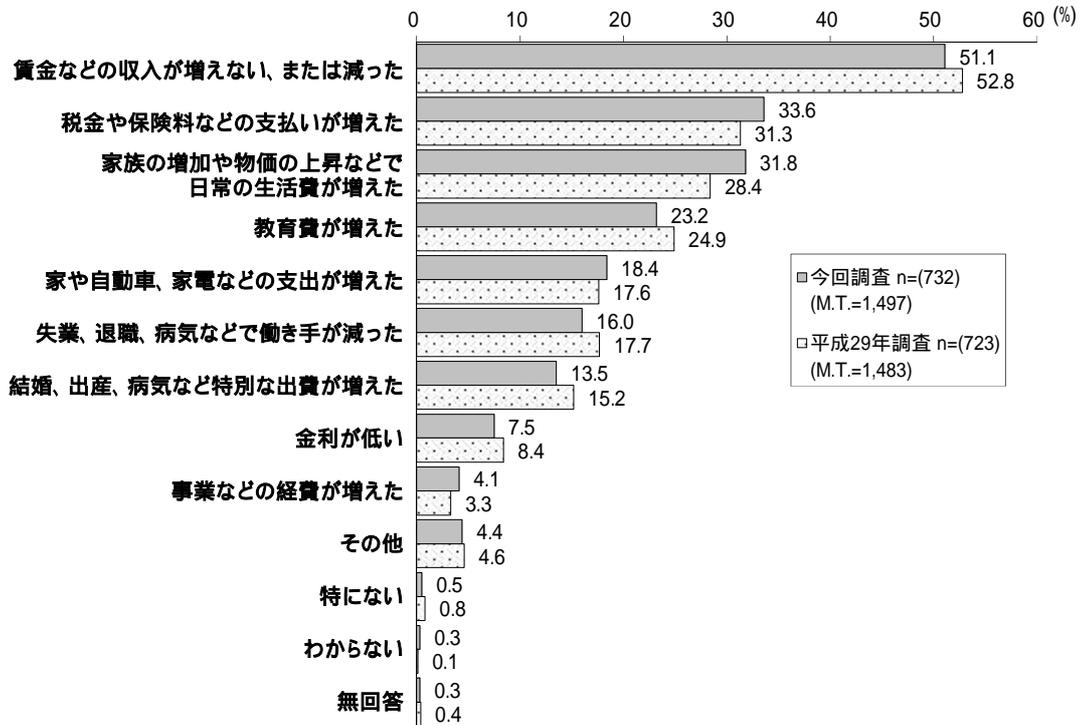
昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



(1 - 1) 暮らし向きが苦しくなった理由

「賃金などの収入が増えない、または減った」が51.1%と最も高い

(問1で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)
問1 - 1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」(51.1%)が5割強と最も高く、次いで、「税金や保険料などの支払いが増えた」(33.6%)、「家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた」(31.8%)、「教育費が増えた」(23.2%)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(18.4%)、「失業、退職、病気などで働き手が減った」(16.0%)などとなっている。

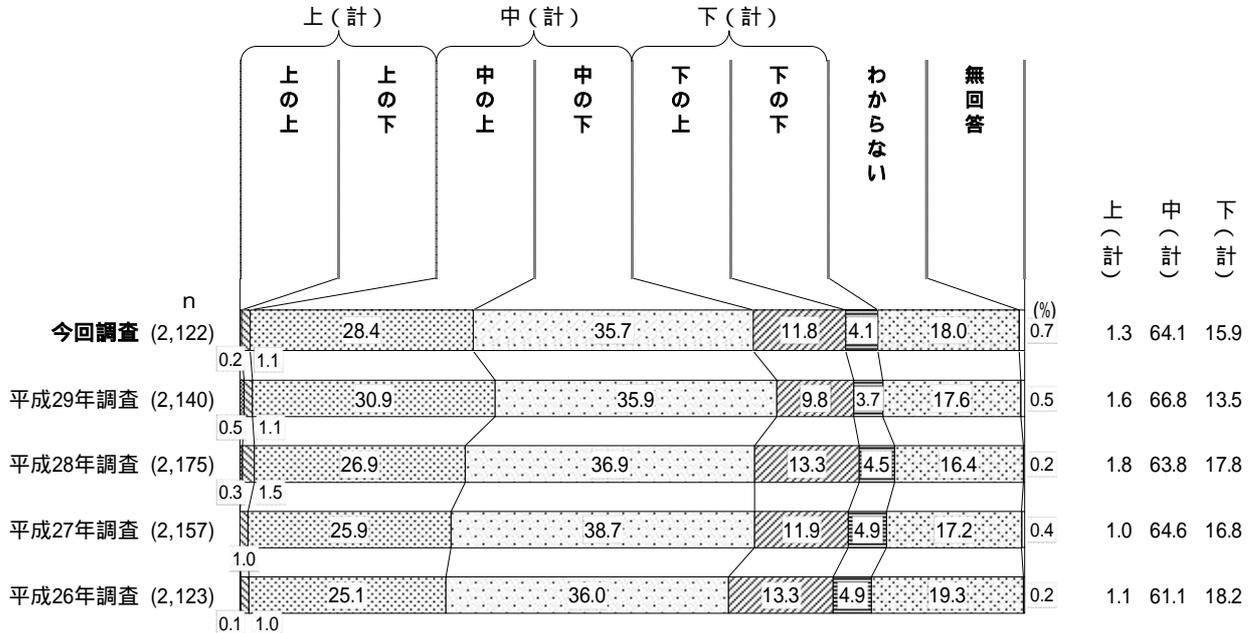
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた」(3.4ポイント増)、「税金や保険料などの支払いが増えた」(2.3ポイント増)などが増加している。

(2) 生活程度

『中(計)』が64.1%、『下(計)』は15.9%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」(35.7%)が最も高く、次いで、「中の上」(28.4%)となっている。両者を合わせた『中(計)』(64.1%)は6割台半ばとなっている。同様に「下の上」(11.8%)と「下の下」(4.1%)を合わせた『下(計)』(15.9%)は1割台半ば、「上の上」(0.2%)と「上の下」(1.1%)を合わせた『上(計)』は1.3%となっている。

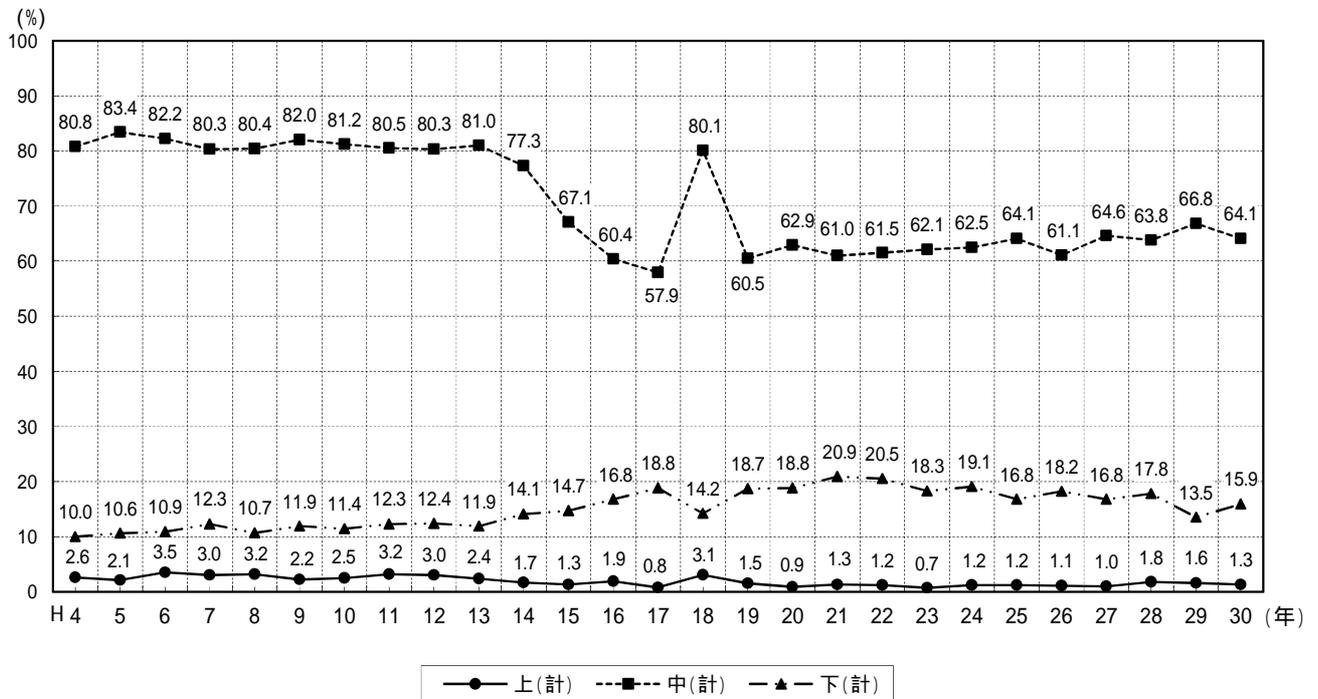
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、『下(計)』が2.4ポイント増加し、『中(計)』が2.7ポイント減少している。

【経年比較】

平成19年以降、『中(計)』が6割台で推移しており、今回調査でも64.1%となっている。

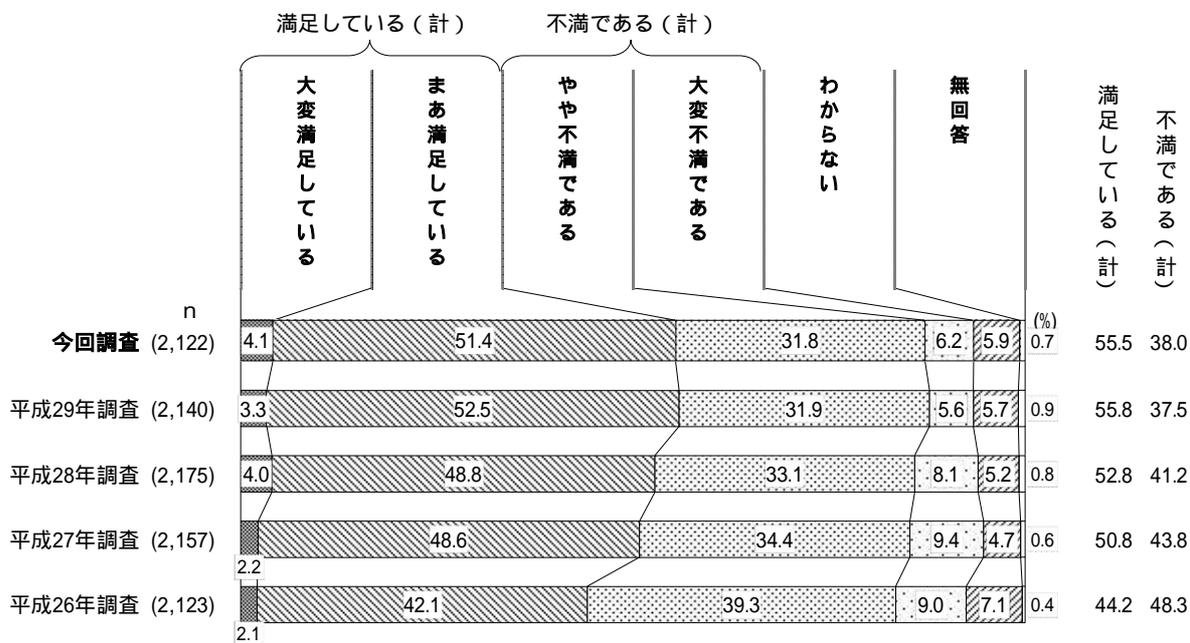
生活程度・平成4年以降の推移



(3) 生活全体の満足度

『満足している(計)』は55.5%、『不満である(計)』は38.0%

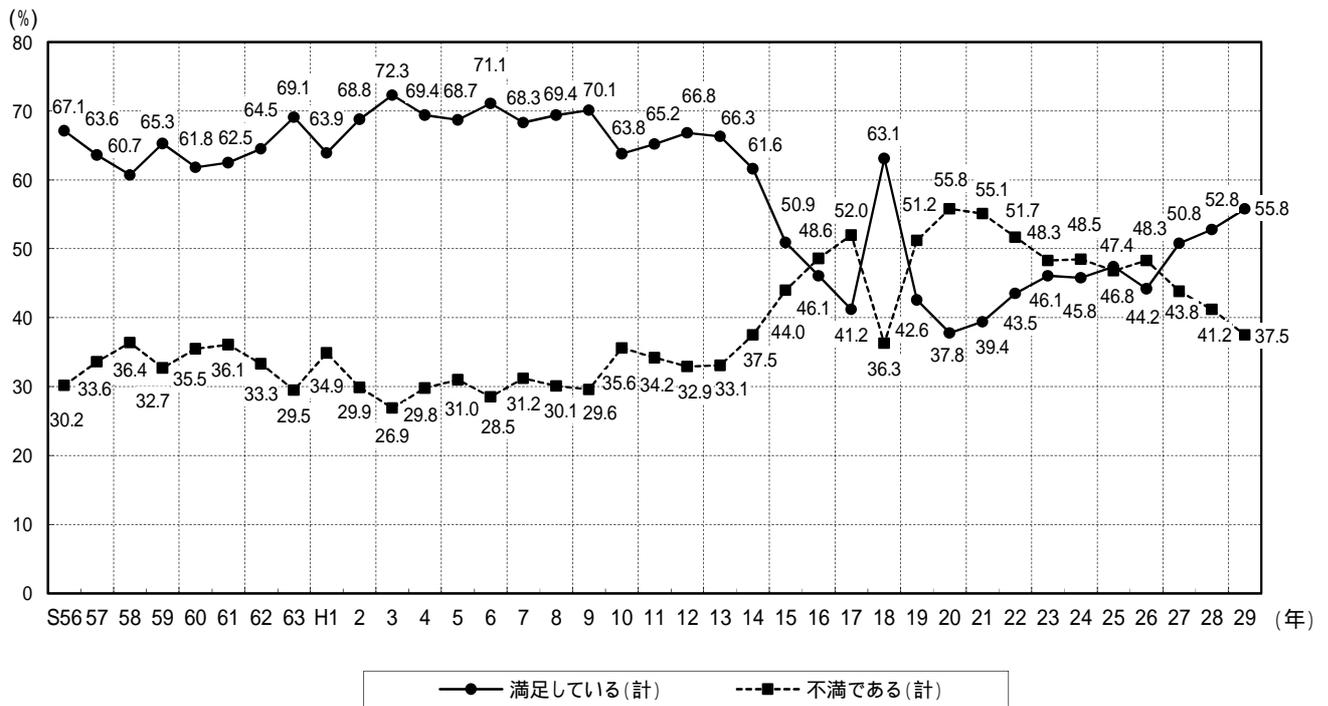
問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、平成19年以降『不満である（計）』の割合が『満足している（計）』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している（計）』の割合が平成27年調査（50.8%）で5割を超えて逆転した。今回調査でも『満足している（計）』（55.8%）が『不満である（計）』（37.5%）を上回る傾向が続き、3年連続となっている。

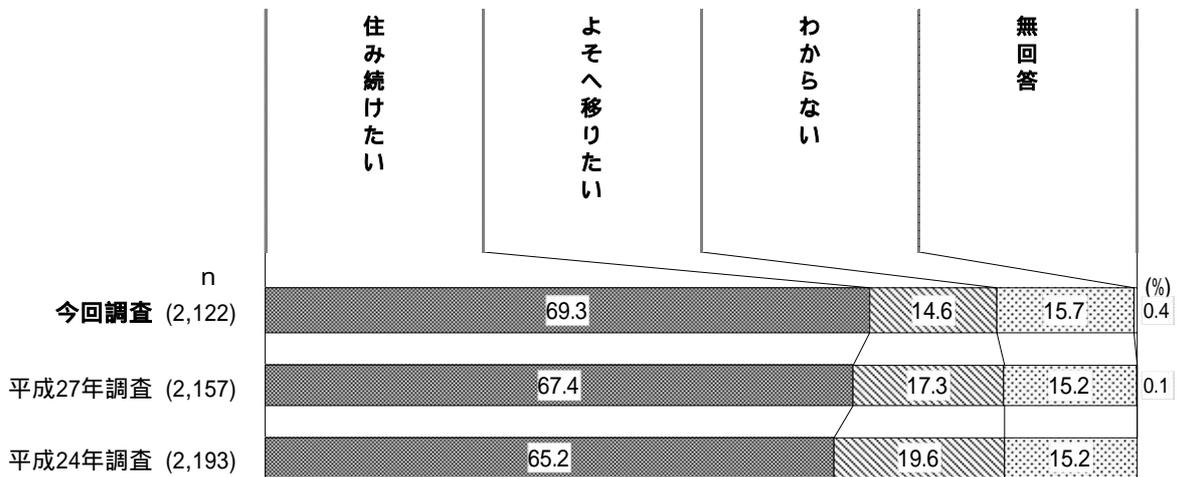
生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



(4) 定住意向

「住み続けたい」は69.3%、「よそへ移りたい」は14.6%

問4 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。

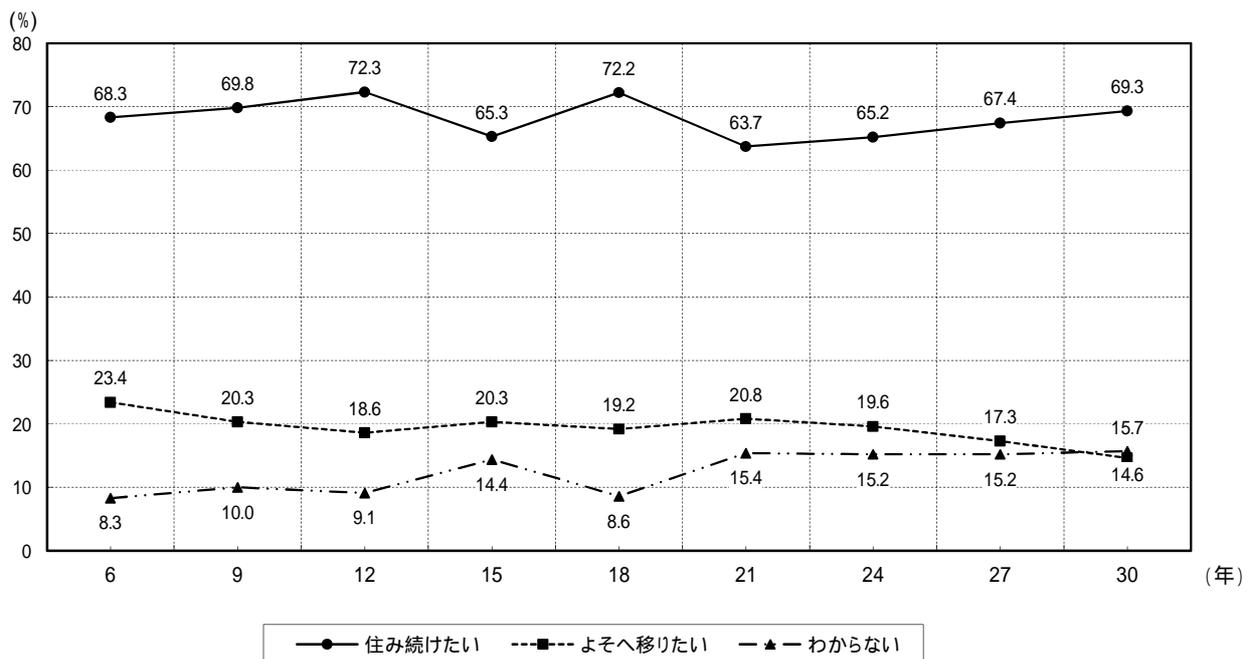


居住地域に住み続ける意向は、「住み続けたい」(69.3%)が約7割となっている。

【経年比較】

「住み続けたい」が前回と比較して1.9ポイント増加した。一方で、「よそへ移りたい」は前回と比較して2.7ポイント減少し、平成6年以降で最も低くなった。

定住意向・平成6年以降の推移

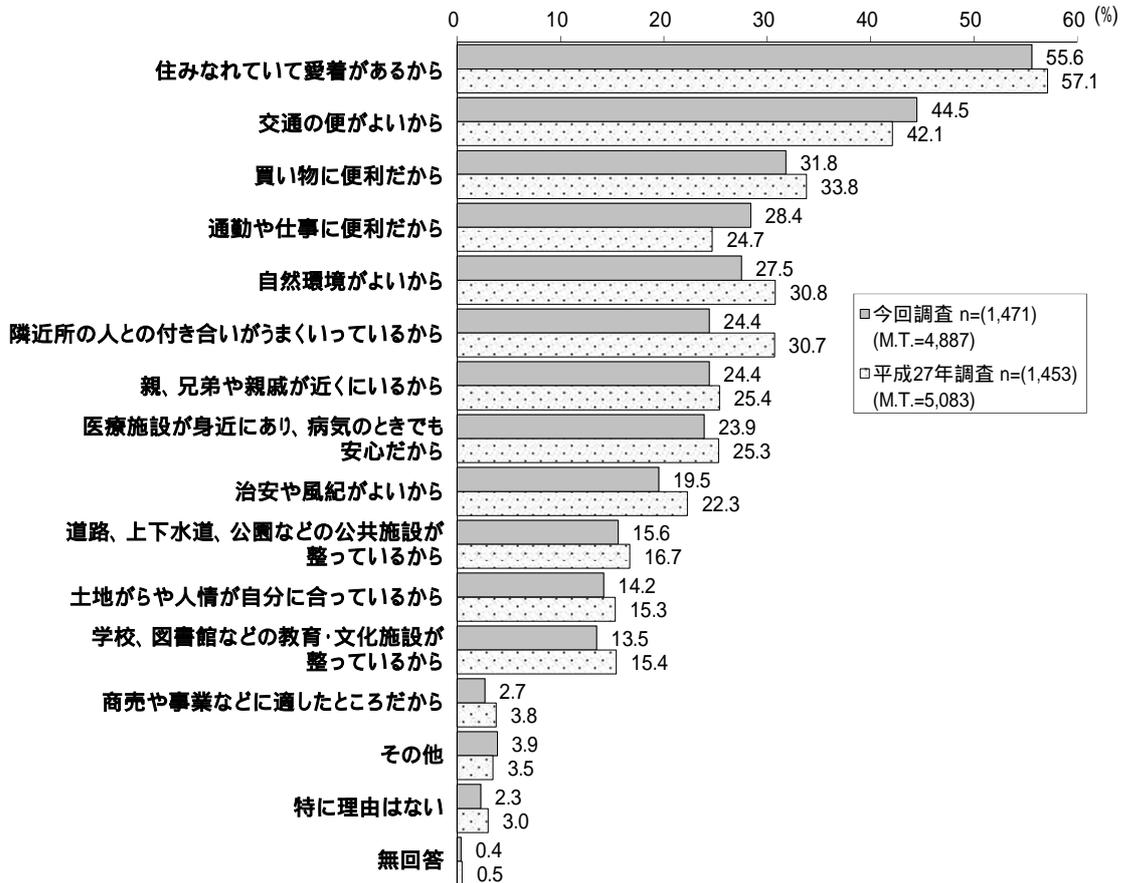


(4 - 1) 定住したい理由

「住みなれていて愛着があるから」が55.6%

(問 4 で「住み続けたい」と答えた方に)

問 4 - 1 今お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



定住したい理由は、「住みなれていて愛着があるから」(55.6%)が5割台半ばと最も高く、次いで「交通の便がよいから」(44.5%)、「買い物に便利だから」(31.8%)、「通勤や仕事に便利だから」(28.4%)、「自然環境がよいから」(27.5%)、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(24.4%)、「親、兄弟や親戚が近くにいるから」(24.4%)、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」(23.9%)、「治安や風紀がよいから」(19.5%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから」(15.6%)などとなっている。

定住したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（平成27年調査）の順位は次のようになっている。

	今 回	前回（平成27年調査）	増減差
1位 住みなれていて愛着があるから	55.6%	57.1% (1位)	1.5
2位 交通の便がよいから	44.5	42.1 (2位)	2.4
3位 買い物に便利だから	31.8	33.8 (3位)	2.0
4位 通勤や仕事に便利だから	28.4	24.7 (8位)	3.7
5位 自然環境がよいから	27.5	30.8 (4位)	3.3
6位 隣近所の人との付き合いがうまく いっているから	24.4	30.7 (5位)	6.3
6位 親、兄弟や親戚が近くにいるから	24.4	25.4 (6位)	1.0
8位 医療施設が身近にあり、病気の時 でも安心だから	23.9	25.3 (7位)	1.4
9位 治安や風紀がよいから	19.5	22.3 (9位)	2.8
10位 道路、上下水道、公園などの公共施 設が整っているから	15.6	16.7 (10位)	1.1

【平成27年調査との比較】

今回の上位10位を前回の平成27年調査と比較すると、「通勤や仕事に便利だから」は8位から4位に順位を上げている。

前回との増減をみると、「通勤や仕事に便利だから」(3.7ポイント増)、「交通の便がよいから」(2.4ポイント増)が増加している。一方で、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(6.3ポイント減)、「自然環境がよいから」(3.3ポイント減)、「治安や風紀がよいから」(2.8ポイント減)などが減少している。

【平成18年以降の上位10位の推移】

平成18年以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、今回1位の「住みなれていて愛着があるから」は5回連続1位、2位の「交通の便がよいから」は4回連続2位である。3位の「買い物に便利だから」は前回と同じ3位を維持している。4位の「通勤や仕事に便利だから」は前回の8位から大幅に順位を上げた。5位の「自然環境がよいから」は前回から続けて順位を下げており、今回初めての5位となった。6位の「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」、8位の「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」は1つ順位を下げています。

順位	18年	21年	24年	27年	30年
1	住みなれていて愛着があるから 65.5%	住みなれていて愛着があるから 58.8%	住みなれていて愛着があるから 59.3%	住みなれていて愛着があるから 57.1%	住みなれていて愛着があるから 55.6%
2	自然環境がよいから 42.1%	交通の便がよいから 41.5%	交通の便がよいから 41.7%	交通の便がよいから 42.1%	交通の便がよいから 44.5%
3	交通の便がよいから 39.3%	自然環境がよいから 34.5%	自然環境がよいから 37.1%	買い物に便利だから 33.8%	買い物に便利だから 31.8%
4	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 35.0%	買い物に便利だから 32.9%	買い物に便利だから 32.4%	自然環境がよいから 30.8%	通勤や仕事に便利だから 28.4%
5	買い物に便利だから 29.6%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 28.7%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 29.1%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 30.7%	自然環境がよいから 27.5%
6	親、兄弟や親戚が近くにいるから 28.7%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.6%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 26.9%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 25.4%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから / 24.4%
7	通勤や仕事に便利だから 24.6%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 24.2%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 24.8%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 25.3%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.4%
8	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 22.8%	通勤や仕事に便利だから 22.7%	通勤や仕事に便利だから 24.3%	通勤や仕事に便利だから 24.7%	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから 23.9%
9	土地がらや人情が自分に合っているから 22.3%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.3%	治安や風紀がよいから 19.0%	治安や風紀がよいから 22.3%	治安や風紀がよいから 19.5%
10	治安や風紀がよいから 20.3%	治安や風紀がよいから 15.9%	土地がらや人情が自分に合っているから 16.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 15.6%

【上位5位の推移】

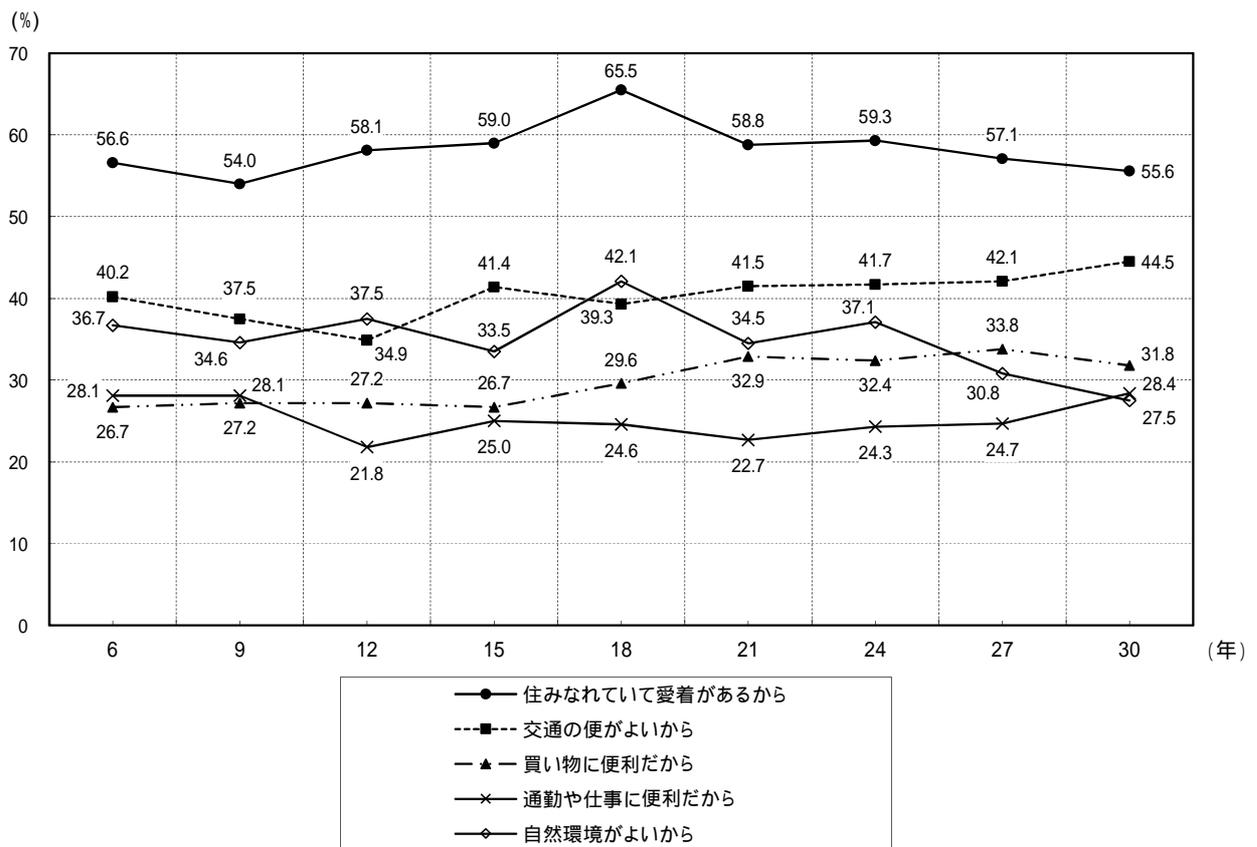
1位の「住みなれていて愛着があるから」は平成21年から5割台で推移している。

2位の「交通の便がよいから」は平成15年以降は4割前後を維持しているが、4回連続で上昇し今回は44.5%まで上がった。

3位の「買い物に便利だから」は平成21年以降3割台で推移している。

4位の「通勤や仕事に便利だから」は平成15年以降2割台半ばで推移してきたが、今回は28.4%まで上がった。

5位の「自然環境がよいから」は3割以上で推移していたが、今回は27.5%と2割台まで下がった。

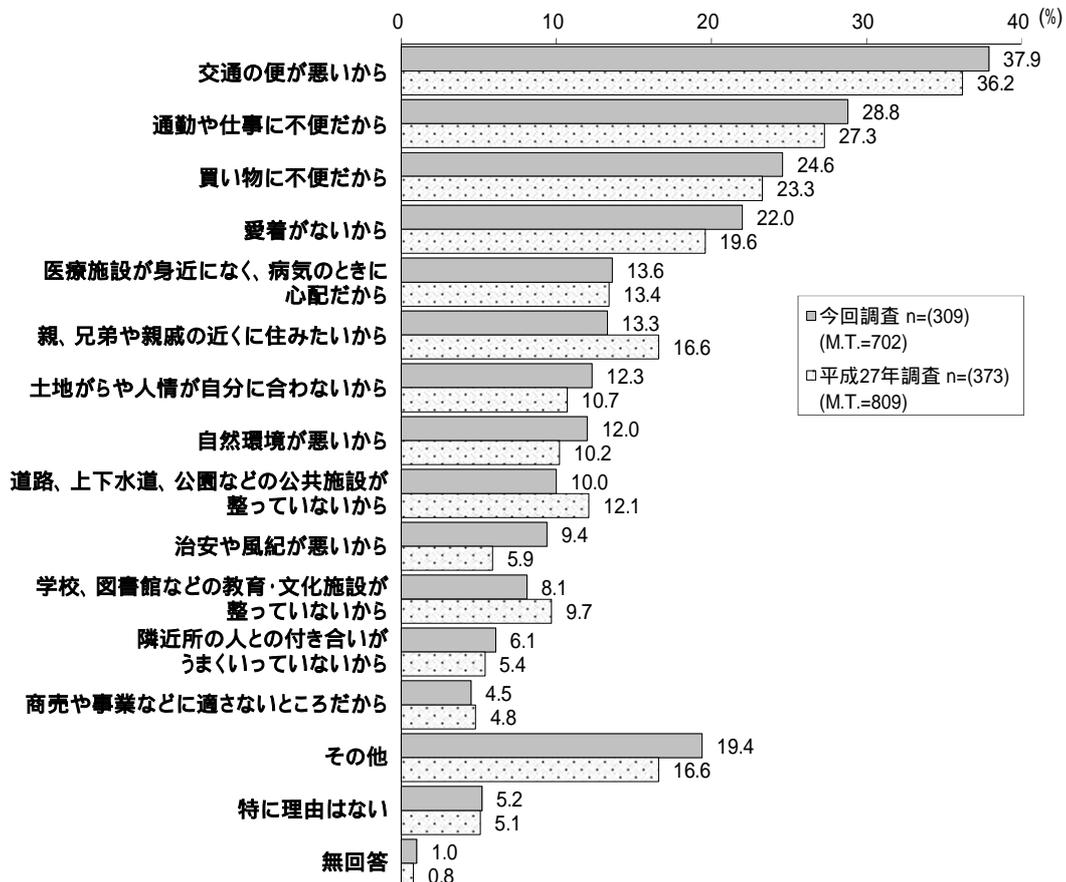


(4 - 2) 転出したい理由

「交通の便が悪いから」が37.9%

(問4で「よそへ移りたい」と答えた方に)

問4 - 2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



今の地域からよその地域へ移り住みたいと思う理由は、「交通の便が悪いから」(37.9%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「通勤や仕事に不便だから」(28.8%)、「買い物に不便だから」(24.6%)、「愛着がないから」(22.0%)、「医療施設が身近になく、病気のときに心配だから」(13.6%)、「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」(13.3%)、「土地がらや人情が自分に合わないから」(12.3%)、「自然環境が悪いから」(12.0%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」(10.0%)、「治安や風紀が悪いから」(9.4%)などとなっている。

転出したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（平成27年調査）の順位は次のようになっている。

	今 回	前回（平成27年調査）	増減差
1位 交通の便が悪いから	37.9%	36.2% (1位)	1.7
2位 通勤や仕事に不便だから	28.8	27.3 (2位)	1.5
3位 買い物に不便だから	24.6	23.3 (3位)	1.3
4位 愛着がないから	22.0	19.6 (4位)	2.4
5位 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから	13.6	13.4 (6位)	0.2
6位 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから	13.3	16.6 (5位)	3.3
7位 土地がらや人情が自分に合わないから	12.3	10.7 (8位)	1.6
8位 自然環境が悪いから	12.0	10.2 (9位)	1.8
9位 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	10.0	12.1 (7位)	2.1
10位 治安や風紀が悪いから	9.4	5.9 (11位)	3.5

【平成27年調査との比較】

今回の上位10位と前回の平成27年調査と比較すると、1位～4位の順位は変わらない。「医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから」は6位から5位、「土地がらや人情が自分に合わないから」は8位から7位に、「自然環境が悪いから」は9位から8位に順位を上げている。「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」は5位から6位に、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」は7位から9位に順位を下げている。「治安や風紀が悪いから」が10位に入り込んでいる。

前回との増減をみると、「治安や風紀が悪いから」(3.5ポイント増)、「愛着がないから」(2.4ポイント増)、「自然環境が悪いから」(1.8ポイント増)などが増加しており、減少しているのは「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」(3.3ポイント減)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」(2.1ポイント減)である。

【平成18年以降の上位10位の推移】

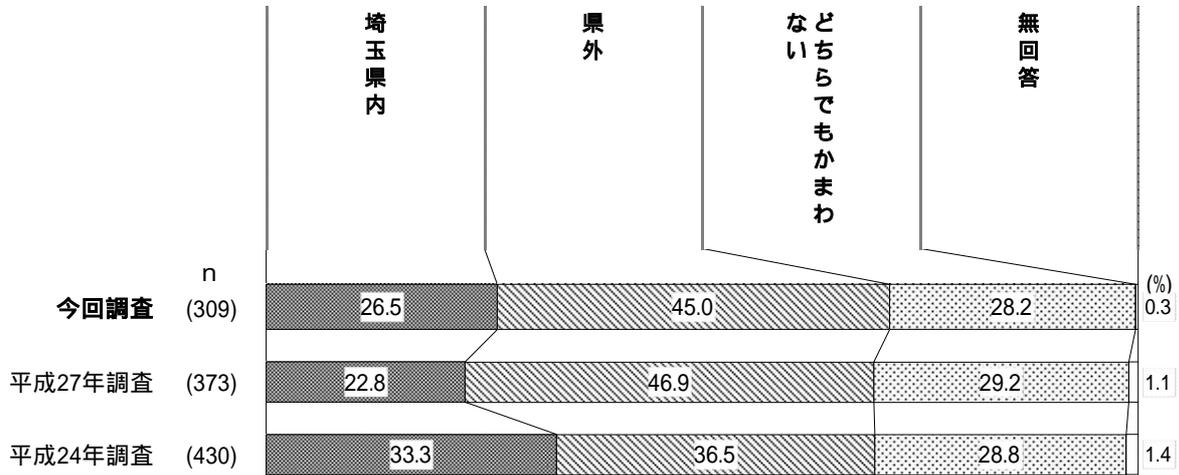
平成18年以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、今回1位の「交通の便が悪いから」は5回連続1位となっている。2位～4位については前回と同様の順位を維持しており、これらは順位の上下はあるが5回とも同じ項目となっている。「医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから」は3回連続で順位を上げて5位となった。6位の「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」は平成21年以降は3回連続5位となっていたが、1つ順位を下げている。

順位	18年	21年	24年	27年	30年
1	交通の便が悪いから 38.3%	交通の便が悪いから 35.0%	交通の便が悪いから 28.6%	交通の便が悪いから 36.2%	交通の便が悪いから 37.9%
2	通勤や仕事に不便だから 26.9%	通勤や仕事に不便だから 25.9%	愛着がないから 21.6%	通勤や仕事に不便だから 27.3%	通勤や仕事に不便だから 28.8%
3	買い物に不便だから 20.5%	買い物に不便だから 22.2%	通勤や仕事に不便だから 20.7%	買い物に不便だから 23.3%	買い物に不便だから 24.6%
4	愛着がないから / 19.4%	愛着がないから 19.7%	買い物に不便だから 15.3%	愛着がないから 19.6%	愛着がないから 22.0%
5	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 19.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 15.6%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 14.9%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 16.6%	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 13.6%
6	自然環境が悪いから 18.9%	自然環境が悪いから / 15.0%	自然環境が悪いから 12.3%	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 13.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 13.3%
7	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 15.4%	土地がらや人情が自分に合わないから 15.0%	土地がらや人情が自分に合わないから 11.4%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.1%	土地がらや人情が自分に合わないから 12.3%
8	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.2%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 13.9%	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 9.8%	土地がらや人情が自分に合わないから 10.7%	自然環境が悪いから 12.0%
9	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから / 10.9%	医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 12.8%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 9.1%	自然環境が悪いから 10.2%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 10.0%
10	治安や風紀が悪いから 10.9%	隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから 9.2%	治安や風紀が悪いから 7.4%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 9.7%	治安や風紀が悪いから 9.4%

(4 - 3) 転出先

「県外」が45.0%

(問4で「よそへ移りたい」と答えた方に)
 問4-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。

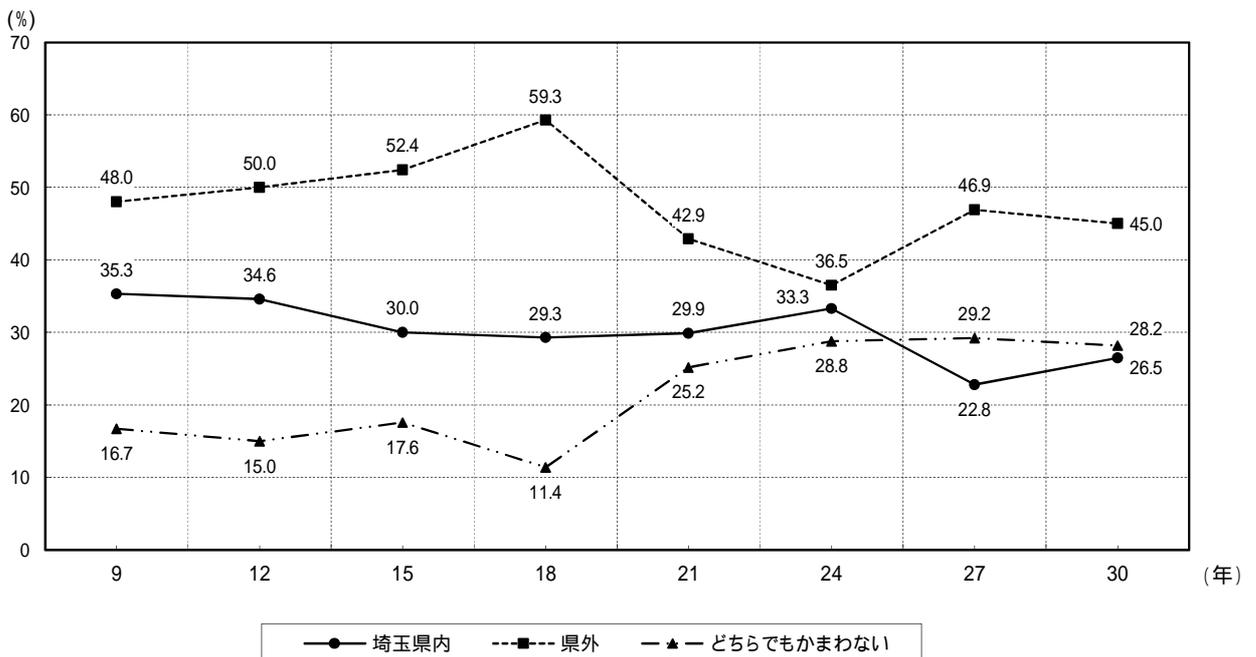


転出先は、「県外」(45.0%)が4割台半ばと最も高く、次いで「どちらでもかまわない」(28.2%)、「埼玉県内」(26.5%)の順となっている。

【経年比較】

平成9年以降(3年毎)に実施した調査結果の推移をみると、「県外」は平成18年以降減少傾向であったが、前回(46.9%)同様に今回の調査(45.0%)でも4割台となっている。「埼玉県内」は平成27年調査では22.8%と「どちらでもかまわない」を下回ったが、今回の調査で26.5%と増加に転じている。

転出先・平成9年以降の推移



(4 - 3 - 1) 移り住みたい都道府県

「東京都」が54.0%

(問 4 - 3 で「県外」と答えた方に)

問 4 - 3 - 1 県外へ移るとしたら、どこの都道府県へ移りたいですか。

都道府県	%
東京都	54.0
神奈川県	6.5
北海道	5.8
千葉県	5.0
栃木県	2.9
秋田県	2.2
群馬県	2.2
長野県	2.2
沖縄県	2.2
山梨県	1.4
愛知県	1.4
海外	1.4

都道府県	%
青森県	0.7
岩手県	0.7
山形県	0.7
茨城県	0.7
新潟県	0.7
静岡県	0.7
兵庫県	0.7
鳥取県	0.7
長崎県	0.7
熊本県	0.7
不明	2.2
無回答	3.6

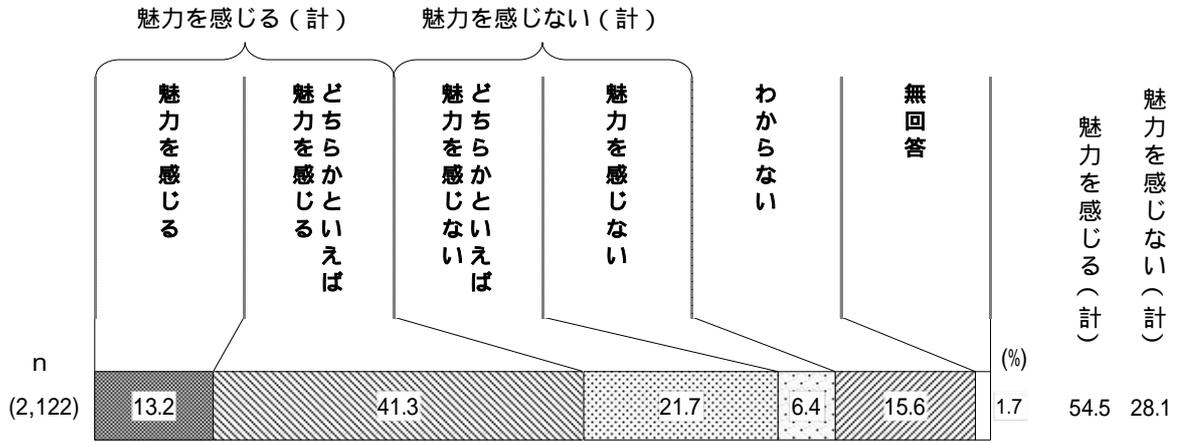
n = 139

移りたい都道府県は、「東京都」(54.0%) が 5 割台半ばで最も高く、次いで「神奈川県」(6.5%)、「北海道」(5.8%)、「千葉県」(5.0%) などとなっている。

(5) 埼玉県に魅力を感じるか

『魅力を感じる(計)』は54.5%、『魅力を感じない(計)』は28.1%

問5 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。



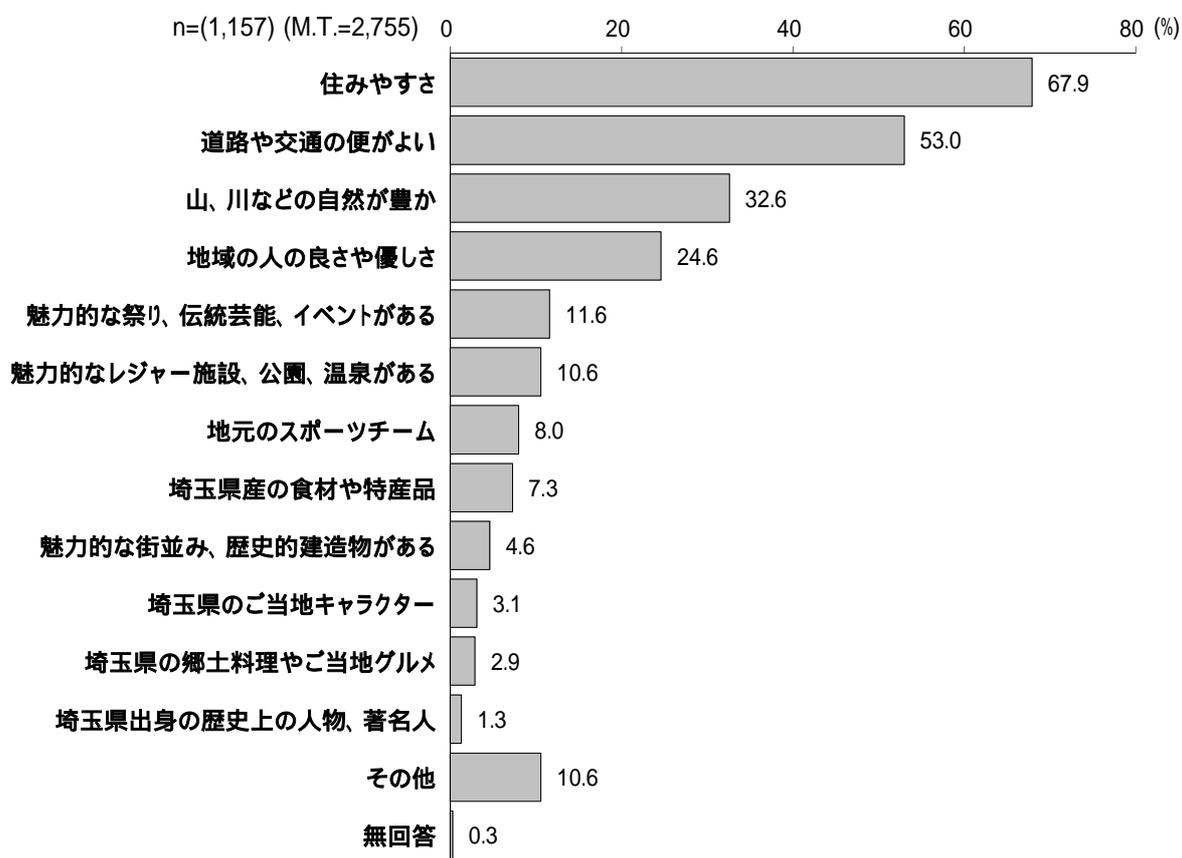
埼玉県に魅力を感じるかは、「どちらかといえば魅力を感じる」が41.3%で最も高く、次いで、「どちらかといえば魅力を感じない」が21.7%となっている。「魅力を感じる」(13.2%)と「どちらかといえば魅力を感じる」(41.3%)を合わせた『魅力を感じる(計)』(54.5%)は5割台半ば、「魅力を感じない」(6.4%)と「どちらかといえば魅力を感じない」(21.7%)を合わせた『魅力を感じない(計)』(28.1%)は3割弱となっている。『魅力を感じる(計)』が『魅力を感じない(計)』を26.4ポイント上回っている。

(5 - 1) 埼玉県で魅力を感じるもの

「住みやすさ」が67.9%

(問5で「魅力を感じる」、「どちらかといえば魅力を感じる」と答えた方に)

問5 - 1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。あてはまるものをすべてを選んでください。



埼玉県で魅力を感じるものは、「住みやすさ」(67.9%) が 6 割台半ばを超えて最も高く、次いで、「道路や交通の便がよい」(53.0%)、「山、川などの自然が豊か」(32.6%)、「地域の人の良さや優しさ」(24.6%)、「魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある」(11.6%)、「魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある」(10.6%) などとなっている。

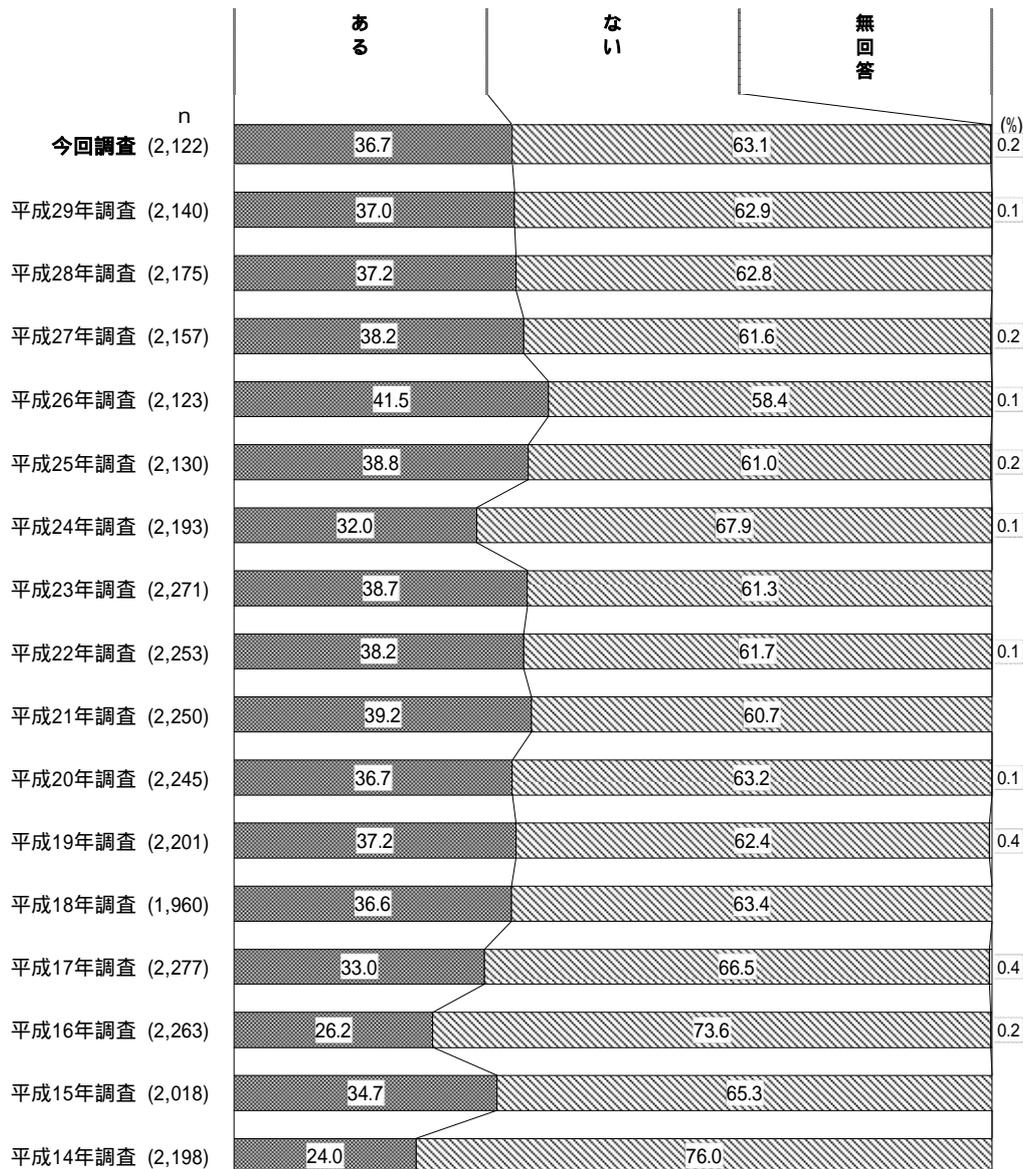
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

参加経験が「ある」36.7%、「ない」63.1%

問6 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動(清掃活動や防犯パトロール、地域運動会への参加など)やPTA活動、子供会活動、学校応援団(読み聞かせボランティアなど)、障がい者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。



過去1年間に地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことが「ある」(36.7%)は3割台半ばを超えている。

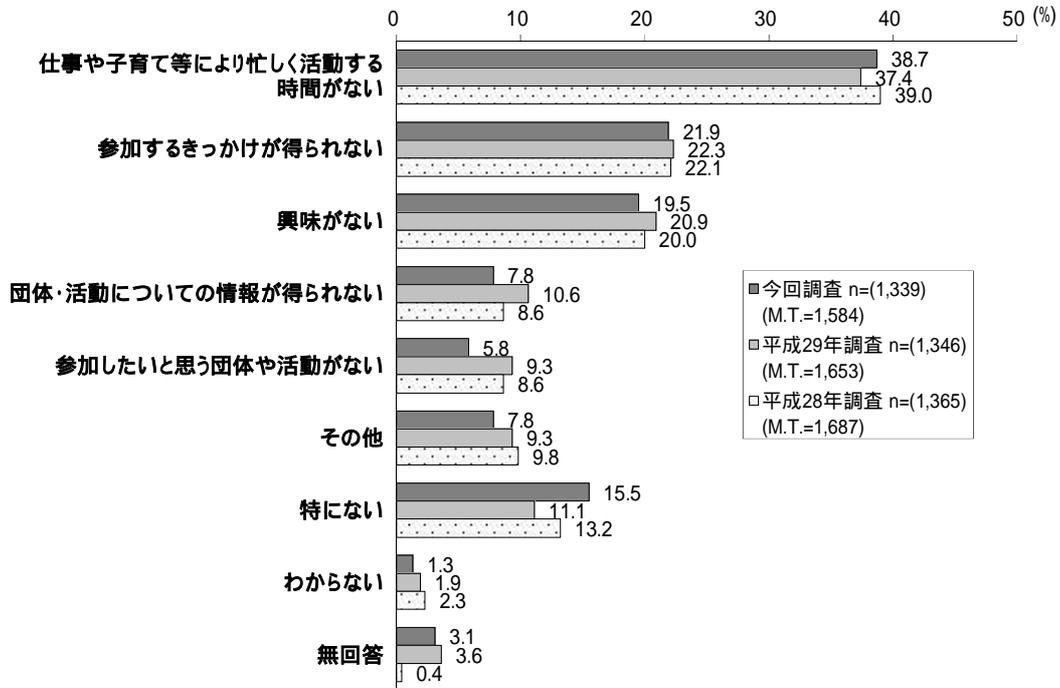
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「ある」は0.3ポイント減少している。

(1 - 1) 地域社会活動への不参加の理由

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が38.7%

(問6(1)で「ない」と答えた方に)
 問6(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



地域活動やNPO・ボランティア活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(38.7%)が最も高く、次いで、「参加するきっかけが得られない」(21.9%)、「興味がない」(19.5%)、「団体・活動についての情報が得られない」(7.8%)、「参加したいと思う団体や活動がない」(5.8%)となっている。

【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(1.3ポイント増)などが増加し、「参加したいと思う団体や活動がない」(3.5ポイント減)などが減少している。

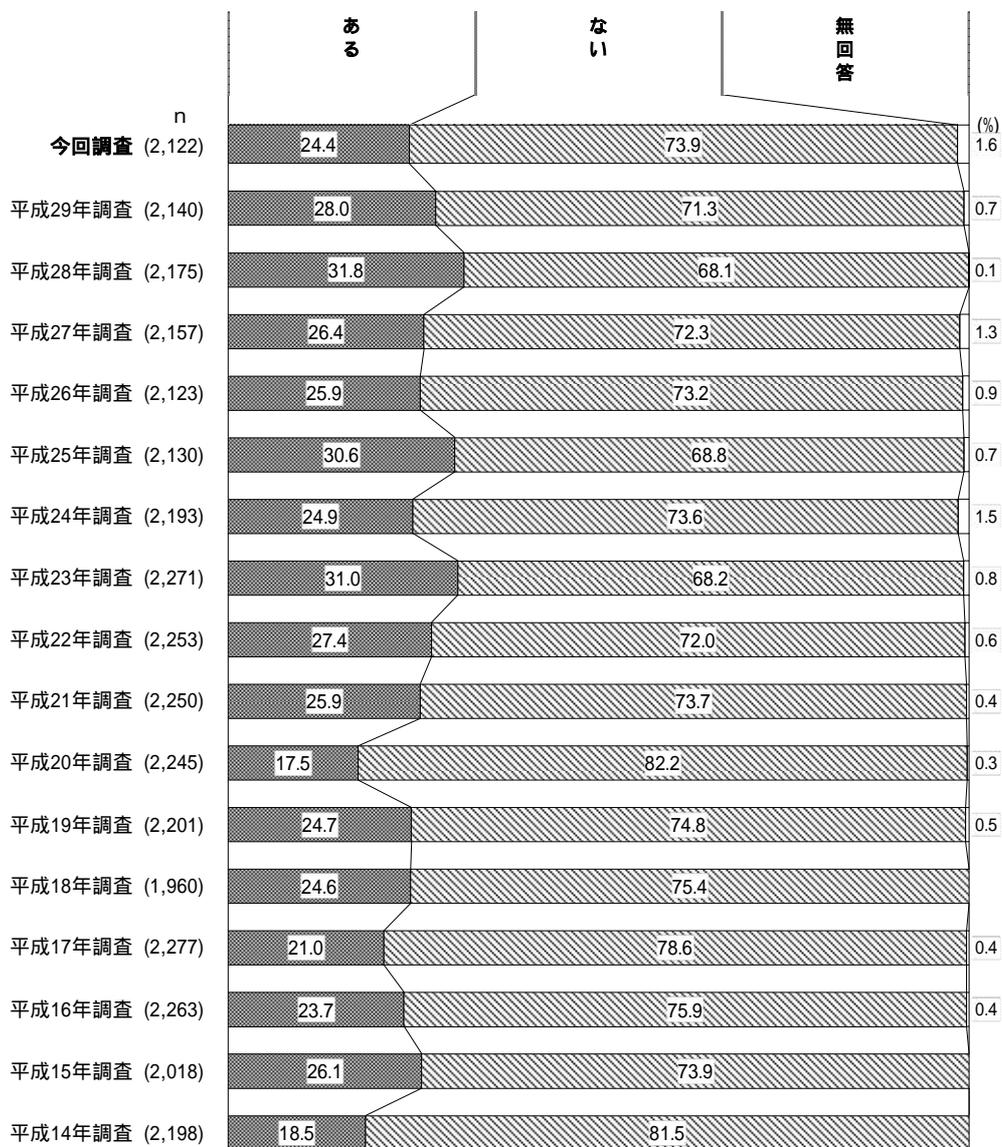
(2) 文化芸術活動の経験

文化芸術活動の経験が「ある」24.4%、「ない」73.9%

問6(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動()を行ったことがありますか。

文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など)
- ・美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)
- ・写真(ポートレート、風景、スナップ写真など)
- ・文芸(小説、詩、俳句、短歌など)
- ・生活文化(書道、華道、盆栽など)
- ・国民娯楽(囲碁、将棋など)
- ・舞踊(バレエ、ダンスなど)
- ・伝統芸能(歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など)
- ・演劇(現代劇、ミュージカルなど)
- ・演芸(落語、漫談、漫才など)
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス



平成22年調査までは、設問文を「現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか」とし、選択肢を「行っている」と「行っていない」としていた。

この1年間に文化芸術活動を行ったことが「ある」(24.4%)は2割台半ばとなっている。

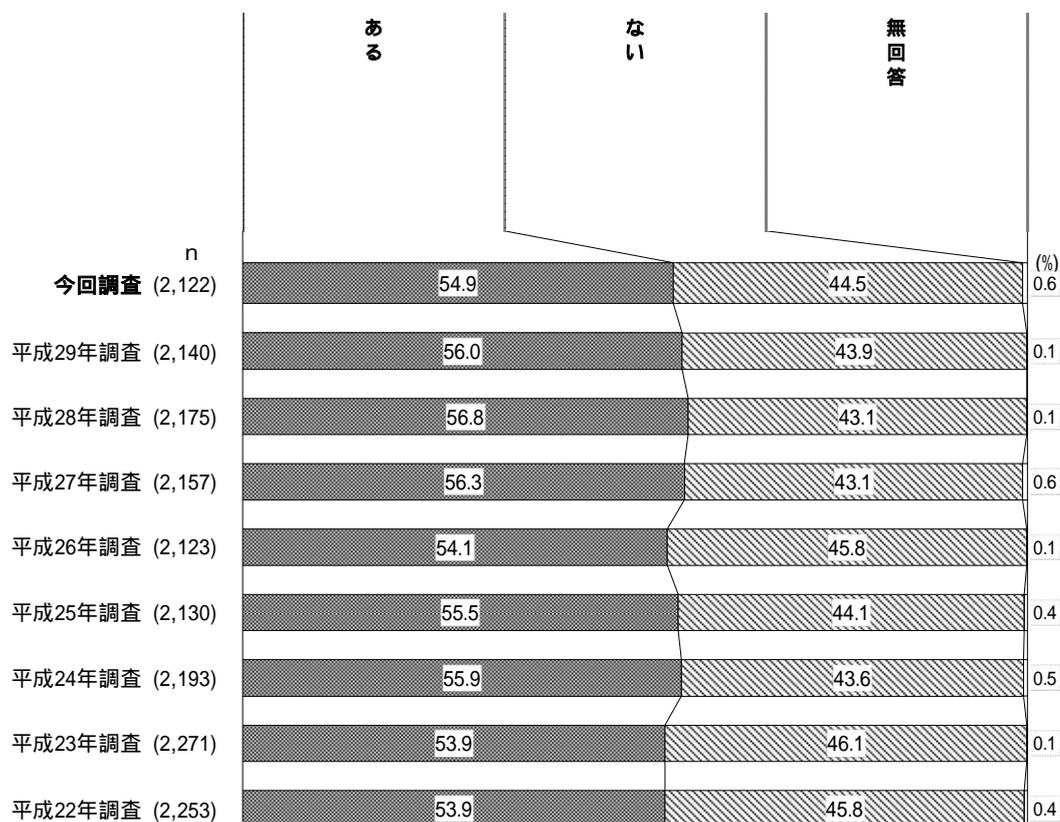
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「ある」は3.6ポイント減少した。

(3) 文化芸術活動の鑑賞

文化芸術活動の鑑賞は「ある」54.9%、「ない」44.5%

問6(3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことがありますか。



この1年間で、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことが「ある」(54.9%)は5割台半ばとなっており、「ない」(44.5%)を10.4ポイント上回っている。

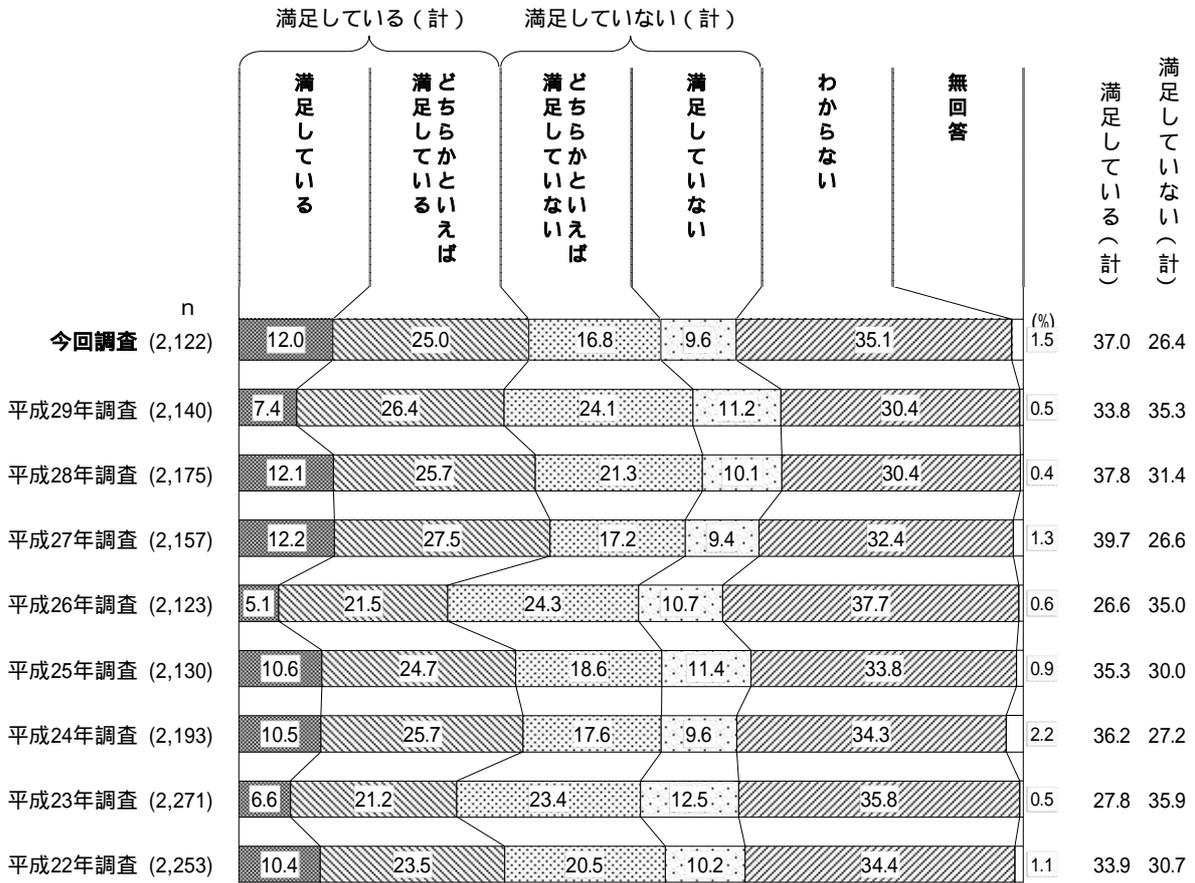
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「ある」は1.1ポイント減少した。

(4) 文化芸術活動の機会や環境の満足度

『満足している(計)』は37.0%、『満足していない(計)』は26.4%

問6(4)あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。



日常生活の中での文化芸術活動の機会や環境の満足度は、「どちらかといえば満足している」(25.0%)が2割台半ばで最も高くなっており、これに「満足している」(12.0%)を合わせた『満足している(計)』(37.0%)は3割台半ばを超えている。一方で、「満足していない」(9.6%)と「どちらかといえば満足していない」(16.8%)を合わせた『満足していない(計)』(26.4%)は、2割台半ばを超えている。また、「わからない」(35.1%)も3割台半ばと高くなっている。

【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、『満足している(計)』が3.2ポイント増加し、『満足していない(計)』が8.9ポイント減少している。

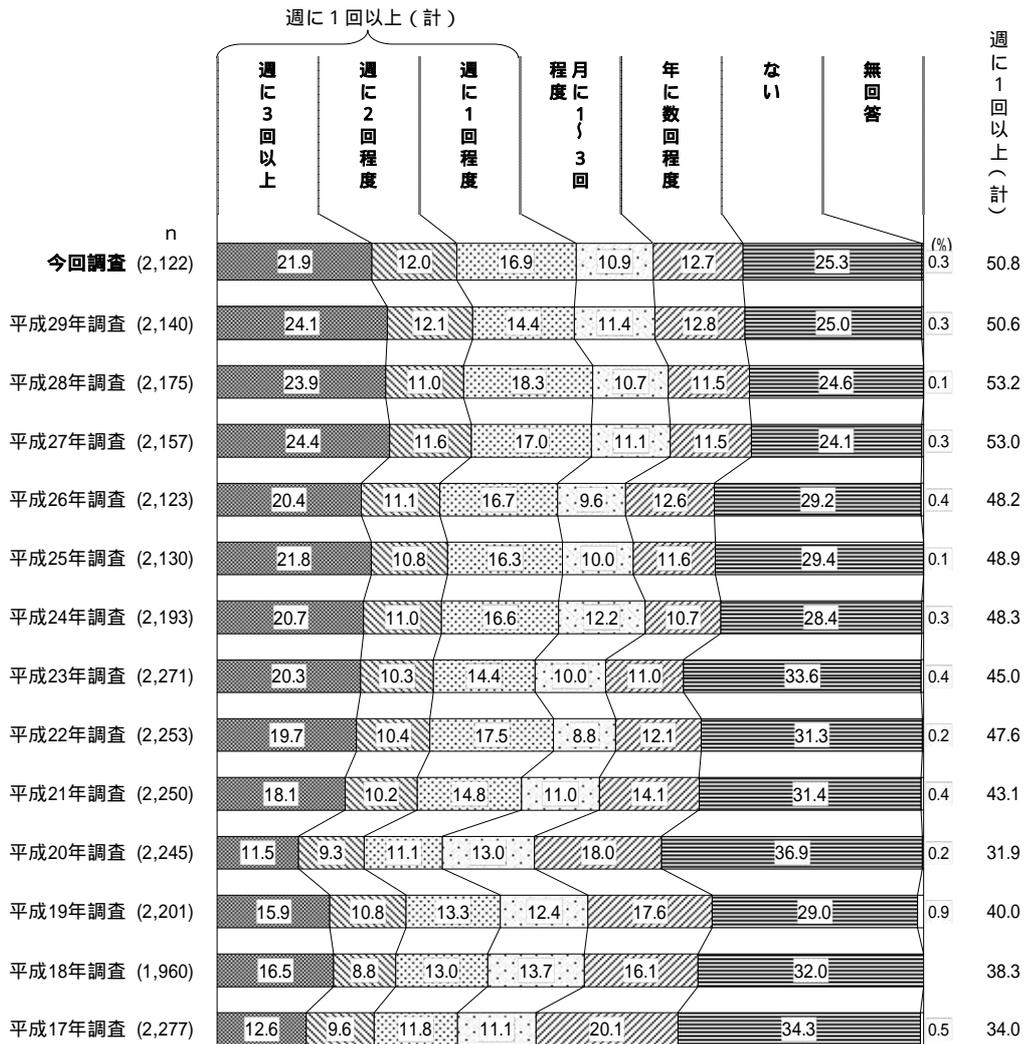
(5) スポーツをする機会

『週に1回以上(計)』は50.8%

問7 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。(散歩やウォーキング、軽い体操、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなど()も含めます。)

スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング、ジョギング・ランニング、水泳、体操(軽い体操・ラジオ体操を含む)、登山(トレッキングを含む)、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、筋力トレーニング、釣り、サイクリング、ゲートボール、フォークダンス、民謡踊りなど



選択肢「月に1~3回程度」は、平成22年から平成26年調査までは「月に1~2回程度」としていた。
また、平成24年調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。

過去1年間のスポーツをする機会は、「ない」(25.3%)が2割台半ばと最も高く、次いで、「週に3回以上」(21.9%)、「週に1回程度」(16.9%)などとなっている。また、『週に1回以上(計)』(「週に3回以上」(21.9%)、「週に2回程度」(12.0%)、「週に1回程度」(16.9%)の合計50.8%)は5割を超えている。

週に1回以上スポーツをする満20歳以上の県民の割合は50.8%となっている(平成29年調査は50.2%)。

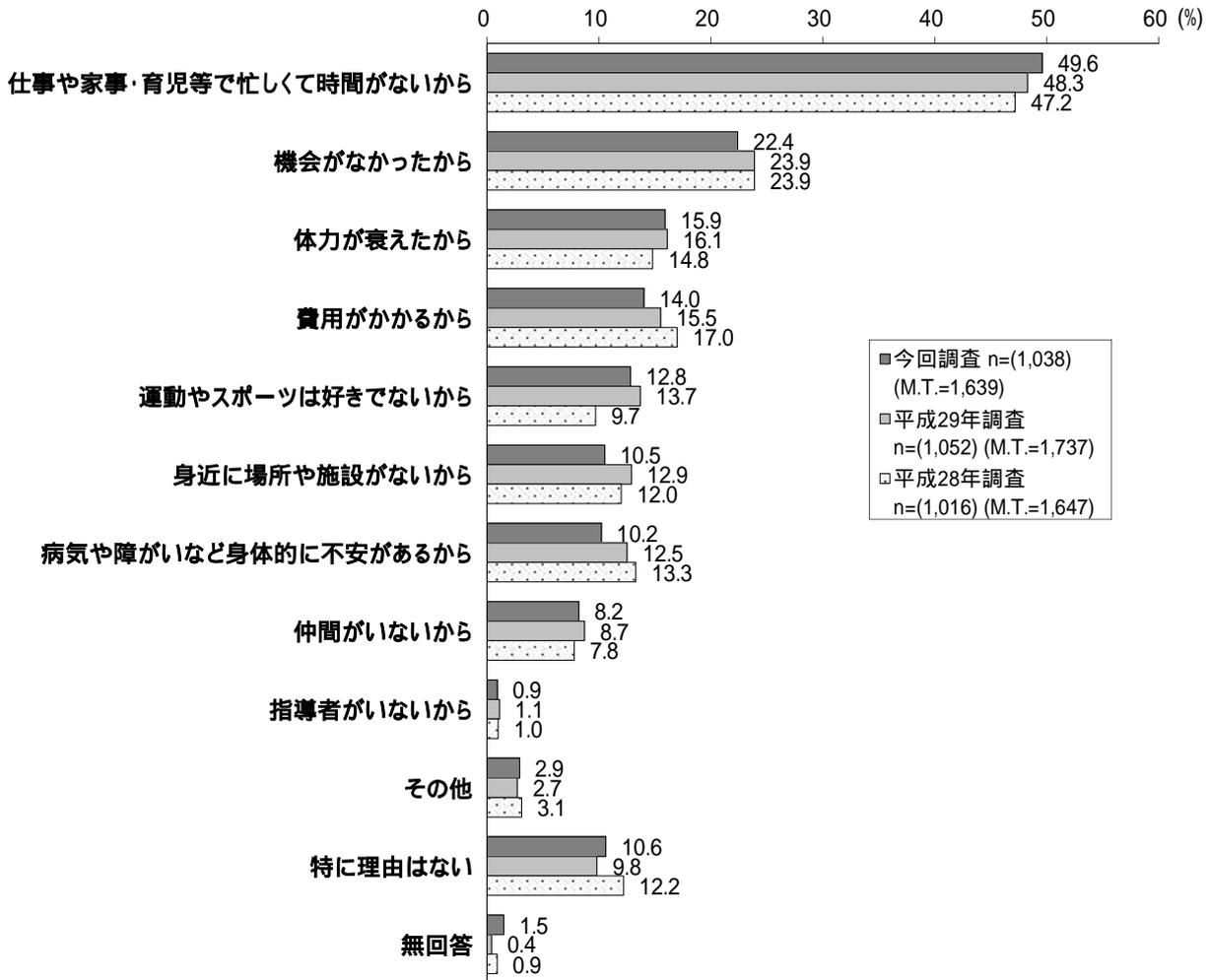
【過去調査との比較】

『週に1回以上(計)』(50.8%)は平成29年調査から0.2ポイント増加している。

(5 - 1) スポーツをする機会がなかった理由

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が49.6%

(問7で「月に1～3回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に)
 問7 - 1 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(49.6%)が約5割で最も高く、次いで、「機会がなかったから」(22.4%)、「体力が衰えたから」(15.9%)、「費用がかかるから」(14.0%)、「運動やスポーツは好きでないから」(12.8%)などとなっている。

【過去調査との比較】

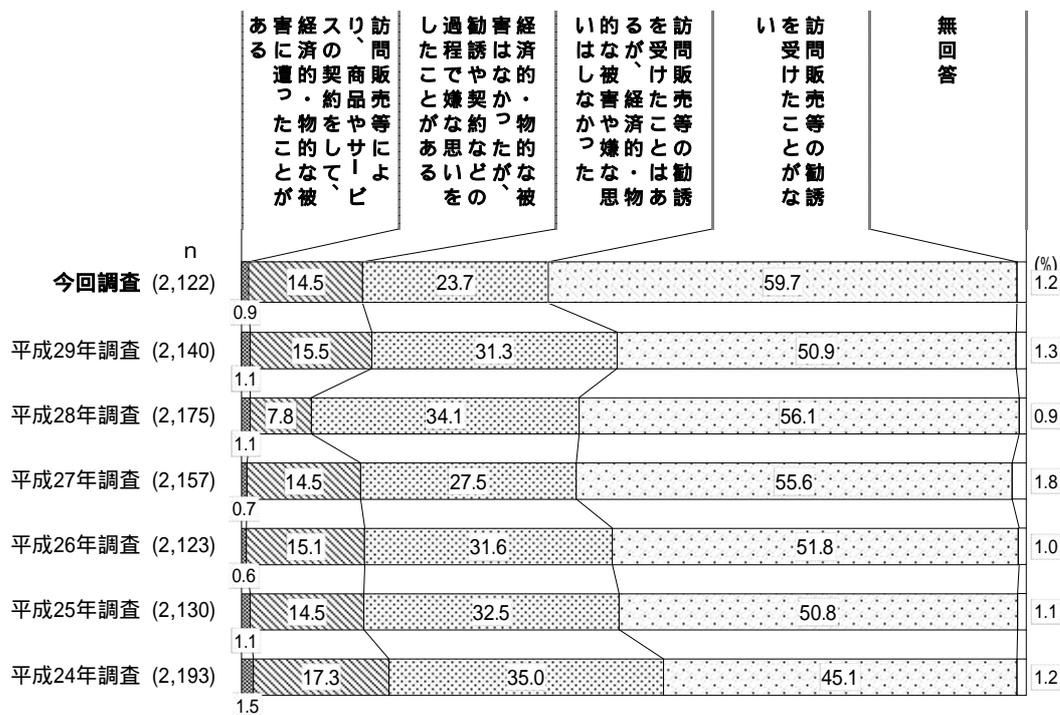
平成29年調査と比べて、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が1.3ポイント増加しているが、「身近に場所や施設がないから」が2.4ポイント減となるなど、その他項目も減少傾向にある。

(6 - 1) 訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が59.7%

問8 消費生活についておたずねいたします。

(1) あなたはここ1年以内に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。



訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」(59.7%) が約 6 割と最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」(23.7%) が 2 割強で最も高くなっている。また、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」(14.5%) は 1 割台半ばとなっており、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」(0.9%) は極めて低くなっている。

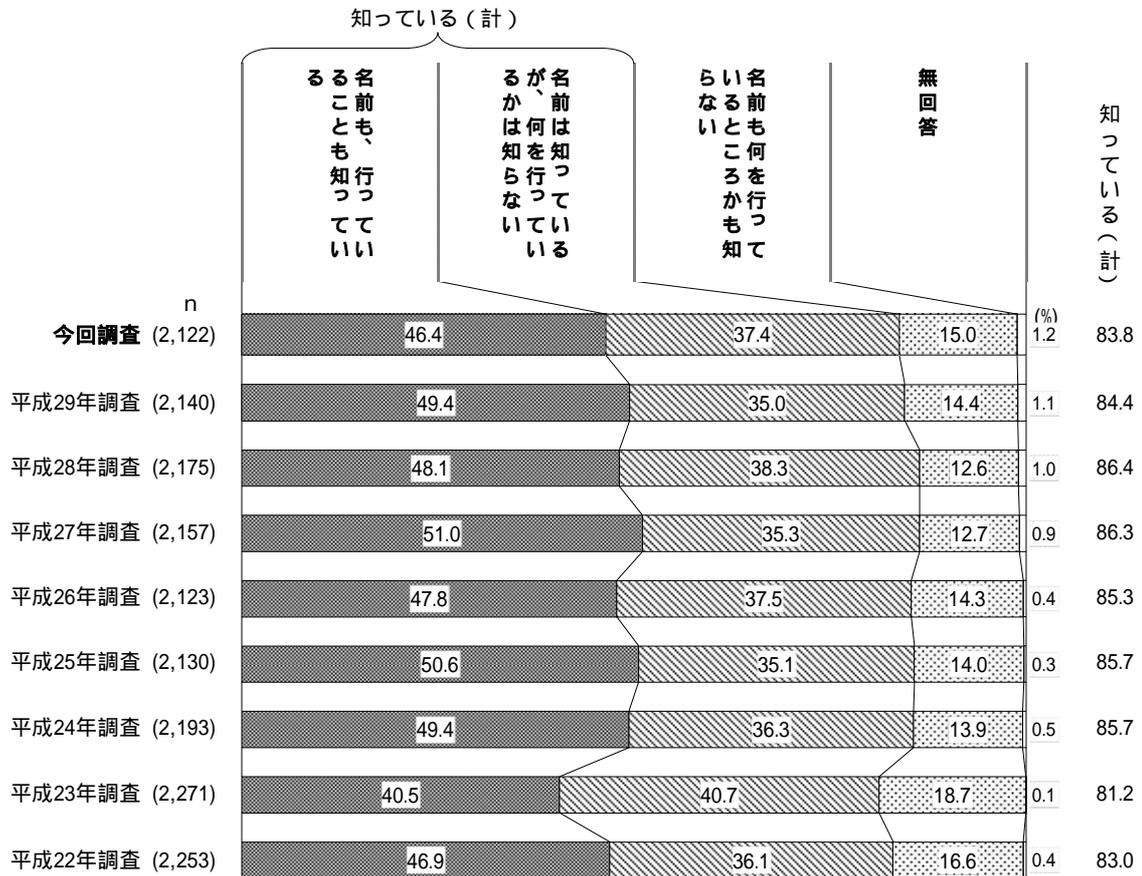
【過去調査との比較】

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は平成29年度調査と比べて、8.8ポイント増加している。「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は1.0ポイント減少している。

(6 - 2) 消費生活センターの認知度

『知っている(計)』が83.8%

問 8 (2) あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター(または消費生活相談窓口)を知っていますか。



消費生活センター(または消費生活相談窓口)の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」(46.4%)が4割台半ばを超え、これに「名前を知っているが、何を行っているかは知らない」(37.4%)を合わせた『知っている(計)』(83.8%)は8割強である。一方で、「名前も何を行っているところとも知らない」(15.0%)は1割台半ばとなっている。

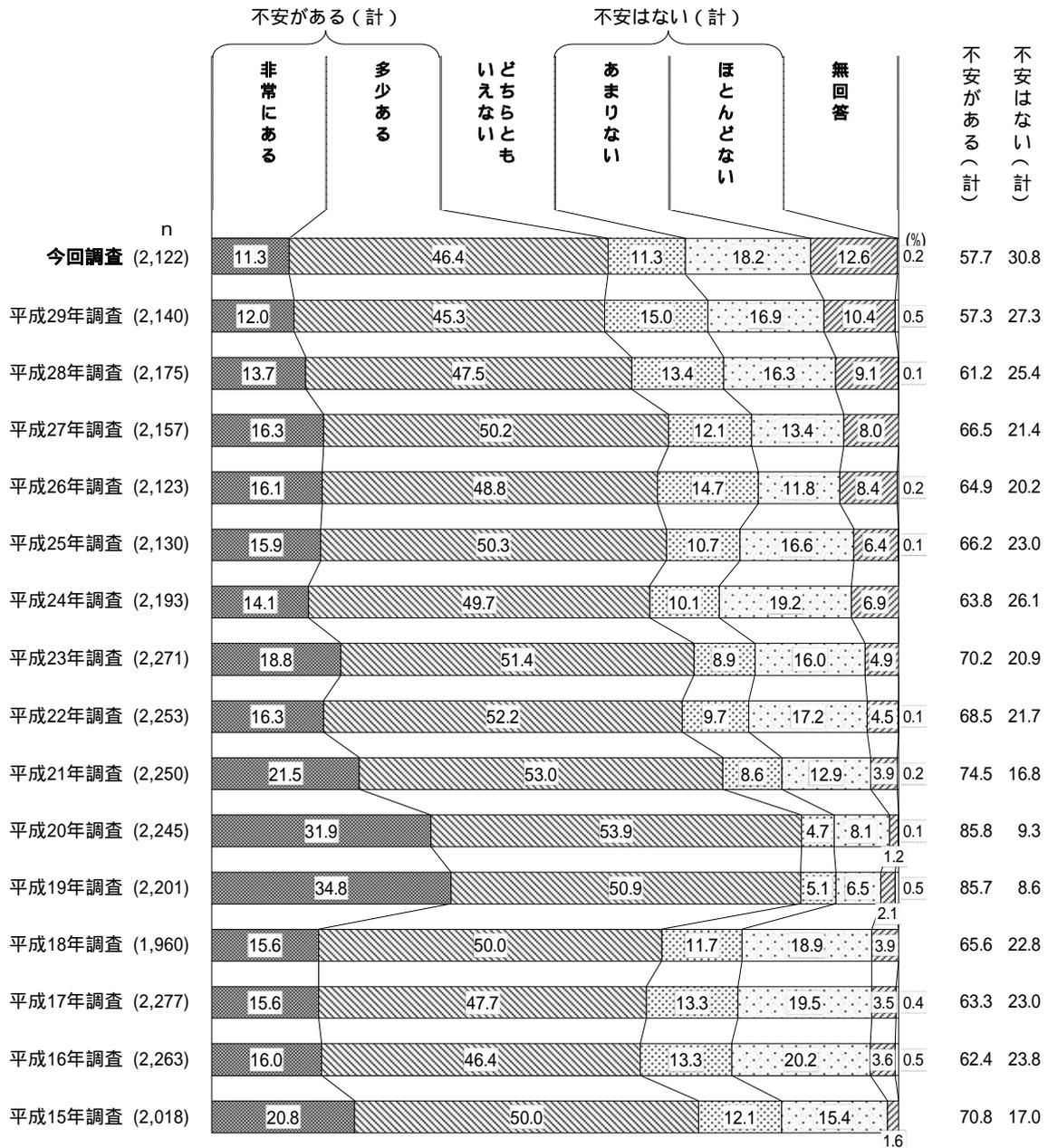
【過去調査との比較】

「名前を知っているが、何を行っているかは知らない」は平成29年調査から2.4ポイント増加したが、『知っている(計)』は0.6ポイント減少した。

(7) 食品の安全性に対する意識

『不安がある(計)』が57.7%

問9 食品の安全性についておたずねいたします。
あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」(46.4%)が4割台半ばを超えて最も高く、「非常にある」(11.3%)と合わせた『不安がある(計)』(57.7%)は5割台半ばを超えている。一方で、不安が「ほとんどない」(12.6%)と「あまりない」(18.2%)を合わせた『不安はない(計)』(30.8%)は3割を超えている。

【過去調査との比較】

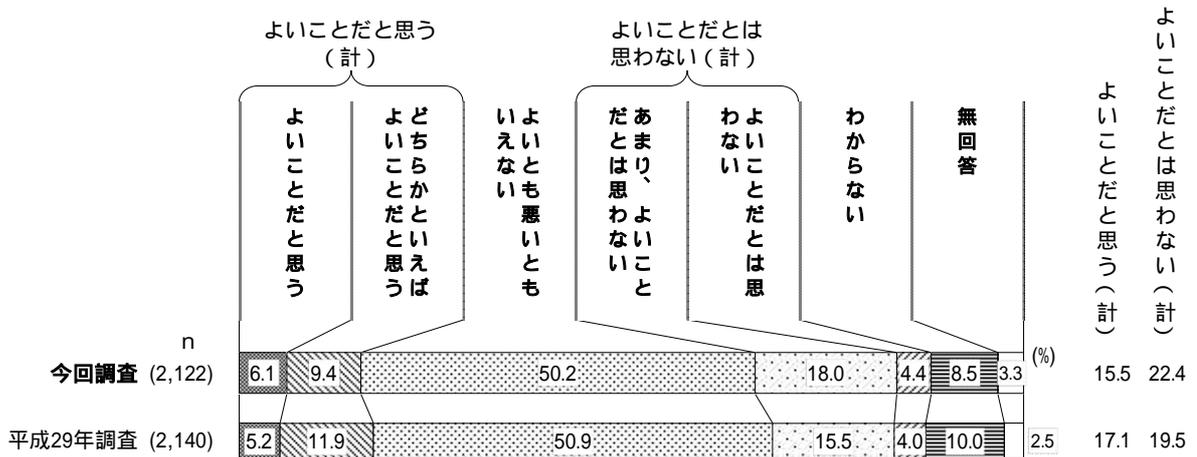
『不安がある(計)』の割合は、平成29年度調査と比べて横ばいとなっている。

(8) 外国人増加に対する感想

「よいとも悪いともいえない」が50.2%

問10 県内の外国人住民についておたずねいたします。

県内には、16万人を超える外国人が住んでおり、今後も増えていくことが予想されています。あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどのように思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「よいとも悪いともいえない」(50.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「あまり、よいことだとは思わない」(18.0%)が2割弱、「よいことだとは思わない」(4.4%)と合わせた『よいことだとは思わない(計)』(22.4%)は2割強となっている。一方で、「よいことだと思う」(6.1%)と「どちらかといえばよいことだと思う」(9.4%)を合わせた『よいことだと思う(計)』(15.5%)は1割台半ばとなっている。

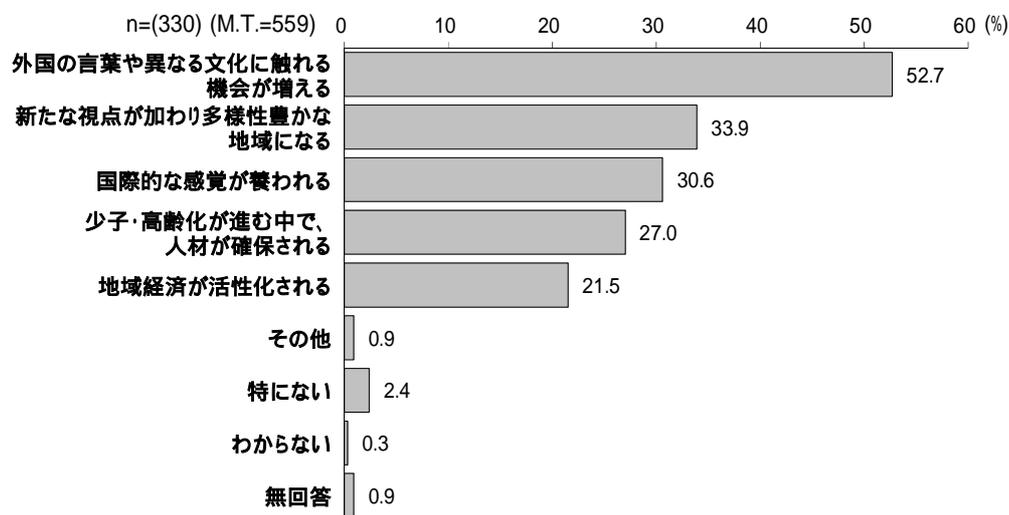
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、『よいことだと思う(計)』が1.6ポイント減少し、『よいことだとは思わない(計)』が2.9ポイント増加している。

(8 - 1) 外国人増加をよいことだと思う理由

「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増える」が52.7%

(問10で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に)
問10 - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



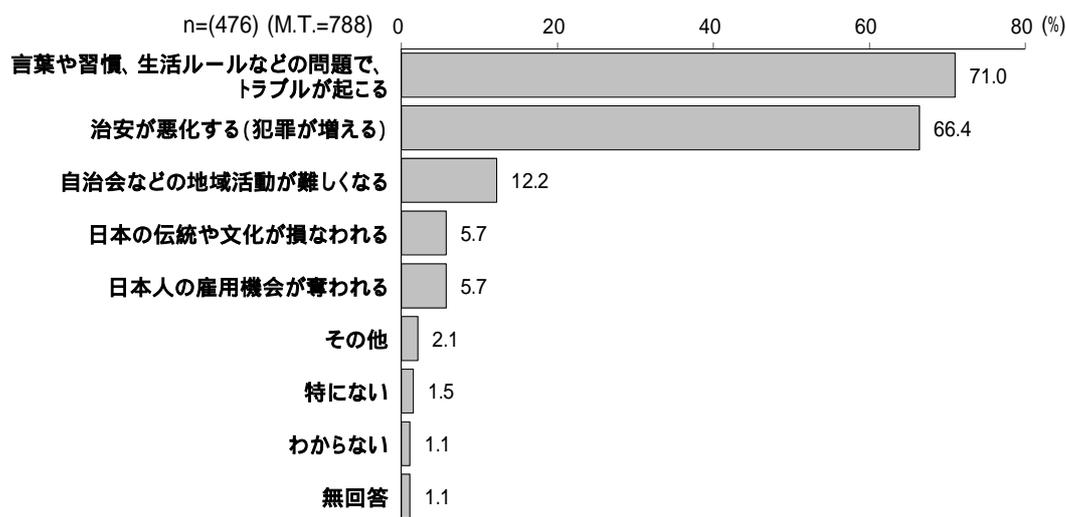
外国人増加をよいことだと思う理由は、「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増える」(52.7%)が5割強と最も高く、次いで、「新たな視点が加わり多様性豊かな地域になる」(33.9%)、「国際的な感覚が養われる」(30.6%)、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」(27.0%)、「地域経済が活性化される」(21.5%)などとなっている。

(8 - 2) 外国人増加をよいことだと思わない理由

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」71.0%と「治安が悪化する(犯罪が増える)」66.4%が突出

(問10で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に)

問10 - 2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



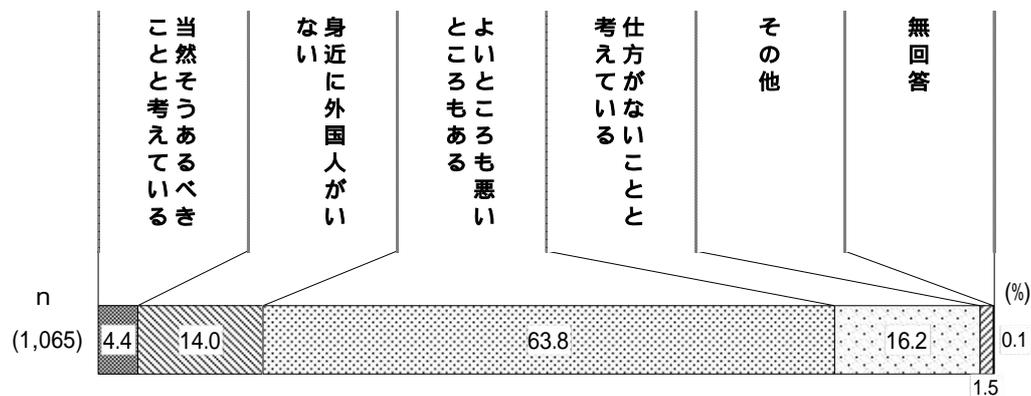
外国人増加をよいことだと思わない理由は、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」(71.0%)と「治安が悪化する(犯罪が増える)」(66.4%)が突出して高くなっている。次いで、「自治会などの地域活動が難しくなる」(12.2%)、「日本の伝統や文化が損なわれる」や「日本人の雇用機会が奪われる」(ともに5.7%)などとなっている。

(8 - 3) 外国人増加をよいとも悪いともいえない理由

「よいところも悪いところもある」が63.8%

(問10で「よいとも悪いともいえない」を答えた方に)

問10 - 3 その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

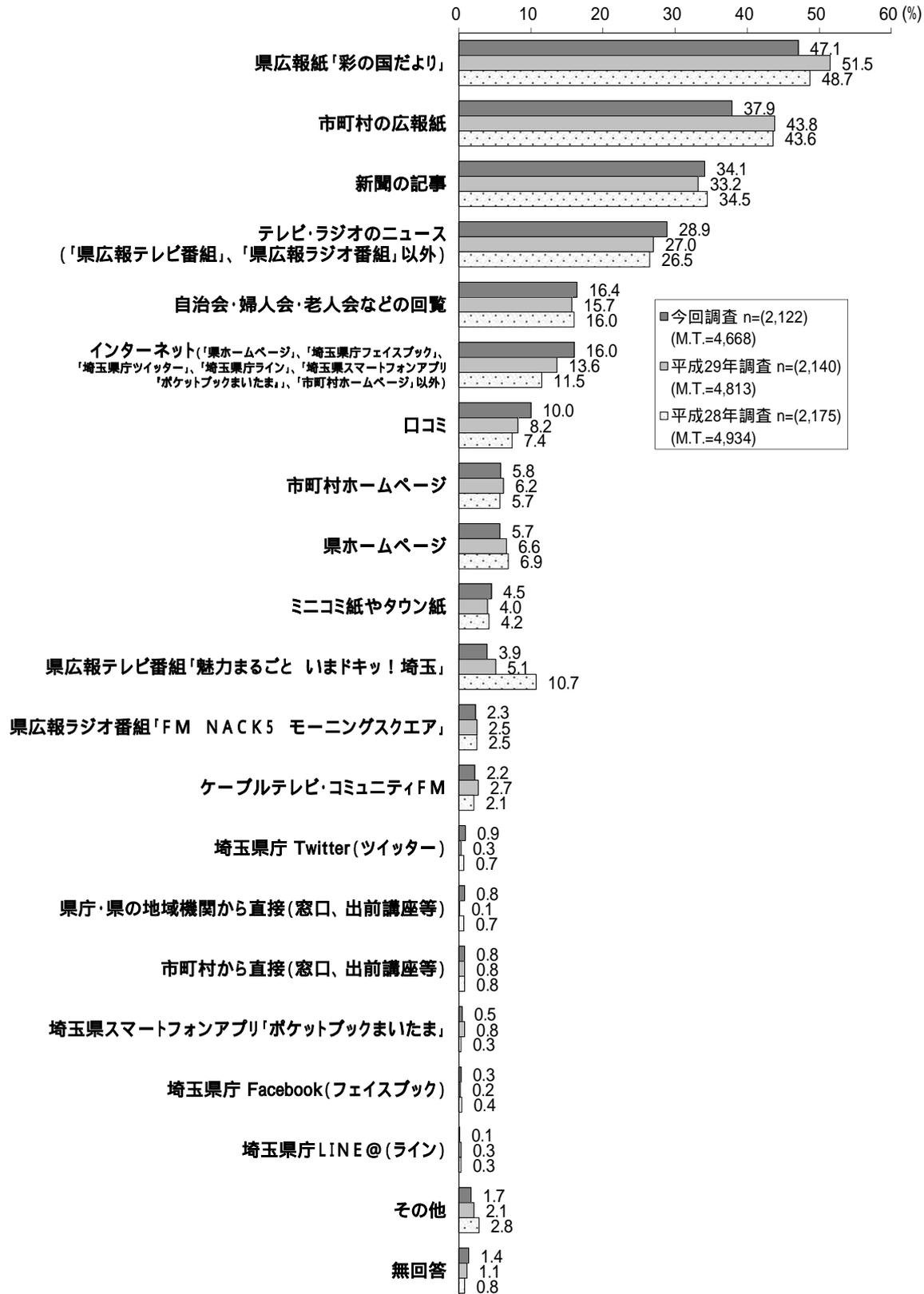


外国人増加をよいとも悪いともいえない理由は、「よいところも悪いところもある」(63.8%)が6割強と最も高く、「仕方がないことと考えている」(16.2%)が1割台半ばを超え、「身近に外国人がない」(14.0%)が1割台半ばとなっている。

(9) 埼玉県に関する情報の入手先

「県広報紙「彩の国だより」」が47.1%

問11 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。



平成28年調査から「埼玉県スマートフォンアプリ『ポケットブックまいたま』」を追加した。平成29年調査から番組名の変更に伴い、「県広報テレビ番組『テレ玉 彩の国ニュース ほっと』」を「県広報テレビ番組『魅力まるごと いまドキッ!埼玉』」へ変更した。

埼玉県に関する情報の入手先は、「県広報紙「彩の国だより」」(47.1%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで、「市町村の広報紙」(37.9%)が3割台半ばを超え、「新聞の記事」(34.1%)が3割台半ばとなっている。以下、「テレビ・ラジオのニュース」(28.9%)、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」(16.4%)、「インターネット」(16.0%)、「口コミ」(10.0%)などとなっている。

【過去調査との比較】

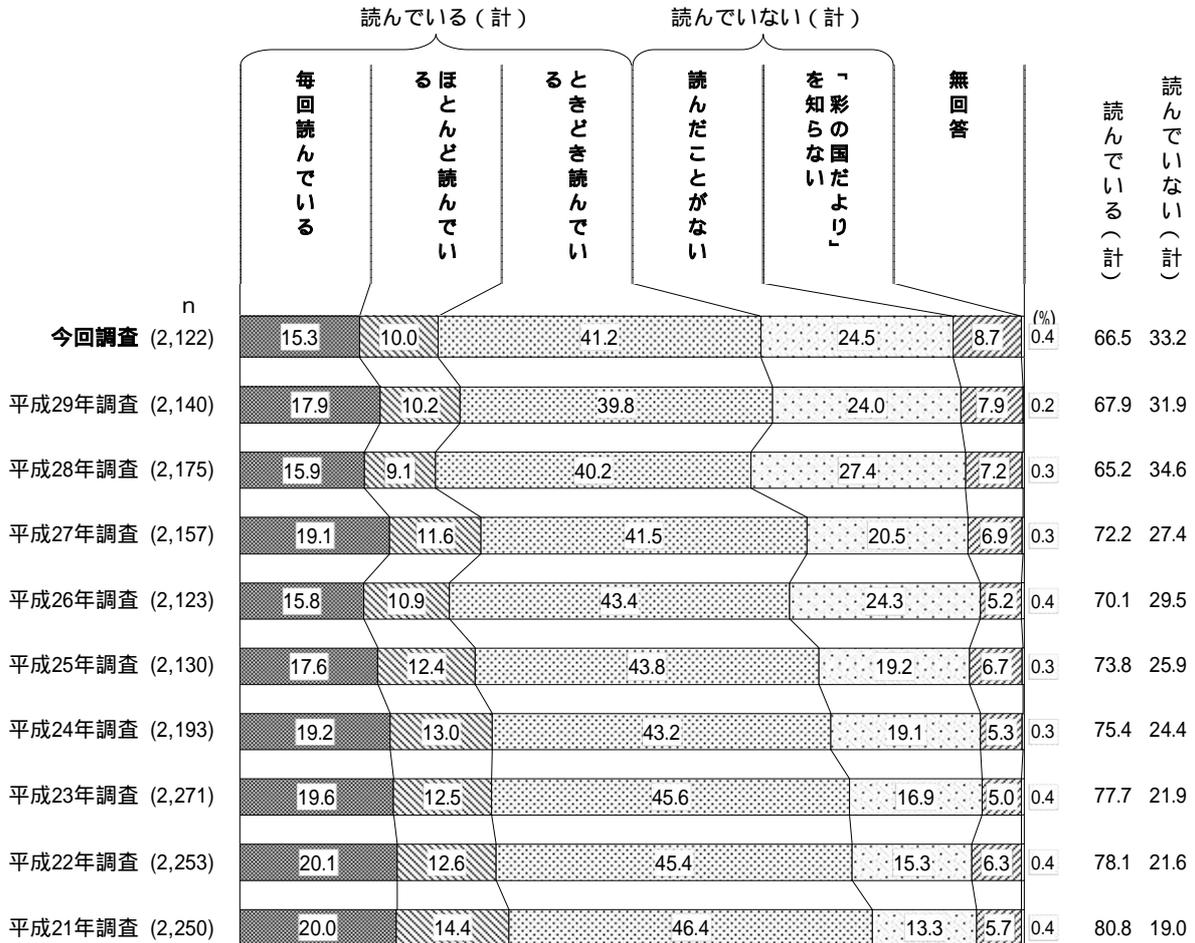
平成29年調査と比べて、「インターネット」は2.4ポイント増加している。一方で、「市町村の広報紙」は5.9ポイント減少、「県広報紙「彩の国だより」」は4.4ポイント減少している。

(10 - 1) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

『読んでいる(計)』が66.5%

問12 県の広報紙や広報テレビ番組についておたずねします。

(1) 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。



県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」(41.2%)が4割強と最も高く、これに「毎回読んでいる」(15.3%)と「ほとんど読んでいる」(10.0%)を合わせた『読んでいる(計)』(66.5%)は6割台半ばを超えている。一方で、「読んだことがない」(24.5%)と「彩の国だより」を知らない(8.7%)を合わせた『読んでいない(計)』(33.2%)は3割強となっている。

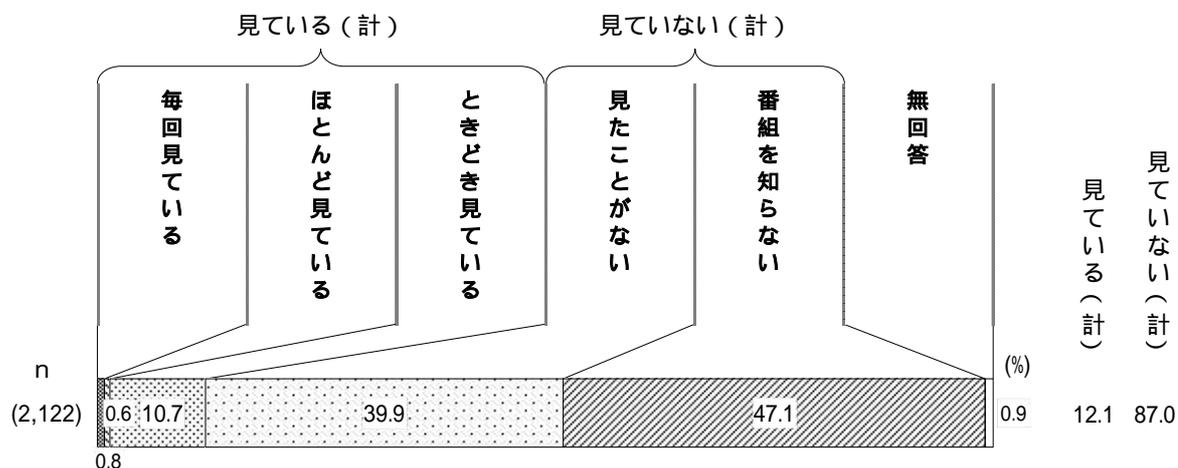
【過去調査との比較】

『読んでいる(計)』は、平成21年調査以降は徐々に減少傾向にあり、平成29年調査では2.7ポイント増加したが、今回調査では1.4ポイント減少している。

(10 - 2) 県広報テレビ番組「魅力まるごと いまドキッ! 埼玉」の視聴状況

『見ていない(計)』が87.0%

問12(2) 県広報テレビ番組「魅力まるごと いまドキッ! 埼玉(テレビ埼玉/土曜朝8時30分～)」を見たことがありますか。

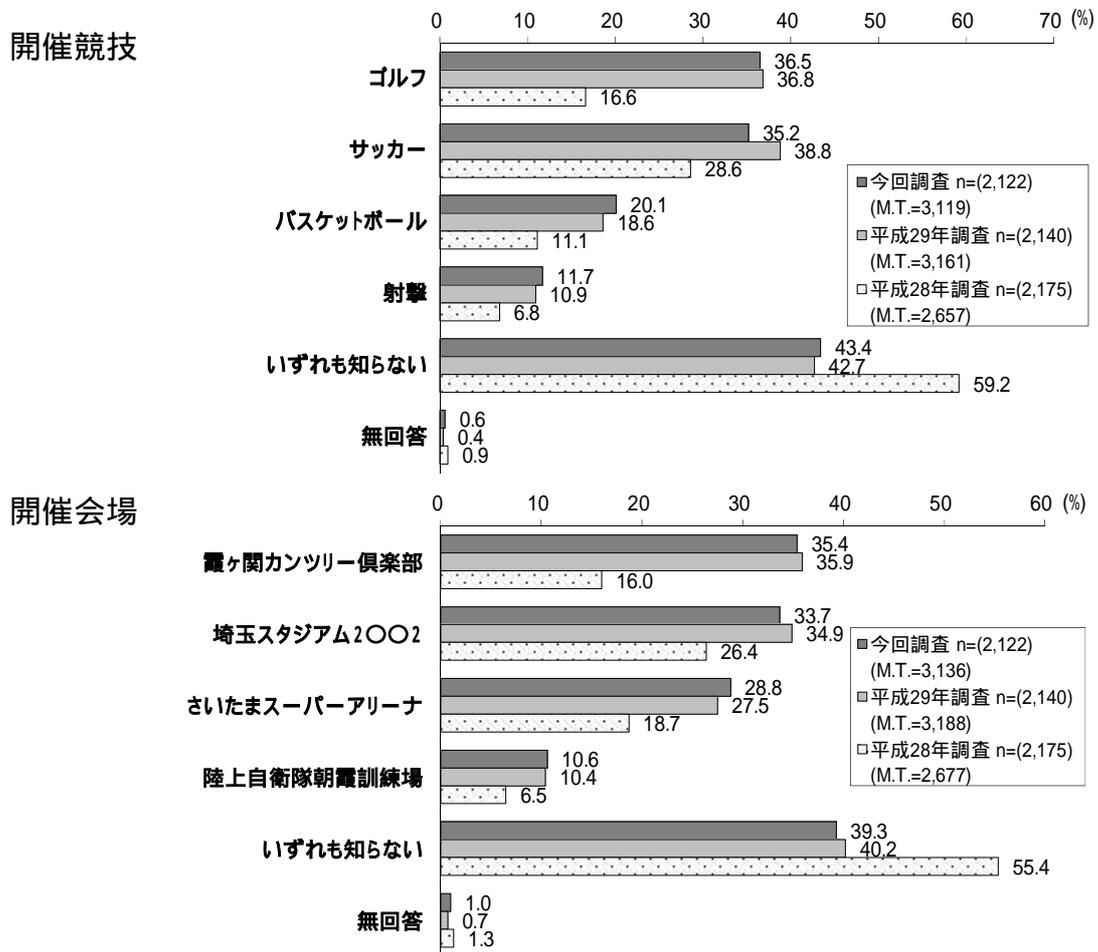


県広報テレビ番組「魅力まるごと いまドキッ! 埼玉」の視聴状況は、「番組を知らない」(47.1%)が4割台半ばを超えて最も高く、これに「見たことがない」(39.9%)を合わせた『見ていない(計)』(87.0%)は8割台半ばを超えている。一方で、「毎回見ている」(0.8%)と「ほとんど見ている」(0.6%)、「ときどき見ている」(10.7%)を合わせた『見ている(計)』(12.1%)は1割強となっている。

(11) 東京2020オリンピック・パラリンピック 埼玉県内の認知状況

開催競技は「ゴルフ」が36.5%、開催会場は「霞ヶ関カンツリー倶楽部」が35.4%

問13 「東京2020オリンピック・パラリンピック」において、埼玉県内で開催される競技と会場で、知っていたものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。



東京2020オリンピック・パラリンピックについて、埼玉県内の認知状況を聞いたところ、開催競技、開催会場ともに「いずれも知らない」が最も多く、競技（43.4%）で4割強、会場（39.3%）で約4割となっている。開催競技では、「ゴルフ」（36.5%）が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「サッカー」（35.2%）、「バスケットボール」（20.1%）、「射撃」（11.7%）となっている。開催会場では、「霞ヶ関カンツリー倶楽部」（35.4%）が最も高く、次いで、「埼玉スタジアム2002」（33.7%）、「さいたまスーパーアリーナ」（28.8%）、「陸上自衛隊朝霞訓練場」（10.6%）となっている。

【過去調査との比較】

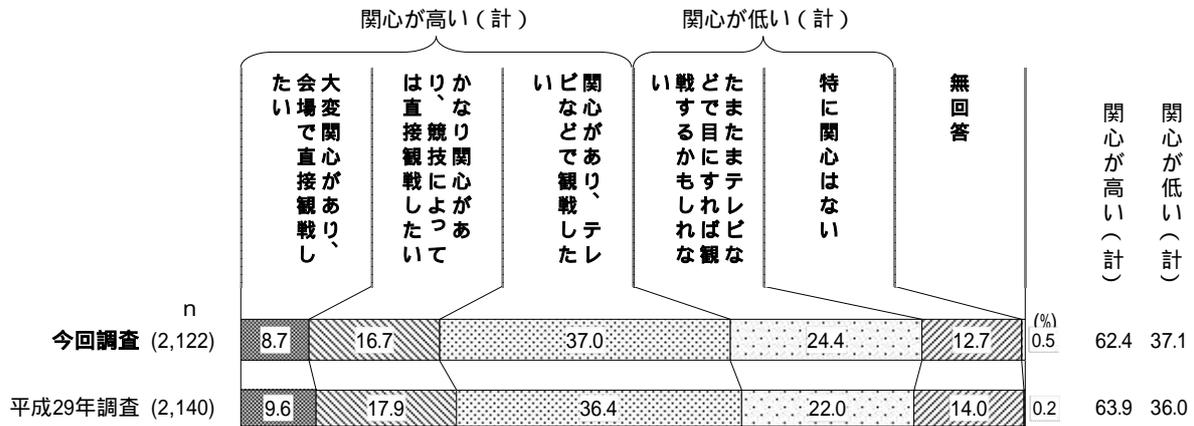
平成29年調査と比べて、競技は「バスケットボール」（1.5ポイント増）などで増加している。一方で、「サッカー」（3.6ポイント減）などが減少している。

会場は「さいたまスーパーアリーナ」（1.3ポイント増）などで増加している。一方で、「埼玉スタジアム2002」（1.2ポイント減）などが減少している。

(12) 東京2020オリンピック・パラリンピックへの関心度

『関心が高い(計)』が62.4%、『関心が低い(計)』が37.1%

問14 「東京2020オリンピック・パラリンピック」に対するあなたの関心は、次のうちどれですか。



東京2020オリンピック・パラリンピックへの関心度は、「関心があり、テレビなどで観戦したい」(37.0%)が3割台半ばを超えて最も高く、これに「かなり関心があり、競技によっては直接観戦したい」(16.7%)、「大変関心があり、会場で直接観戦したい」(8.7%)を合わせた『関心が高い(計)』(62.4%)は6割強となっている。一方で、「たまたまテレビなどで目にすれば観戦するかもしれない」(24.4%)と「特に関心はない」(12.7%)を合わせた『関心が低い(計)』(37.1%)は3割台後半となっている。

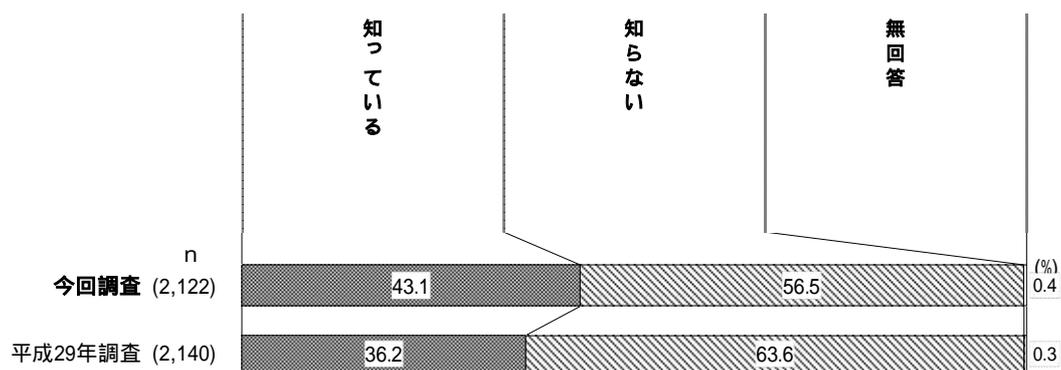
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、『関心が高い(計)』が1.5ポイント減少し、『関心が低い(計)』が1.1ポイント増加している。

(13) ラグビーワールドカップ2019熊谷開催の認知度

「知っている」が43.1%、「知らない」が56.5%

問15 埼玉県は、熊谷市とともに2019年9月20日～11月2日に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019の開催都市になっており、県営熊谷ラグビー場は全国12会場の一つになっています。あなたは、このことを知っていますか。



ラグビーワールドカップ2019熊谷開催への認知度は、「知っている」(43.1%)が4割強、「知らない」(56.5%)が5割台後半である。

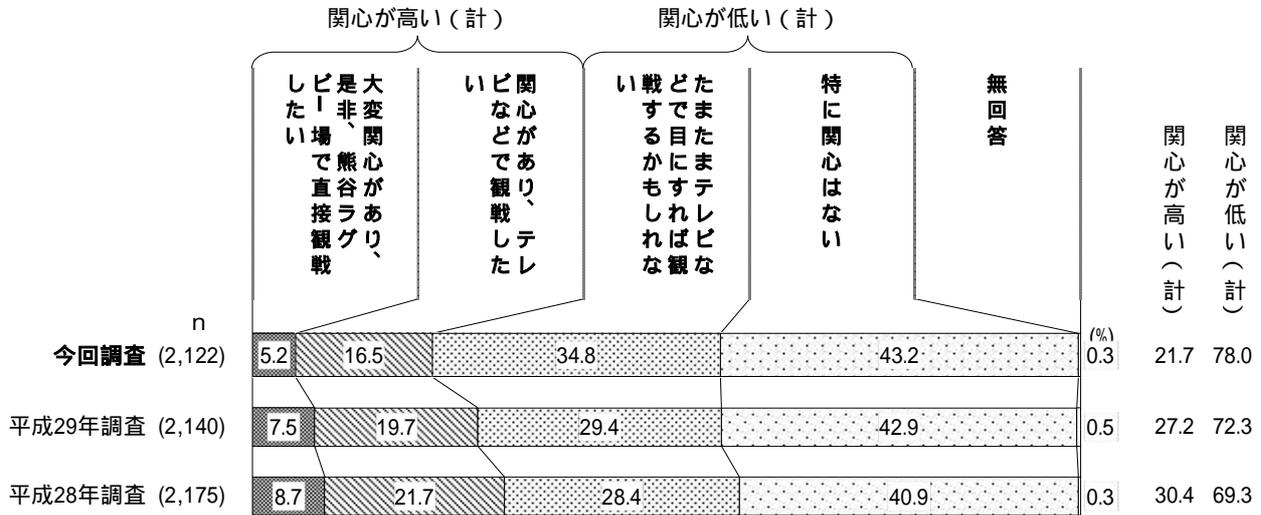
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、「知っている」が6.9ポイント増加し、「知らない」が7.1ポイント減少している。

(14) ラグビーワールドカップ2019への関心度

『関心が高い(計)』が21.7%、『関心が低い(計)』が78.0%

問16 「ラグビーワールドカップ2019」に対するあなたの関心は、次のうちどれですか。



平成29年調査までの選択肢「大変関心があり、是非、熊谷ラグビー場で直接観戦したい」は、「大変関心があり、是非、熊谷ラグビー場で直接観戦したい」と「かなり関心があり、ニュージーランドなど強豪国の試合が熊谷ラグビー場で行われるなら直接観戦したい」の合計である。

また、平成29年調査から「関心があるため、テレビなどで観戦したい」を「関心があり、テレビなどで観戦したい」へ変更した。

ラグビーワールドカップ2019への関心度は、「大変関心があり、是非、熊谷ラグビー場で直接観戦したい」(5.2%)、「関心があり、テレビなどで観戦したい」(16.5%)を合わせた『関心が高い(計)』(21.7%)は2割強となっている。「特に関心はない」(43.2%)は4割強と最も高くなっている。これに、「たまたまテレビなどで目にすれば観戦するかもしれない」(34.8%)を合わせた『関心が低い(計)』(78.0%)は8割弱となっている。

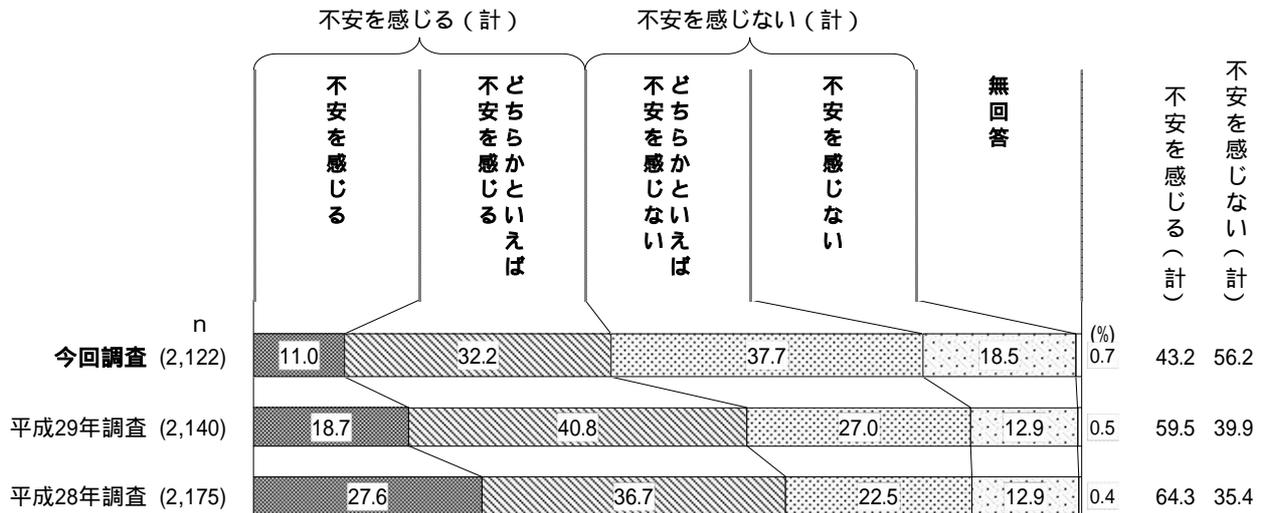
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、『関心が高い(計)』が5.5ポイント減少し、『関心が低い(計)』が5.7ポイント増加している。

(15) オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ開催に伴う県内でのテロ発生への不安

『不安を感じる(計)』が43.2%、『不安を感じない(計)』が56.2%

問17 「東京2020オリンピック・パラリンピック」や「ラグビーワールドカップ2019」の開催に伴う県内でのテロ発生に不安を感じますか。



オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ開催に伴う県内でのテロ発生への不安は、「どちらかといえば不安を感じる」(32.2%)が3割強となっており、これに「不安を感じる」(11.0%)を合わせた『不安を感じる(計)』(43.2%)は4割強となっている。一方で、「どちらかといえば不安を感じない」(37.7%)と「不安を感じない」(18.5%)を合わせた『不安を感じない(計)』(56.2%)は5割台半ばを超えている。

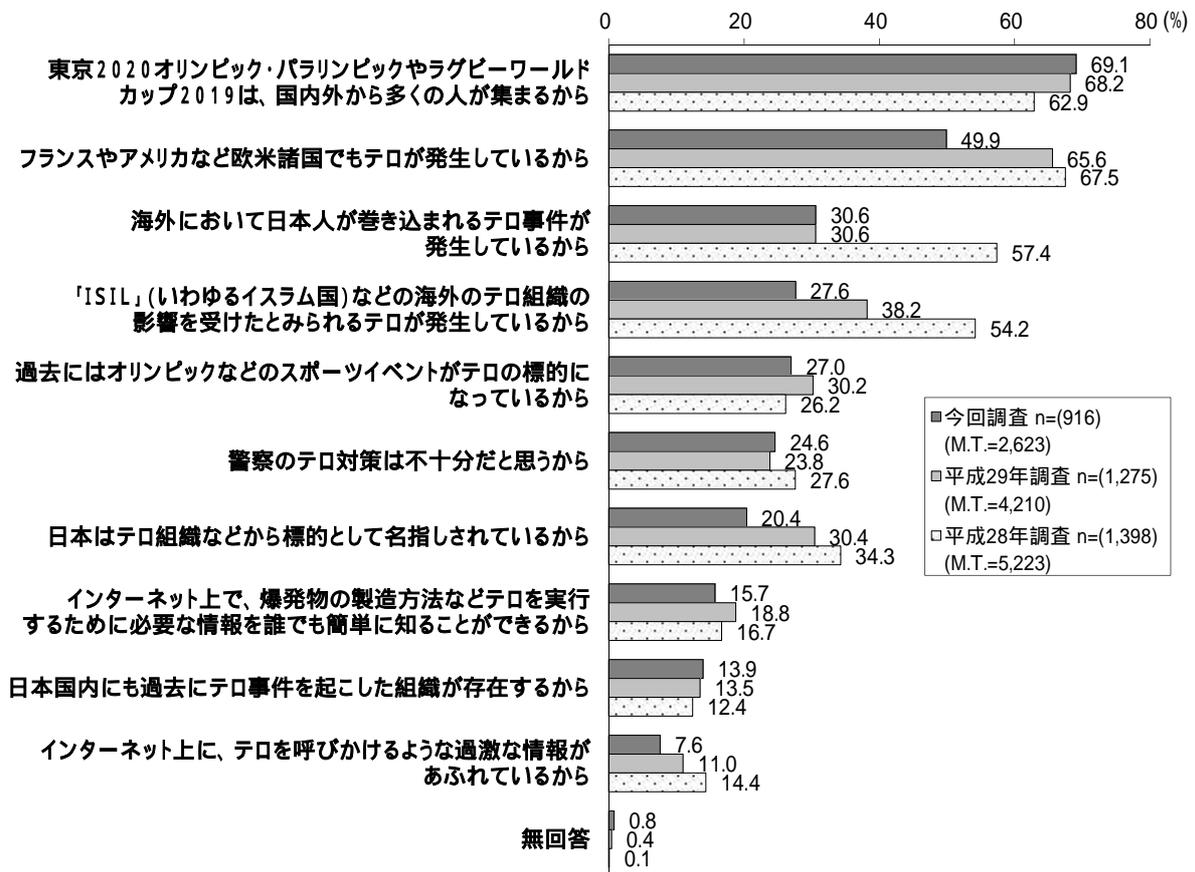
【過去調査との比較】

平成29年調査と比べて、『不安を感じない(計)』が16.3ポイント増加し、初めて『不安を感じる(計)』を上回った。

(15-1) 県内においてテロが発生することに不安を感じる理由

「東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019は、国内外から多くの人が集まるから」69.1%、「フランスやアメリカなど欧米諸国でもテロが発生しているから」49.9%

(問17で「不安を感じる」、「どちらかといえば不安を感じる」のいずれかを答えた方に)
 問17-1 県内においてテロが発生することに不安を感じる理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



県内においてテロが発生することに不安を感じる理由は、「東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019は、国内外から多くの人が集まるから」(69.1%)が最も高い。次いで、「フランスやアメリカなど欧米諸国でもテロが発生しているから」(49.9%)「海外において日本人が巻き込まれるテロ事件が発生しているから」(30.6%)などとなっている。

【過去調査との比較】

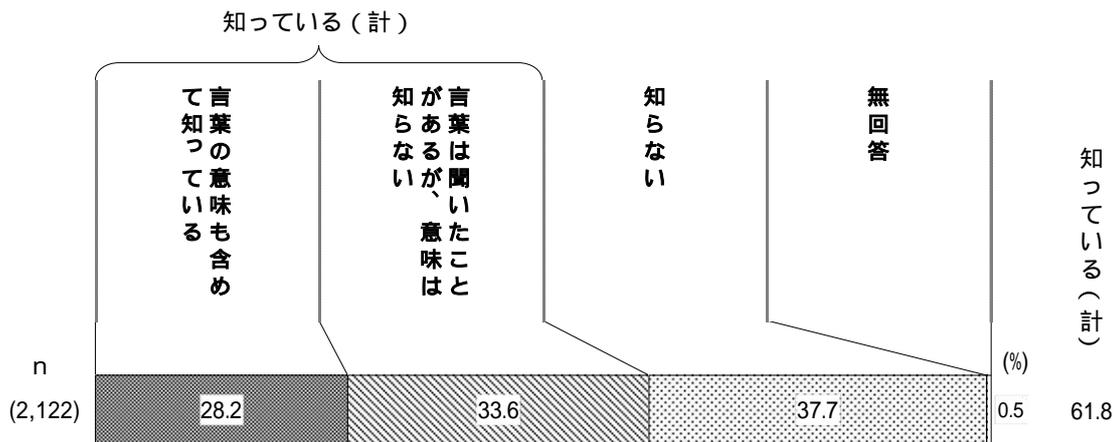
平成29年調査と比べて、「フランスやアメリカなど欧米諸国でもテロが発生しているから」(15.7ポイント減)、「『ISIL』(いわゆるイスラム国)などの海外のテロ組織の影響を受けたとみられるテロが発生しているから」(10.6ポイント減)「日本はテロ組織などから標的として名指しされているから」(10.0ポイント減)などが減少している。

(16 - 1) 生物多様性の認知度

『知っている(計)』が61.8%

問18 現在、「生物多様性」の保全という、地球上のさまざまな生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の「外来生物」により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

(1) あなたは「生物多様性」という言葉を知っていますか。

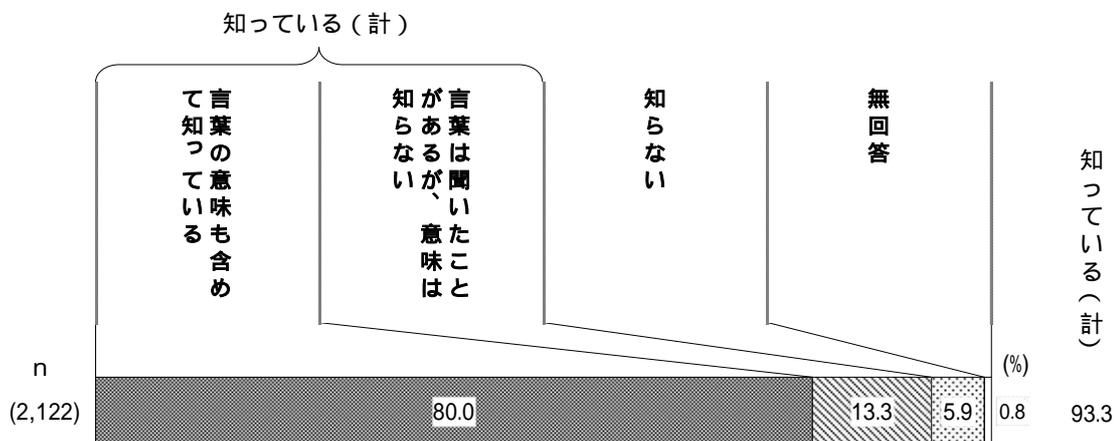


「生物多様性」という言葉の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」(28.2%)が3割弱、これに「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(33.6%)を合わせた『知っている(計)』(61.8%)は6割強である。一方で、「知らない」(37.7%)は3割台半ばを超えている。

(16 - 2) 外来生物の認知度

『知っている(計)』が93.3%

問18(2) あなたは「外来生物」という言葉を知っていますか。



「外来生物」という言葉の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」(80.0%)が8割と最も高くなっている。これに「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(13.3%)を合わせた『知っている(計)』(93.3%)は9割強となっている。一方で、「知らない」(5.9%)は1割未満となっている。

3 県政への要望

「災害から県民をまもる」(25.1%)が1位

問19 埼玉県政への要望についておたずねいたします。

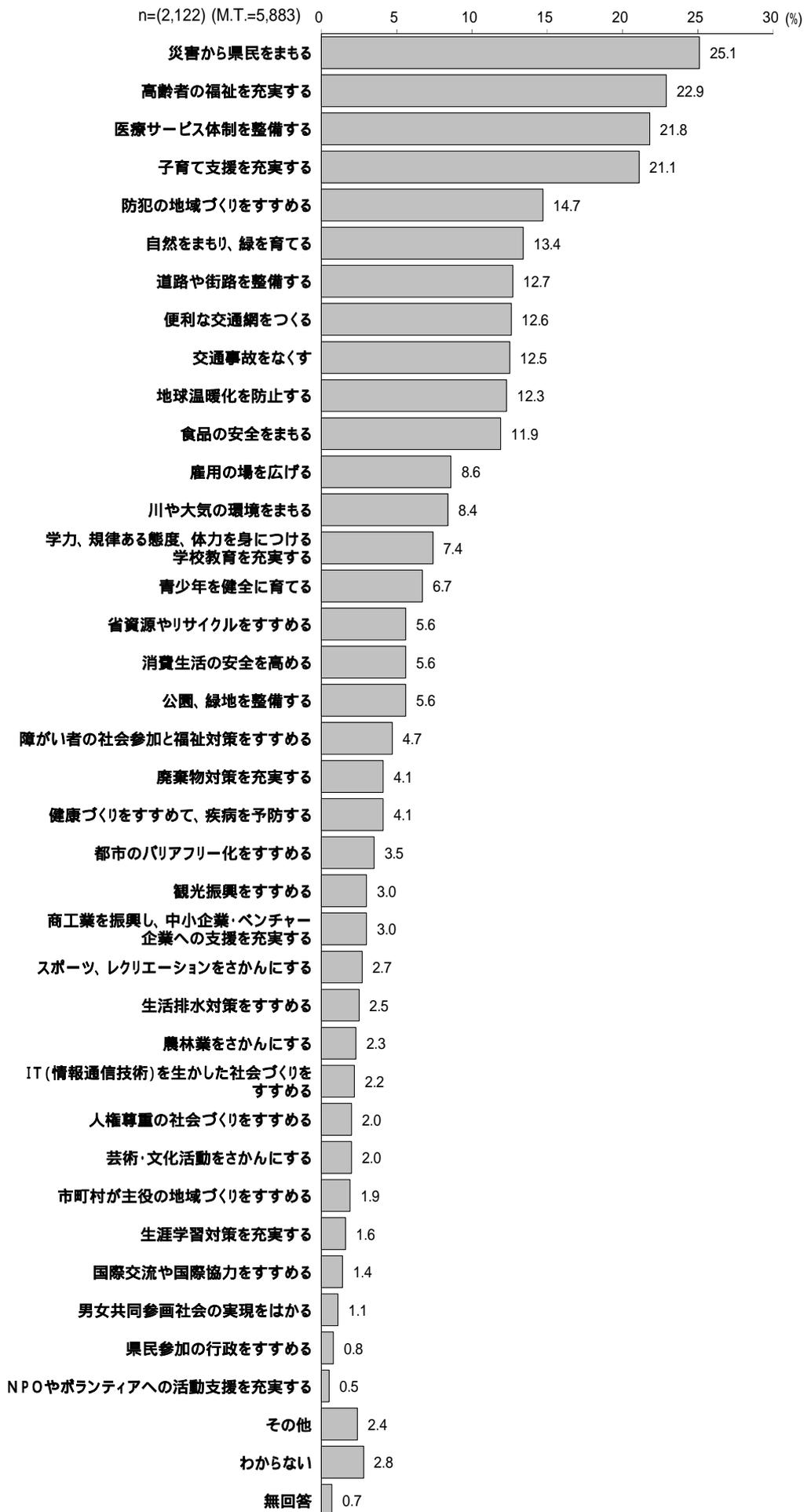
県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

	今 回	前回（平成29年調査）	増減差
1位 災害から県民をまもる	25.1%	17.6% (4位)	7.5
2位 高齢者の福祉を充実する	22.9	26.0 (1位)	3.1
3位 医療サービス体制を整備する	21.8	22.9 (2位)	1.1
4位 子育て支援を充実する	21.1	22.5 (3位)	1.4
5位 防犯の地域づくりをすすめる	14.7	14.7 (5位)	0.0
6位 自然をまもり、緑を育てる	13.4	12.6 (8位)	0.8
7位 道路や街路を整備する	12.7	12.8 (7位)	0.1
8位 便利な交通網をつくる	12.6	12.0 (9位)	0.6
9位 交通事故をなくす	12.5	13.6 (6位)	1.1
10位 地球温暖化を防止する	12.3	10.7 (12位)	1.6

【過去調査との比較】

今回の上位10位と前回の平成29年調査を比べると、前回4位の「災害から県民をまもる」が大きく順位を上げて1位となった。2位の「高齢者の福祉を充実する」、3位の「医療サービス体制を整備する」、4位の「子育て支援を充実する」はそれぞれ順位を1つずつ下げている。5位の「防犯の地域づくりをすすめる」と7位の「道路や街路を整備する」は順位の変化がない。前回8位の「自然をまもり、緑を育てる」は2つ順位を上げて6位となっている。また、前回9位の「便利な交通網をつくる」も順位を上げて8位、前回12位の「地球温暖化を防止する」も順位を上げて10位となっている。一方、前回6位の「交通事故をなくす」は順位を下げて9位となっている。

前回調査との増減をみると、「災害から県民をまもる」(7.5ポイント増)、「地球温暖化を防止する」(1.6ポイント増)などが増加している。一方で、「高齢者の福祉を充実する」(3.1ポイント減)、「子育て支援を充実する」(1.4ポイント減)などは減少している。



【平成26年以降の上位10位の推移】

過去5年間の上位10位の推移をみると、今回1位の「災害から県民をまもる」(5位 5位 5位 4位 1位)は平成26年から5位を維持していたが、前回順位を4位に上げ、今回さらに順位を大きく上げた。2位の「高齢者の福祉を充実する」(1位 1位 2位 1位 2位)、3位の「医療サービス体制を整備する」(2位 2位 1位 2位 3位)、4位の「子育て支援を充実する」(3位 3位 3位 3位 4位)は上位で固定されていたが、今回順位をそれぞれ1つ下げた。5位の「防犯の地域づくりをすすめる」(4位 4位 4位 5位 5位)は前回と今回ともに5位を維持している。6位の「自然をまもり、緑を育てる」(9位 9位 6位 8位 6位)は前回順位を8位に下げたが、今回順位を2つ上げた。7位の「道路や街路を整備する」(11位 7位 8位 7位 7位)は前回と今回ともに7位を維持している。8位の「便利な交通網をつくる」(10位 10位 10位 9位 8位)は前回順位を9位に上げたが、今回も順位を1つ上げている。9位の「交通事故をなくす」(7位 11位 11位 6位 9位)は前回6位に順位を上げたが、今回順位を3つ下げた。

順位	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	医療サービス体制を整備する 26.9%	高齢者の福祉を充実する 26.0%	災害から県民をまもる 25.1%
2	医療サービス体制を整備する 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	医療サービス体制を整備する 22.9%	高齢者の福祉を充実する 22.9%
3	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 23.4%	子育て支援を充実する 23.0%	子育て支援を充実する 22.5%	医療サービス体制を整備する 21.8%
4	防犯の地域づくりをすすめる 16.7%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	災害から県民をまもる 17.6%	子育て支援を充実する 21.1%
5	災害から県民をまもる 16.5%	災害から県民をまもる 14.6%	災害から県民をまもる 16.1%	防犯の地域づくりをすすめる 14.7%	防犯の地域づくりをすすめる 14.7%
6	雇用の場を広げる 15.3%	食品の安全をまもる 13.4%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%
7	交通事故をなくす 14.2%	道路や街路を整備する 13.0%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.8%	道路や街路を整備する 12.7%
8	食品の安全をまもる 13.8%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.6%
9	自然をまもり、緑を育てる 13.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.4%	食品の安全をまもる 11.9%	便利な交通網をつくる 12.0%	交通事故をなくす 12.5%
10	便利な交通網をつくる 11.7%	便利な交通網をつくる 12.0%	便利な交通網をつくる 11.7%	食品の安全をまもる 11.4%	地球温暖化を防止する 12.3%

【上位4位の10年間の推移】

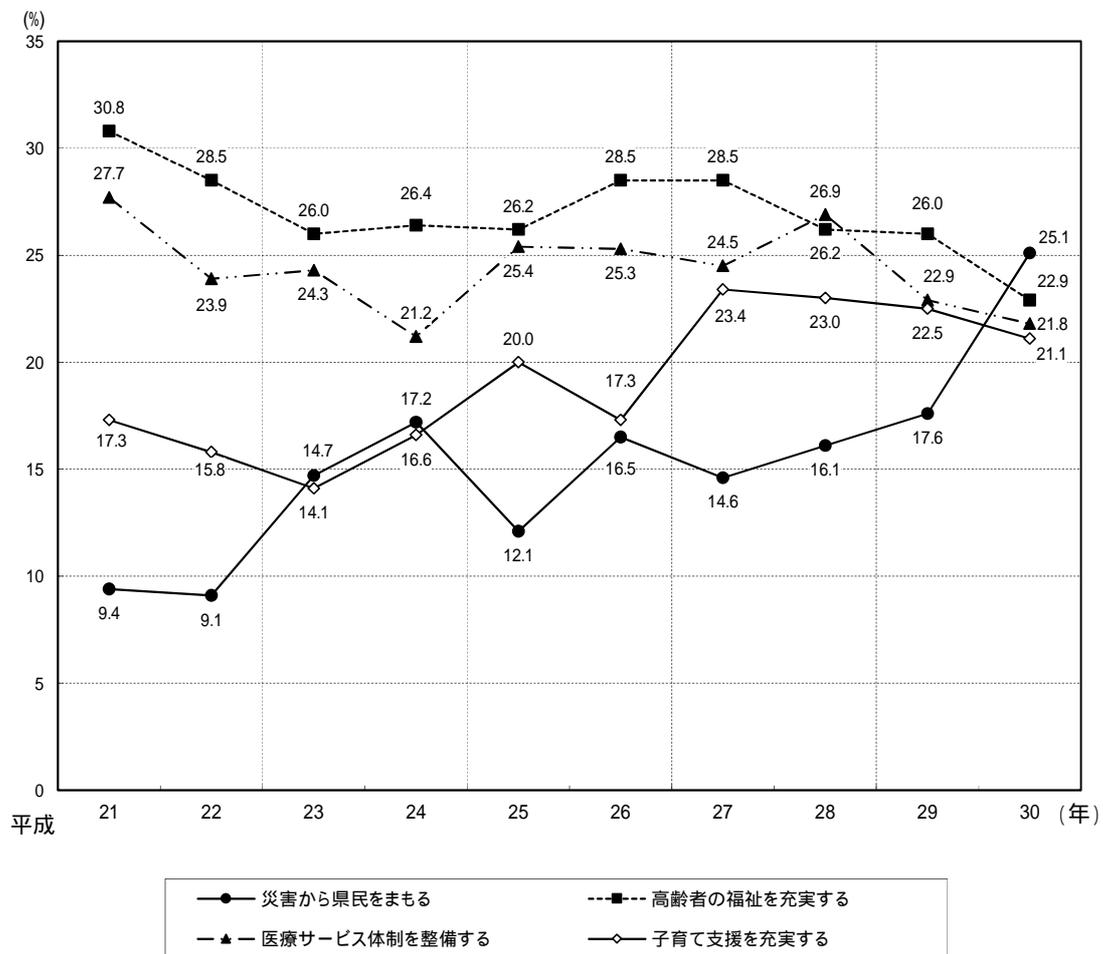
今回調査で上位となった「災害から県民をまもる」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「子育て支援を充実する」の4項目について、平成21年以降の直近10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「災害から県民をまもる」は平成22年に直近10年間での最低値を記録した以降、おおむね14～17%程度の間で推移し、今回は2割台半ばの最高値を記録した。

2位の「高齢者の福祉を充実する」は平成21年に直近10年間での最高値を記録した以降、おおむね26～28%程度の間で推移し、今回は2割強の最低値を記録した。

3位の「医療サービス体制を整備する」は平成21年に直近10年間での最高値を記録し、平成28年にも最高値に次ぐ2番目の値を記録したものの、前回と今回ともに減少している。

4位の「子育て支援を充実する」は、平成23年に直近10年間での最低値を記録した以降は増加傾向に転じ、平成27年に最高値を記録して、今回も2割強を維持している。



県政への要望10年間の推移(平成21年～平成30年)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
1	高齢者の福祉を充実する 30.8%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 26.0%	高齢者の福祉を充実する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 26.2%
2	医療サービス体制を整備する 27.7%	医療サービス体制を整備する 23.9%	医療サービス体制を整備する 24.3%	医療サービス体制を整備する 21.2%	医療サービス体制を整備する 25.4%
3	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 22.3%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	子育て支援を充実する 20.0%
4	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	防犯の地域づくりをすすめる 17.6%	防犯の地域づくりをすすめる 16.9%
5	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する/ 雇用の場を広げる 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 14.8%	雇用の場を広げる 17.3%	雇用の場を広げる 15.7%
6	食品の安全をまもる 16.8%	雇用の場を広げる 14.1%	災害から県民をまもる/ 雇用の場を広げる 14.7%	災害から県民をまもる 17.2%	食品の安全をまもる 15.2%
7	地球温暖化を防止する 16.0%	地球温暖化を防止する 12.9%	子育て支援を充実する 14.1%	子育て支援を充実する 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%
8	雇用の場を広げる 12.7%	食品の安全をまもる 10.9%	交通事故をなくす 10.7%	食品の安全をまもる 14.2%	災害から県民をまもる 12.1%
9	川や大気的环境をまもる 9.6%	交通事故をなくす 10.1%	交通事故をなくす 10.4%	交通事故をなくす 13.2%	交通事故をなくす 11.6%
10	災害から県民をまもる 9.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.5%	道路や街路を整備する 10.0%	地球温暖化を防止する 9.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%
11	省資源やリサイクルをすすめる 8.7%	道路や街路を整備する 9.5%	地球温暖化を防止する 10.0%	道路や街路を整備する 8.4%	道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 9.2%
12	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.2%	便利な交通網をつくる 9.0%	便利な交通網をつくる 8.2%	便利な交通網をつくる 9.2%
13	消費生活の安全を高める 8.2%	災害から県民をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる/ 川や大気的环境をまもる 8.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.0%	川や大気的环境をまもる 8.6%
14	便利な交通網をつくる 7.9%	公園、緑地を整備する 8.4%	川や大気的环境をまもる 8.6%	省資源やリサイクルをすすめる/ 青少年を健全に育てる 7.8%	地球温暖化を防止する 7.9%
15	交通事故をなくす 7.7%	青少年を健全に育てる 8.3%	消費生活の安全を高める 7.6%	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 6.3%
16	道路や街路を整備する 6.8%	廃棄物対策を充実する 8.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 7.4%	川や大気的环境をまもる 6.5%	省資源やリサイクルをすすめる 5.9%
17	青少年を健全に育てる 6.2%	川や大気的环境をまもる 7.4%	公園、緑地を整備する 7.3%	消費生活の安全を高める 6.0%	公園、緑地を整備する 5.8%
18	公園、緑地を整備する 5.9%	便利な交通網をつくる 6.4%	青少年を健全に育てる 5.7%	公園、緑地を整備する 5.3%	消費生活の安全を高める 5.1%
19	廃棄物対策を充実する 5.0%	消費生活の安全を高める 6.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.9%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.7%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.8%
20	農林業をさかんにする 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.2%	廃棄物対策を充実する 3.7%	廃棄物対策を充実する 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%
21	都市のバリアフリー化をすすめる 3.8%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.3%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 3.5%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.1%	廃棄物対策を充実する/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%
22	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.6%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.6%	生活排水対策をすすめる 3.2%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.8%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 都市のバリアフリー化をすすめる/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%
23	健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.3%	生活排水対策をすすめる 3.3%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.1%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 人権尊重の社会づくりをすすめる/ 農林業をさかんにする 2.7%	都市のバリアフリー化をすすめる/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%
24	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	生活排水対策をすすめる 3.3%	都市のバリアフリー化をすすめる/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 生活排水対策をすすめる/ 農林業をさかんにする 2.5%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.3%
25	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.7%	農林業をさかんにする 3.1%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	生活排水対策をすすめる/ 生活排水対策をすすめる/ 農林業をさかんにする 2.2%	農林業をさかんにする 2.1%
26	生活排水対策をすすめる 2.5%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%	生活排水対策をすすめる/ 生活排水対策をすすめる/ 農林業をさかんにする 2.2%	農林業をさかんにする 2.1%
27	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.2%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.1%
28	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.2%	観光振興をすすめる 1.9%
29	県民参加の行政をすすめる 1.7%	生涯学習対策を充実する/ 観光振興をすすめる 1.5%	農林業をさかんにする 1.8%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.0%	生活排水対策をすすめる/ 生涯学習対策を充実する/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%
30	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 1.6%	観光振興をすすめる 1.5%	観光振興をすすめる 1.5%	観光振興をすすめる 2.1%	生涯学習対策を充実する/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%
31	生涯学習対策を充実する/ 男女共同参画社会の実現をはかる 1.3%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.4%	県民参加の行政をすすめる 1.2%	県民参加の行政をすすめる 2.0%	生涯学習対策を充実する/ 県民参加の行政をすすめる 1.4%
32	観光振興をすすめる 1.0%	県民参加の行政をすすめる 1.3%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.1%	生涯学習対策を充実する 1.8%	県民参加の行政をすすめる 1.4%
33	NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める/ 1.2%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる/ 生涯学習対策を充実する/ 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.1%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.3%
34	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める/ 男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 1.0%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%
35	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.7%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.5%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	男女共同参画社会の実現をはかる/ NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%

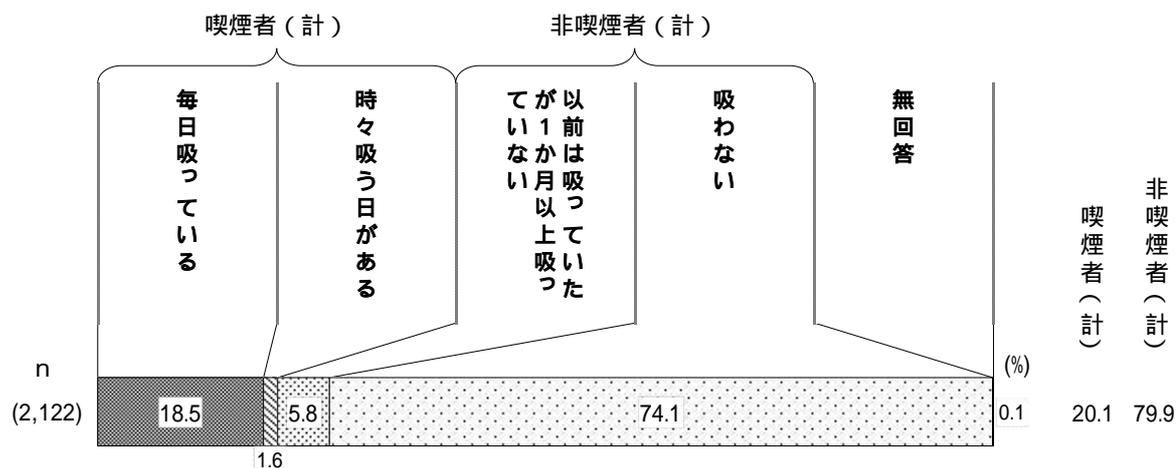
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	医療サービス体制を整備する 26.9%	高齢者の福祉を充実する 26.0%	災害から県民をまもる 25.1%
2	医療サービス体制を整備する 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	医療サービス体制を整備する 22.9%	高齢者の福祉を充実する 22.9%
3	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 23.4%	子育て支援を充実する 23.0%	子育て支援を充実する 22.5%	医療サービス体制を整備する 21.8%
4	防犯の地域づくりをすすめる 16.7%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	災害から県民をまもる 17.6%	子育て支援を充実する 21.1%
5	災害から県民をまもる 16.5%	災害から県民をまもる 14.6%	災害から県民をまもる 16.1%	防犯の地域づくりをすすめる 14.7%	防犯の地域づくりをすすめる 14.7%
6	雇用の場を広げる 15.3%	食品の安全をまもる 13.4%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 13.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%
7	交通事故をなくす 14.2%	道路や街路を整備する 13.0%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.8%	道路や街路を整備する 12.7%
8	食品の安全をまもる 13.8%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.6%
9	自然をまもり、緑を育てる 13.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.4%	食品の安全をまもる 11.9%	便利な交通網をつくる 12.0%	交通事故をなくす 12.5%
10	便利な交通網をつくる 11.7%	便利な交通網をつくる 12.0%	便利な交通網をつくる 11.7%	食品の安全をまもる 11.4%	地球温暖化を防止する 12.3%
11	道路や街路を整備する 11.1%	交通事故をなくす 10.5%	交通事故をなくす 9.9%	雇用の場を広げる 10.8%	食品の安全をまもる 11.9%
12	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.8%	地球温暖化を防止する 10.7%	雇用の場を広げる 8.6%
13	川や大気環境をまもる 8.7%	青少年を健全に育てる 7.9%	地球温暖化を防止する 8.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.2%	川や大気環境をまもる 8.4%
14	地球温暖化を防止する 8.4%	川や大気環境をまもる 6.6%	川や大気環境をまもる 8.0%	川や大気環境をまもる 8.0%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 7.4%
15	青少年を健全に育てる 7.3%	地球温暖化を防止する 6.4%	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 6.8%	青少年を健全に育てる 6.7%
16	省資源やリサイクルをすすめる 6.6%	公園、緑地を整備する 6.4%	公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.8%	省資源やリサイクルをすすめる/ 消費生活の安全を高める/ 公園、緑地を整備する
17	消費生活の安全を高める 6.5%	消費生活の安全を高める 6.3%	省資源やリサイクルをすすめる 5.2%	障がい者の社会参加と福祉対策をすすめる 5.5%	消費生活の安全を高める/ 公園、緑地を整備する
18	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 5.9%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.2%	消費生活の安全を高める 5.6%	公園、緑地を整備する 5.6%
19	公園、緑地を整備する 5.2%	省資源やリサイクルをすすめる 5.1%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.8%	省資源やリサイクルをすすめる/ 健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.6%	障がい者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.7%
20	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.3%	障がい者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.7%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する/ 健康づくりをすすめて、疾病を予防する
21	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.5%	障がい者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%	廃棄物対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.3%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.1%
22	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.4%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%	廃棄物対策を充実する 3.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.5%
23	廃棄物対策を充実する 3.0%	生活排水対策をすすめる 3.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.3%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.3%	観光振興をすすめる/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する
24	都市のバリアフリー化をすすめる 2.9%	廃棄物対策を充実する 3.1%	生活排水対策をすすめる/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.0%
25	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる/ 生活排水対策をすすめる 2.8%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%	生活排水対策をすすめる 2.8%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.7%
26	生活排水対策をすすめる 2.8%	芸術・文化活動をさかんにする 2.6%	生涯学習対策を充実する/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.3%	市町村が主役の地域づくりをすすめる/ 人権尊重の社会づくりをすすめる 2.6%	生活排水対策をすすめる 2.5%
27	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.4%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.6%	芸術・文化活動をさかんにする 2.3%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.6%	農林業をさかんにする 2.3%
28	芸術・文化活動をさかんにする 2.4%	農林業をさかんにする 2.4%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 2.2%
29	農林業をさかんにする 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.1%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.1%	観光振興をすすめる 2.4%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする
30	県民参加の行政をすすめる 1.7%	観光振興をすすめる 2.0%	農林業をさかんにする/ 観光振興をすすめる 1.8%	農林業をさかんにする 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.0%
31	観光振興をすすめる 1.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.6%	観光振興をすすめる 1.8%	生涯学習対策を充実する 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%
32	生涯学習対策を充実する 1.6%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 県民参加の行政をすすめる 1.2%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.1%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.6%
33	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	県民参加の行政をすすめる 1.0%	県民参加の行政をすすめる/ 国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 1.2%	国際交流や国際協力をすすめる 1.4%
34	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.2%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	県民参加の行政をすすめる 1.1%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%
35	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.8%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.7%	県民参加の行政をすすめる 0.8%
36	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.6%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.5%

4 受動喫煙防止対策

(1) 喫煙状況

『喫煙者(計)』が20.1%、『非喫煙者(計)』が79.9%

問20 あなたはたばこを吸いますか。次の中から1つ選んでください。



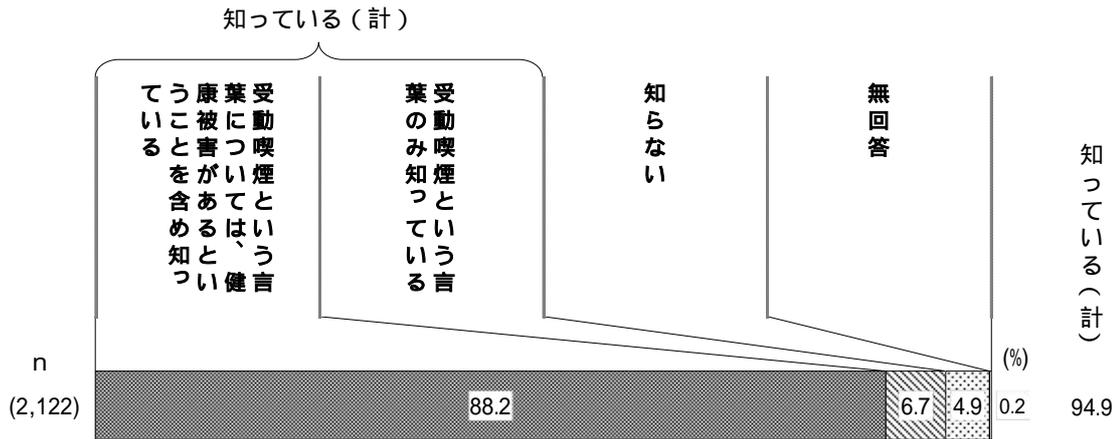
喫煙状況は、「吸わない」(74.1%)が7割台半ばと最も高くなっている。これに「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」(5.8%)を合わせた『非喫煙者(計)』(79.9%)は約8割となっている。一方で、「毎日吸っている」(18.5%)と「時々吸う日がある」(1.6%)を合わせた『喫煙者(計)』(20.1%)は約2割となっている。

(2) 受動喫煙の認知度

『知っている(計)』が94.9%

問21 受動喫煙とは、「室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」を言います。

あなたは、受動喫煙という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

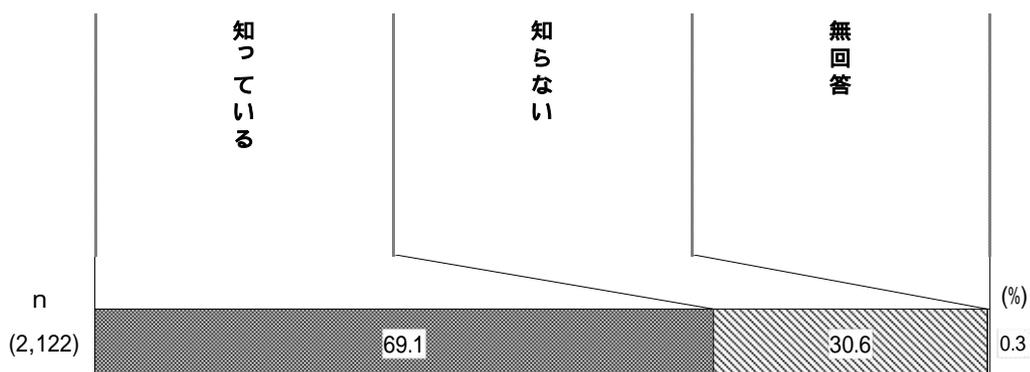


「受動喫煙」という言葉の認知度は、「受動喫煙という言葉については、健康被害があるということを含め知っている」(88.2%)が9割弱と最も高くなっている。これに「受動喫煙という言葉のみ知っている」(6.7%)を合わせた『知っている(計)』(94.9%)は9割台半ばとなっている。一方で、「知らない」(4.9%)は1割未満となっている。

(3) 受動喫煙防止対策の認知度

「知っている」が69.1%、「知らない」が30.6%

問22 受動喫煙については、「東京2020オリンピック・パラリンピック」に向けて対策を強化するため、健康増進法を改正し、屋内での喫煙規制を強化する動きがあります。あなたは、こうした国の動きを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

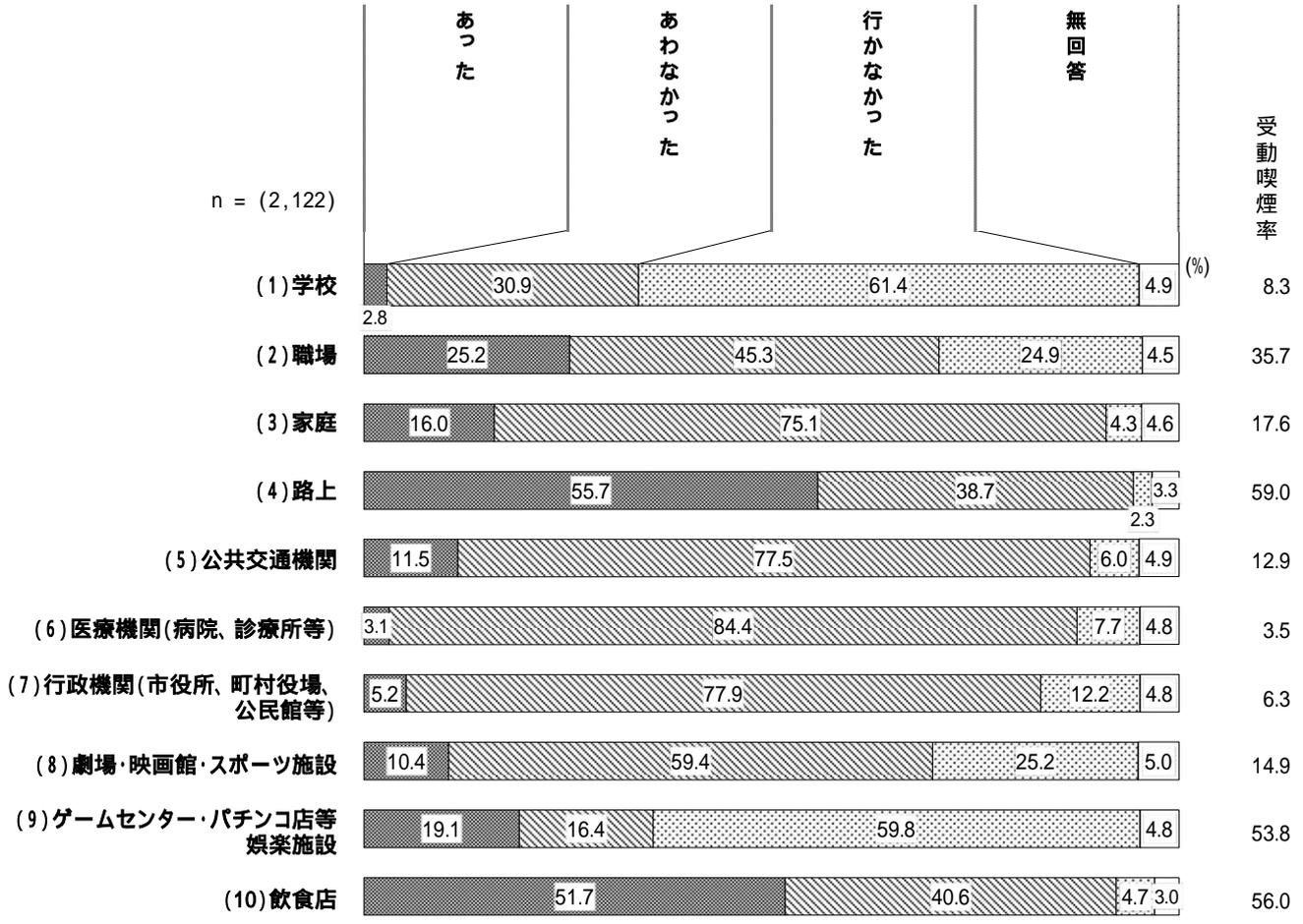


受動喫煙防止対策の認知度は、「知っている」(69.1%)が約7割と最も高くなっている。一方で、「知らない」(30.6%)が3割を超えている。

(4) 各施設における受動喫煙の有無

受動喫煙に「あった」は路上55.7%、飲食店51.7%

問23 あなたは、おおよそ1年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで受動喫煙にあいましたか。(1)から(10)の「施設」での「状況」を選んでください。



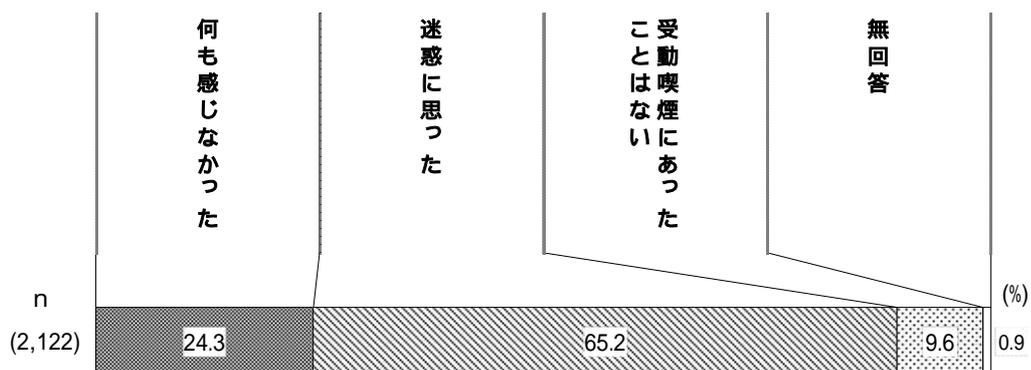
各施設において受動喫煙に「あった」割合は、路上（55.7%）と飲食店（51.7%）が5割以上と特に高く、次いで職場（25.2%）、ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設（19.1%）の順となっている。一方、「あわなかった」割合は、医療機関（病院、診療所等）（84.4%）が8割台半ばと最も高く、行政機関（市役所、町村役場、公民館等）（77.9%）、公共交通機関（77.5%）、家庭（75.1%）が7割以上で続いている。

『受動喫煙率』（受動喫煙に「あった」を、「あった」と「あわなかった」の合計で除したもの）で見ると、路上（59.0%）、飲食店（56.0%）、ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設（53.8%）が特に高く、職場（35.7%）、家庭（17.6%）、劇場・映画館・スポーツ施設（14.9%）が続いている。

(5) 受動喫煙にあって感じたこと

「迷惑に思った」が65.2%

問24 あなたは、これまで受動喫煙にあったとき、どのように感じましたか。次の中から1つ選んでください。

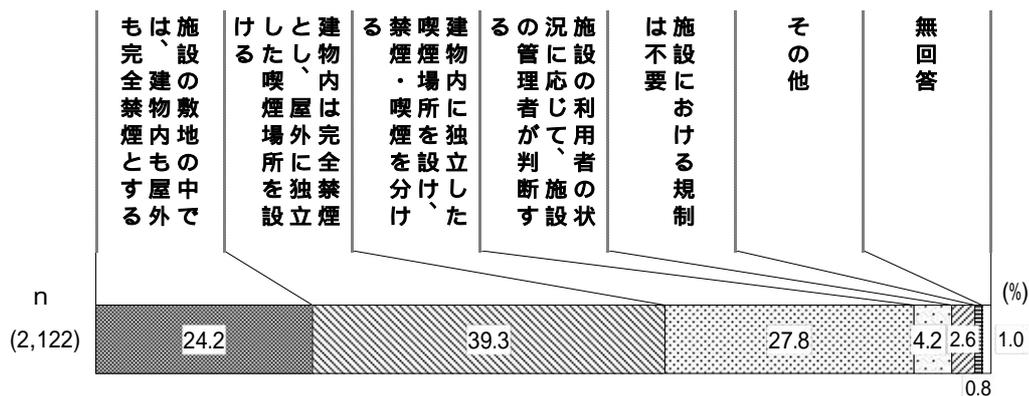


受動喫煙にあって感じたことは、「迷惑に思った」(65.2%)が6割台半ばと最も高くなっている。一方で、「何も感じなかった」(24.3%)は2割台半ばで、「受動喫煙にあったことはない」(9.6%)は約1割となっている。

(6) 不特定多数が利用する施設における受動喫煙防止対策

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」が39.3%

問25 あなたが「不特定多数の人が利用する施設()」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つ選んでください。
 不特定多数の人が利用する施設とは、問23(6)～(9)のような施設です。

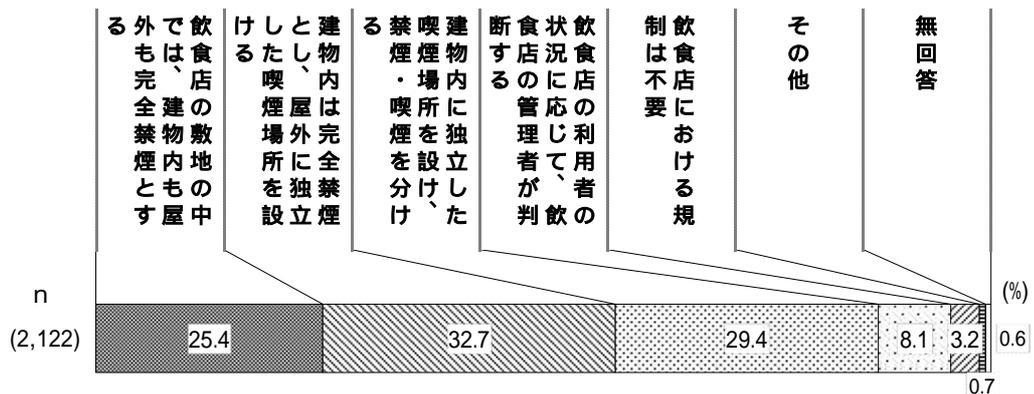


不特定多数が利用する施設における最適な対策は、「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」(39.3%)が約4割と最も高く、次いで「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」(27.8%)、「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」(24.2%)となっている。

(7) 飲食店における受動喫煙防止対策

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」が32.7%

問26 あなたが「飲食店」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つを選んでください。

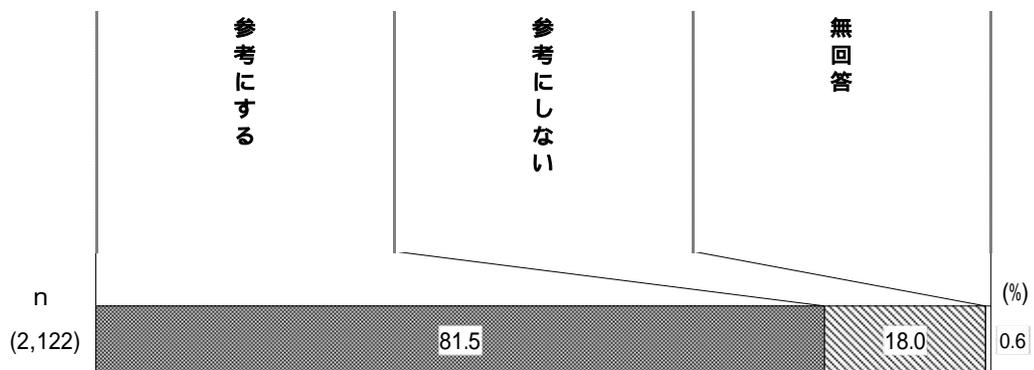


飲食店における最適な対策は、「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」(32.7%) が3割強と最も高く、次いで「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」(29.4%)、「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」(25.4%) となっている。

(8) 飲食店の入り口での禁煙・分煙表示を参考にするか

「参考にする」が81.5%

問27 あなたは、飲食店の入り口に禁煙・分煙等の表示があれば、利用する際の参考にしますか。

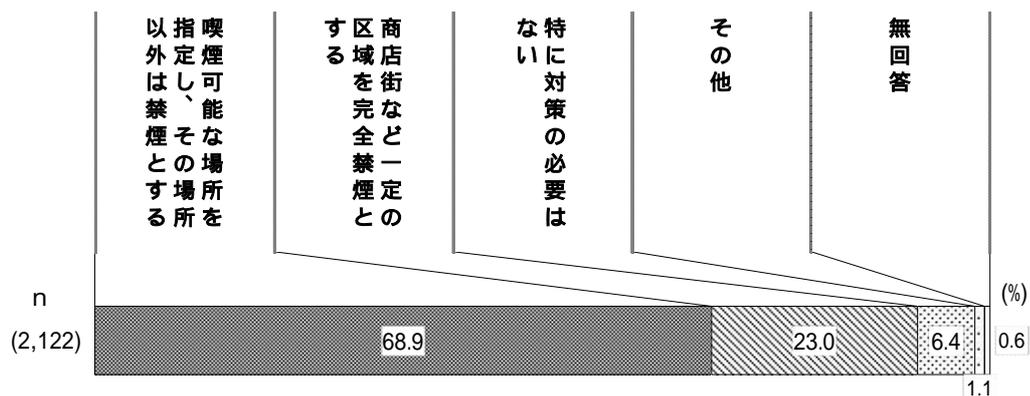


飲食店等の入り口での禁煙・分煙表示を参考にするかの有無は、「参考にする」(81.5%) が8割強となっている。一方で、「参考にしない」(18.0%) が2割弱である。

(9) 屋外における受動喫煙防止対策

「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」が68.9%

問28 あなたは、商店街など人通りの多い屋外の場所における喫煙に対し、どのような受動喫煙防止対策が進むことを望みますか。次の中から1つ選んでください。



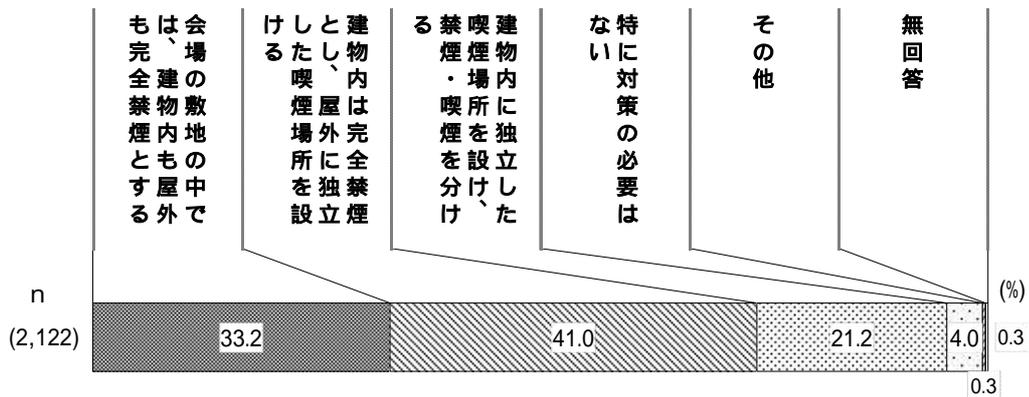
屋外での受動喫煙防止対策は、「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」(68.9%) が7割弱と最も高く、次いで「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」(23.0%)、「特に対策の必要はない」(6.4%)となっている。

(10) 国際的なスポーツ大会の会場周辺における受動喫煙防止対策

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」が41.0%

問29 埼玉県には「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」の会場となる場所があります。

あなたは、こうした国際的なスポーツ大会の会場周辺において、どのように受動喫煙防止対策を推進していく必要があると思いますか。次の中から1つ選んでください。



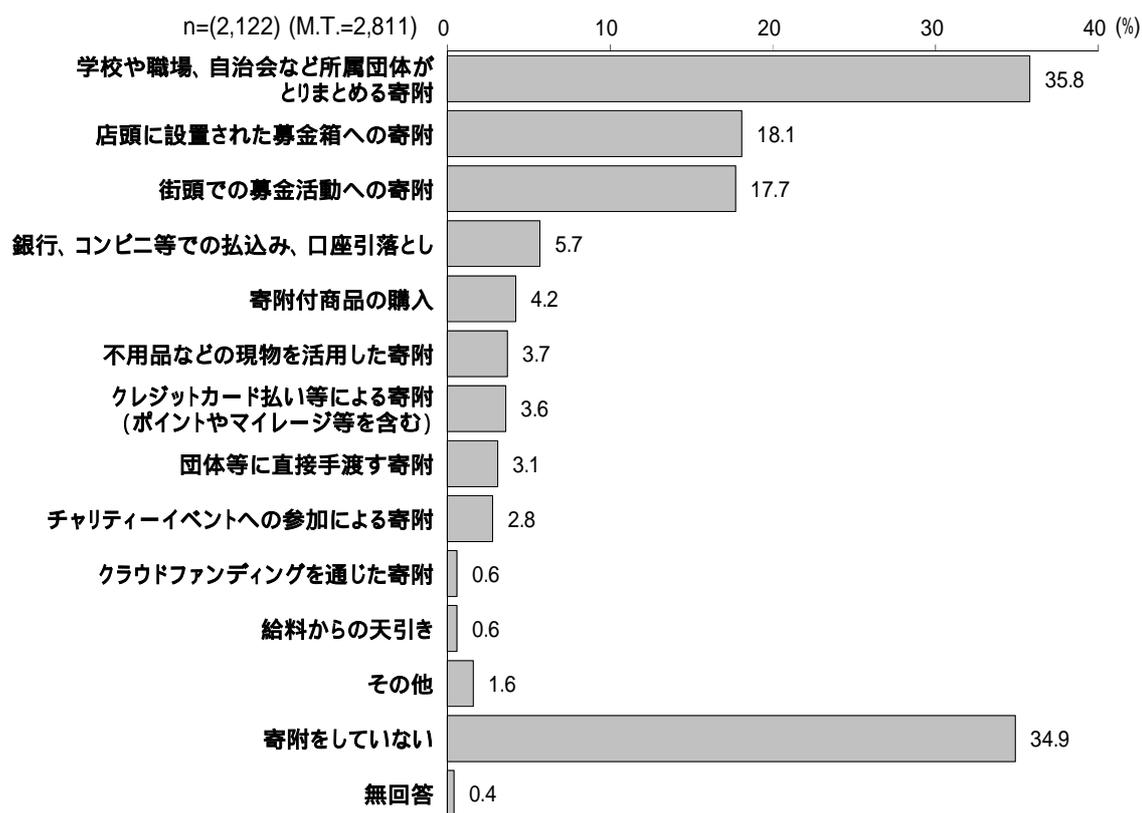
国際的なスポーツ大会の会場周辺における受動喫煙防止対策は、「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」(41.0%)が4割強と最も高く、次いで「会場の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」(33.2%)、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」(21.2%)となっている。

5 社会貢献活動における寄附

(1) 寄附の経験と方法

「学校や職場、自治会など所属団体がとりまとめる寄附」が35.8%

問30 あなたは、過去1年間に寄附をしましたか。寄附をした場合は、その方法としてあてはまるものをすべて選んでください。



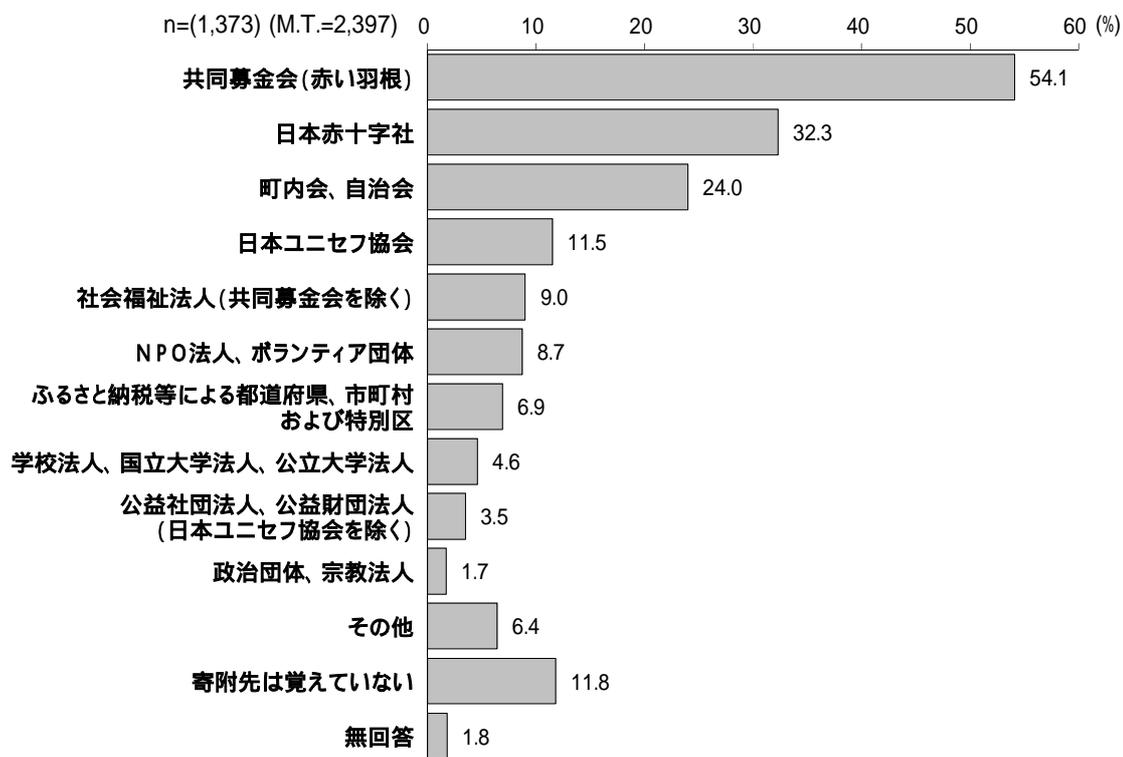
寄附の経験と方法は、「学校や職場、自治会など所属団体がとりまとめる寄附」(35.8%)が3割台半ばと最も高く、次いで、「店頭に設置された募金箱への寄附」(18.1%)が2割弱、「街頭での募金活動への寄附」(17.7%)が1割台半ばを超えている。一方、「寄附をしていない」(34.9%)は3割台半ばである。

(1 - 1) 寄附をした相手

「共同募金会 (赤い羽根)」が54.1%

(問30で「寄附をしていない」以外を答えた方に)

問30 - 1 あなたが寄附した先はどこですか。あてはまるものをすべて選んでください。



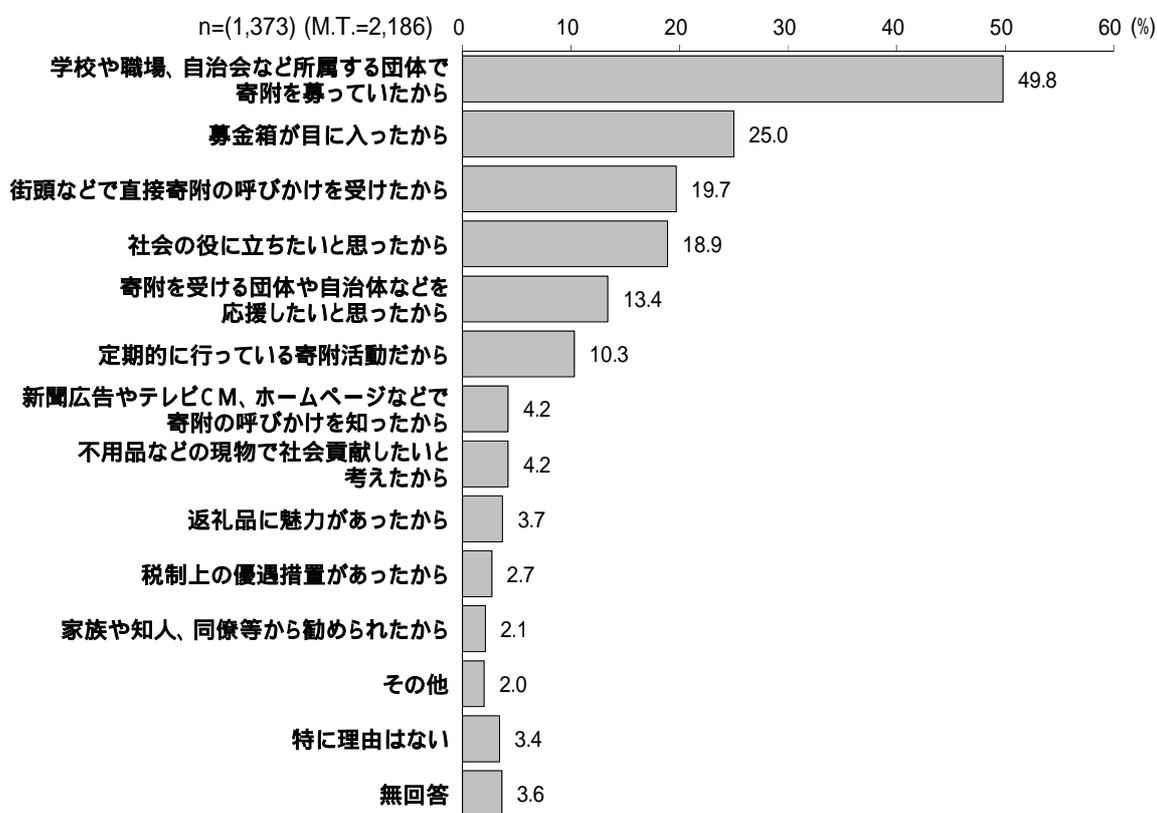
寄附をした相手は、「共同募金会 (赤い羽根)」(54.1%) が5割台半ばと最も高く、次いで、「日本赤十字社」(32.3%) が3割強となっている。一方、「寄附先は覚えていない」は11.8%である。

(1 - 2) 寄附をした理由

「学校や職場、自治会など所属する団体で寄附を募っていたから」が49.8%

(問30で「寄附をしていない」以外を答えた方に)

問30 - 2 あなたが寄附をした理由は何でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。



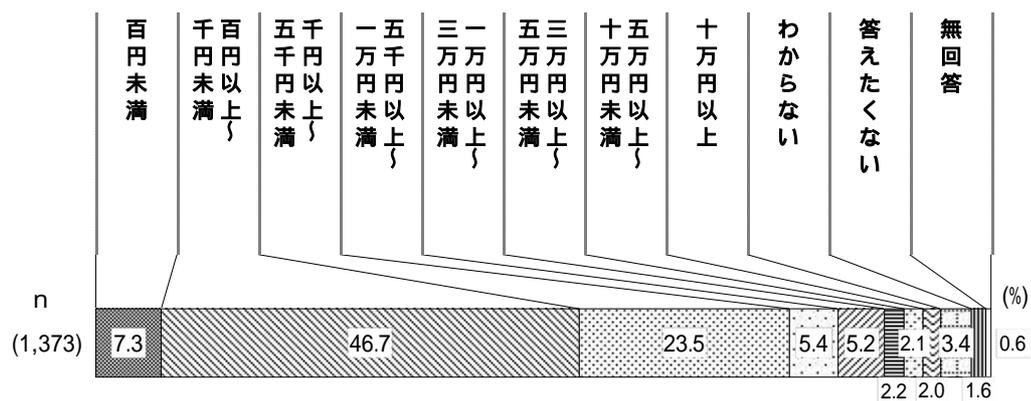
寄附をした理由は、「学校や職場、自治会など所属する団体で寄附を募っていたから」(49.8%)が約5割と最も高く、次いで、「募金箱が目に入ったから」(25.0%)が2割台半ば、「街頭などで直接寄附の呼びかけを受けたから」(19.7%)が約2割、「社会の役に立ちたいと思ったから」(18.9%)が2割弱となっている。

(1 - 3) 寄附金額

「百円以上～千円未満」が46.7%、「千円以上～五千円未満」が23.5%

(問30で「寄附をしていない」以外を答えた方に)

問30 - 3 あなたが過去1年間に寄附をしたおおよその額を教えてください。



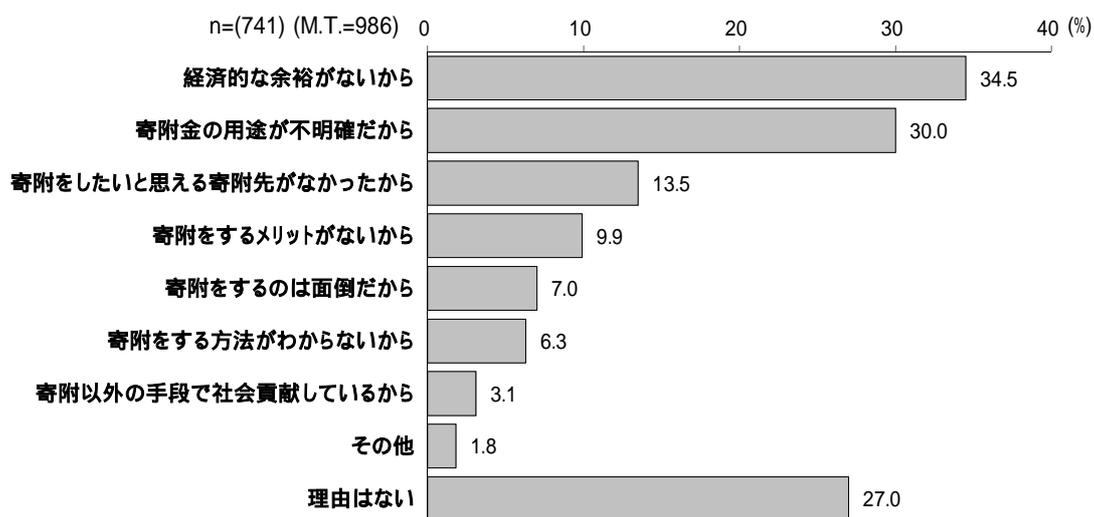
寄附金額は、「百円以上～千円未満」(46.7%) が4割台半ばを超えて最も高く、「千円以上～五千円未満」(23.5%) が2割強となっている。

(1 - 4) 寄附をしなかった理由

「経済的な余裕がないから」34.5%、「寄附金の用途が不明確だから」が30.0%

(問30で「寄附をしていない」を答えた方に)

問30 - 4 あなたが寄附をしなかった理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

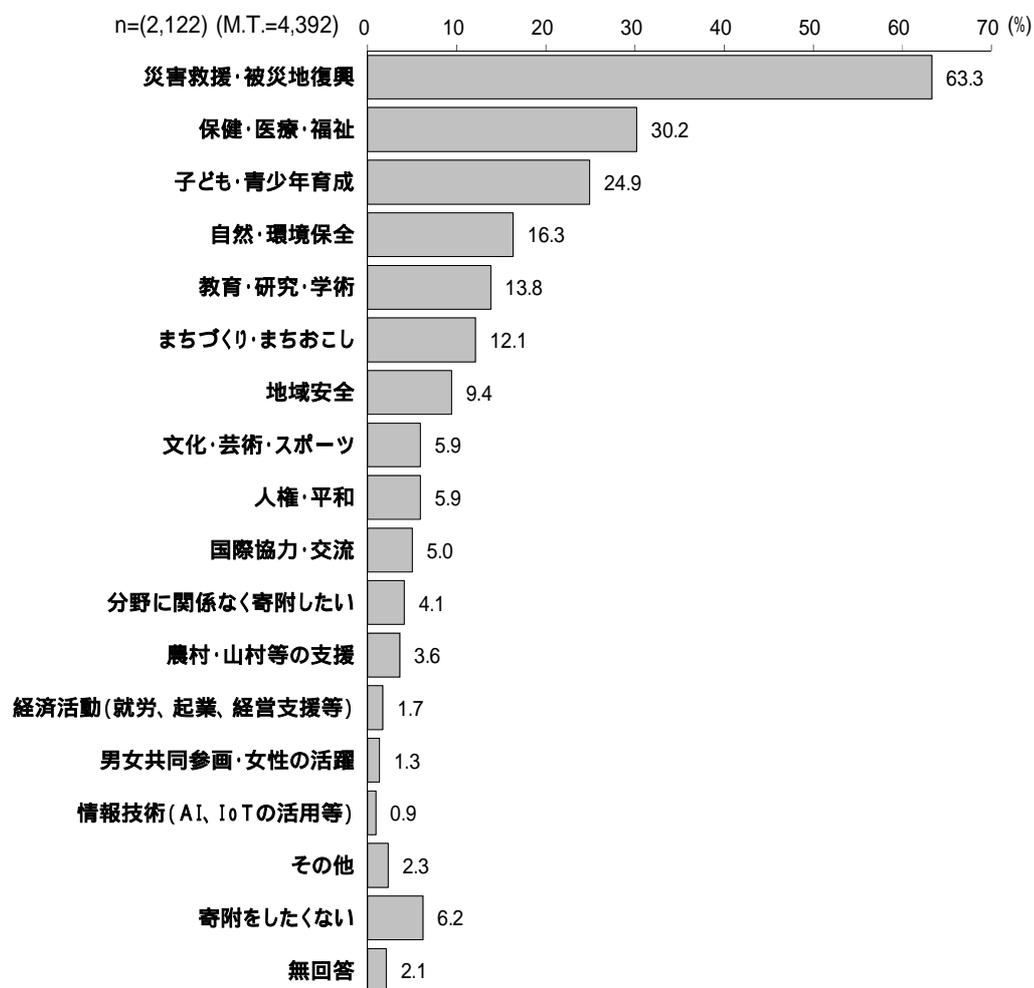


寄附をしなかった理由は、「経済的な余裕がないから」(34.5%)が3割台半ばと最も高く、次いで、「寄附金の用途が不明確だから」(30.0%)が3割、「寄附をしたいと思える寄附先がなかったから」(13.5%)が1割強となっている。一方、「理由はない」(27.0%)は2割台半ばを超えている。

(2) 寄附をしたい活動分野

「災害救援・被災地復興」が63.3%

問31 もしあなたが寄附をするなら、どのような活動分野に寄附をしたいと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。



寄附したい活動分野は、「災害救援・被災地復興」(63.3%)が6割強と最も高く、次いで、「保健・医療・福祉」(30.2%)が3割を超え、「子ども・青少年育成」(24.9%)が2割台半ばとなっている。一方、「寄附をしたくない」(6.2%)は1割未満である。

(参考資料) 世論調査実施状況

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロナシム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しいにづくり、人と環境にやさしいサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活範囲とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%
48	平成24年度	7月6日～29日	生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.1%
49	平成25年度	7月5日～28日	生活意識、日常生活、個人情報の保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.0%
50	平成26年度	7月4日～27日	生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版ウーマノクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.8%
51	平成27年度	7月3日～26日	生活意識、日常生活、定住意向、人口減少問題、大地震への備え、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.9%
52	平成28年度	7月8日～31日	生活意識、日常生活、スポーツ振興、認知症、水道の利用、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	72.5%
53	平成29年度	7月7日～31日	生活意識、日常生活、シニアの社会参加、性的少数者(LGBT)、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.3%
54	平成30年度	7月6日～31日	生活意識、日常生活、受動喫煙防止対策、社会貢献活動における寄附、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.7%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料 1 部を下記の担当課へ送付願います。

平成30年度

埼玉県政世論調査

平成30年11月発行

埼玉県県民生活部広聴広報課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3 - 15 - 1



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」